

桑名市
子ども・子育て支援に関するニーズ調査
結果報告書
（自由意見・ヒアリング編）

2019(平成 31)年3月

本編は、「子ども・子育て支援に関するニーズ調査」の自由記載欄に、ご記入いただいた文章と、本市における子ども・子育て支援関係者へのヒアリング等の結果をまとめたものです。

これら自由記載やヒアリングによるご意見は、市民の皆さんの子育ての現状や市へのご要望など、統計資料に勝るとも劣らない貴重な資料であると認識しています。

子ども・子育て支援事業計画の策定にあたっては、市民参加を重視し、策定過程においてできるだけ多くの“生の声”を聴取するように努めています。したがって、これらの内容も、市の関係各課の職員はもとより、桑名市子ども・子育て会議の委員など関係者の間で共有し、子ども・子育て支援事業計画の内容や今後の施策に反映していきます。

なお、意見の中で、個人が特定される恐れがあるもの、また個人を誹謗中傷するものについては、表現等の一部修正したり、収載していないものがあります。また、同意見はまとめておりますが、詳しく理由をご記入いただいているものはその部分を収載しております。

も く じ

第1部 自由意見

1	子ども・子育て支援全般・行政	1
2	幼稚園・保育園	8
3	母子保健事業等	18
4	一時的な預かり等	20
5	子育て支援センター等	23
6	学校	28
7	特別な支援	33
8	公園・遊び場・児童館等	37
9	イベント・講座等	40
10	子育てサークル等の活動・仲間づくり	42
11	スポーツ等の活動への支援	43
12	放課後児童クラブ等	44
13	相談・情報提供	47
14	いじめ・人間関係	51
15	経済的支援	51
16	医療	54
17	まちづくり・交通	56
18	仕事と生活の調和	58
19	地域ぐるみの子育て支援	60
20	防犯・防災	61

第2部 ヒアリング

1	実施状況	63
2	保護者・生徒へのヒアリング結果	64
3	幼稚園教諭・保育士へのヒアリング結果	77
4	幼稚園・保育園経営者へのヒアリング結果	93
5	学童保育所支援員へのヒアリング結果	96
6	こども食堂学生ボランティアへのヒアリング結果	99
7	医療的ケア児関係者へのヒアリング結果	101

第1部 自由意見

1 子ども・子育て支援全般・行政

(1) 満足な点

- 桑名市の様々な子育て支援、感謝しています。今後ともお願いします。(同様3件)
- 支援センターもきれいで、桑名市は子育てしやすいと思います。(同様2件)
- 保育所の先生方、支援センターの方々が、とても親身になって悩みやお話を聞いて下さるのでありがたいです。(同様2件)
- 桑名市は子育てがしやすい環境だと思っています。また以前、下の子の4か月健診の際のアンケートに書いた内容で心配して下さり、わざわざ私の携帯まで電話して話を聞いてもらえて本当に嬉しかったです。
- 桑名市では支援センターの数も多く、妻は週替わりで子どもを連れて行っています。場所によって雰囲気も異なるようで、子どもにとっても、色々な出会いや経験になってとても良いと思っています。また、メールマガジンや広報等の情報も大変活用させてもらっています。
- ショッピングセンター内に支援センターができたことで、気軽に利用できるようになりました。メールマガジンや「マチカゴ」の存在はこのアンケートで初めて知りました。
- 一時保育を利用していた時も、保育園に通っている現在も、保育園の先生方にはとても良くしていただいて満足しています。支援センターや公園なども充実していると思います。夫婦や家族カウンセリングを気軽に行えたり、紹介する場があったりするといいなと思います。子どものこと＝母親という家庭が多いと思うので、父親を交えて話し合いの場や、パパ同士のコミュニケーションの機会があれば、視野が広がると思います。
- 公立幼稚園は、とてもアットホームで子どもも幼稚園が大好きです。公立幼稚園は、療育センターや中央保健センターと連携していて助かっています。子ども未来課の皆様、いつも相談に乗ってくださってありがとうございます。私にとって心強い味方です。
- 公園施設も多く緑も多いことに魅力を感じています。
- 周りの人がとても温かく、住み心地の良い町だと思います。
- 桑名市の財政が大変ななかで、定期的に子育てのための費用をいただいて、本当にありがたいと思っています。お金の支援には限界がありますが、それ以外のところで、皆で(市民も含め)知恵を出し合って、子育てしやすい桑名市になったらいいと思います。
- 桑名市のこのような取り組み、素晴らしいですね。保育園の手続きの際(転居です)も職員の方がとても親切でびっくりしました。転居したてで分からないことだらけで不安でし

たが、とても嬉しかったのを覚えています。

○桑名市は子育て支援センターも充実しており、妊婦の頃から出産後まで教室、講座を含めてたくさん利用させて頂きました。

○桑名市の子育て支援事業等、十分に楽しんで利用させていただいており、感謝しております。支援センターや地域で子育てに関わってくださる方々は、どの方も温かい方ばかりで、子どもも私も癒やされ、励まされております。“すくすくだより”もお気に入りです、市内中の支援活動が簡潔にまとめられているところが魅力です。

○子どもは大きくなりましたが、未就園児の行ける子育て支援教室では随分お世話になりました。子どもを取り巻く環境はいつも温かくあります。地域の方も登下校の見守り等、子どもたちを地域の宝のように大切に下さっているのが分かります。本当にありがたいことです。今後も子育て支援の活動が続いていくことを願います。

(2) 不満な点

○桑名市は子育て支援について薄い。様々な面で他市町村と比べて劣る。(同様21件)

○子どもに対しての支援が全てにおいて不十分で、子育てしながら働くことが難しい。(同様3件)

○子育てしやすい、子どもを産みたいと思える支援(手当等)を考えて実施してもらいたい。(同様3件)

○桑名市は「子どもを3人育てられるまち」を目標としているが、実感できない。(同様5件)

○桑名市の財政に非常に不安がある。本当に必要な所にお金を使って欲しい。今後の子育てに不安があるので何とかしてほしい。まずは財政を組み直して欲しい。(同様3件)

○市役所に子どもに関する課が、2つもあって分かりづらいです。ひとつにまとめるか、名前を変えたらいいと思います。支援については、積極的に提案してもらえたりするので、とても助かっています。

○毎年のように部署の名前が変更になり、場所や電話番号まで変わってしまうので、非常に利用しづらいです。担当者の方も大変なのではないでしょうか。

○税金が高い。(同様3件)

○子ども・教育に対しての予算が少ない(削られている)ので、増やしてほしい。(同様5件)

・無駄に税金を使うなら子どものために使うべき。税金の使い道を考えてほしい。

・教育機関への補助金を強く願います。職場環境が整わないと、よりよい教育は行えません。人材育成に力を入れてほしいです。

・未来ある子どものために本当に必要とされているもの、場所を理解して頂きたいです。

○ふるさと納税の財源を大いに活用していただきたい。

○市職員の対応を改善してほしい(同様9件)

<同意見の理由>

- ・部屋着の様な服装、友達に話すような言葉遣い等、もう少し改善してほしい。
- ・市職員の対応に疑問を感じる事が多いです。保育所を探して子育てしていこうと相談に行けば、「こんな小さいうちから働かなくても」「小さいうちは、一緒にいた方が良い」「子どもがかわいそうです。」等、心ない言葉を言われました。制度を整える前に、職員を教育してほしいです。毅然とした態度も必要だとは思いますが、子育てをする市民に寄り添ってくれる態度ではなかったことが残念です。
- ・夏期学童保育の問い合わせをした時の、係の方の対応が悪すぎました。
- ・公立幼稚園に通っています。入園前に申し込みで市役所に伺った時、「定員が越えたら、〇〇幼稚園が近いですね。」と言われました。私は目に障がいがあり、車に乗れないので、幼・小・中まで歩きます。その旨を伝えたところ、「障がいが理由で優遇はされません。〇〇にお住まいですか。〇〇まで歩いて15分くらいですね。通えなくはないですね。」と言われました。子どもの足で30分以上かかります。冷たく適当な対応に不安を感じました。希望が通らないとしても、対応の仕方を考えてほしいと思いました。すごく傷つき、こちらで子育てをしていくことに不安を感じました。
- ・桑名市は窓口等の対応が他人ごとで全然親身でない。声かけはするけど手伝ってくれない。
- ・桑名中央保健センターの職員のレベルが低いと感じました。専門知識のアップデートをよろしくお願いします。
- ・子どもが1歳になった頃に何度かお電話（保健師さんかと思われる）を頂きましたが、いずれも出られませんでした。他に何か連絡の手段はないもののでしょうか。
- ・職員は勉強不足だと感じる。

○近くに祖父母や兄弟姉妹がおらず、子育てがしづらい。(同様7件)

<同意見の理由>

- ・仕事を続けられない。収入がなくなること子育てもしにくいし、子どもを産む人は減るのは当たり前だと思う。
 - ・実家が遠く、人手と経済的理由から3人目を諦めました。
 - ・いつでも子どもを預けられる施設があるとよい
 - ・共働きで、幼児が2人以上ではファミリーサポートセンターに預けるにも2か所に預けることとなり、現実的には利用困難です。チャイルドシッターに預けようと探しても桑名は範囲外と業者に言われ預けられません。
- 母子家庭、生活保護等の基準が不満に思う。生活のため、仕事をしている共働き夫婦が一番負担が多いように感じる。
- 市の目指す子育て支援が、どんなものなのか分からない。こども園の凍結。公立幼稚園の保育料値上げ→無償化。国の制度が変わる度に、それに振り回されている。市としてぶれ

ないビジョンを持って事業を進めてほしい。

- 予算をどんどん削った状況で、このアンケートを取る意図が分かりません。現時点で最低限のニーズを満たしていないのですから、まずはしっかりと恒久的な予算を付けてください。
- 住みにくい環境です。プール等も使えず、子どもだけで乗れるＫ－バスさえも利用できず、北部地域から長島の中心地へ行くことすらできない。近隣市隣の支援センターは充実しています。近隣の良いところを真似できないもののでしょうか？
- 以前に住んでいた他県と比べ、学校、医療機関、児童発達支援事業所、市のサポート機関等との連携が取れていないことを指摘されることが多いので残念に感じます。
- 子ども達のがのびのび遊べるように、学校の開放や、勉強できる施設があるとうれしいです（児童館、図書館、中高生のための児童青少年センターなど）。
- 支援事業について、「未就園児」という条件が付いていることがあります。みんなが利用できるようにしてほしいです。近隣の児童館を時々利用しています。
- なぜ「ぽかぽか」に子どもを預けられる場所をつくらなかったのか疑問です。駅前やショッピングセンターより、子どもの多い場所にこそ、つくってほしいです。
- 陽だまりの丘地区の小学校建設予定地に「ぽかぽか」ができたがほぼ未就学児を対象としたものばかりであり多くの必要性を感じません。
- 子どもが多いのに不親切な町だと思う。病院も良い所がわからない。支援センターも勝手に行って勝手に帰ってくる。ただそれだけの場所で、家で遊んでいるのと同じ。
- 発達段階に合わせた支援や、子育てにかかる補助、支援（施設利用補助、住宅取得時の利子補給など）も立ち遅れている。まともな支援を受けられるとは思えない。
- 共働き家庭が非常に多く、市も女性が働くことを支持している。それなのに、保育士さんの数が足りなかったり、学童等の指導員さんや場所（設備）に課題があったりと矛盾を感じる。
- 子どもを本当に預けたい人が、公立か私立か保育内容を考え希望を出しても通らず、働いていないにも関わらず就労書類を提出し、公立人気園に子どもを長時間預けている人がいたり、本当に子どもを育てたいと思う環境に近づくのでしょうか。
- 公園の充実、イベントの充実、一時預かりの充実。また、桑名市内にある事業者へ子育てと仕事の程よい両立に向けて「こう働く親に対して配慮してあげては？」という訴えや、地域の年配の方へ伝わるように、今どきの親はこういう思いで子育てをしているということ伝えてほしい。
- 保育園選考にＡＩを試験的に入れるとみました。ＡＩがやったから公平だ！とあとから言えるし、市としてはいいんでしょうが。ＡＩに入れるプログラムっていったいどういう選考基準なのでしょう。
- 市が進める方針と実際に子育てをしている私達の希望に差を感じる。（例）兄弟で通う保育

園など。

- 公立幼稚園の縮小、公立保育所の閉鎖、福祉ヴィレッジとすることで公立保育所を民間に移行しようとする流れ。私立で受け入れられなかった子どもたちの受け皿をなくそうとしている市の動きに憤りを感じる。駅前の一時保育施設もなくなると聞いた。新しいことに挑戦するのではなく、今あるものに対する敬意も大切なのではないか。
- 支援が必要な子に「予算がなくて…」と言われても困ります。無理なら初めからホームページに大きく「桑名市は予算がないので子育てに向いていません」ぐらい言えばいいのに。分かっていたら家建ててまで引越しはしなかった。
- あまり知られていなかったり、使われていないものを見直して、新しく使えるものを増やしてほしいです。
- 学区によっては、とても人数が少なかったり、いじめや学級崩壊等を見てきているので、人におすすめできるまちかという点、難しい点もあります。金銭的な補助を増やせば、自然と人も集まり活性化するのではないのでしょうか。もっと、企業の誘致で税収をアップして、お金のない桑名市から脱出してください。
- 子どもと母親が離れて過ごす時間がなさすぎる。一時保育も1週間前から、1日分しか取れない桑名市のやり方はナンセンス。産前産後の利用もいっぱいできなかった。他市町村では、1か月先まで何日か取れたりする。女性が一人の人間としての自立をサポートしてくれるような環境を望む。年中からの幼稚園か、働いての保育園かの選択肢しかない。このどちらでもない人が子どもを預けられるところ（今の一時保育の条件ではなく）や、数時間見てくれるベビーシッターがいてくれたら、幸せになる人が増えると思う。
- 預かってもらう環境ではなく、もっと母と子が過ごせる時間を与えてくれる支援をするか、金銭的に不満のない環境がほしい。シングルですが、子どもと遊ぶ時間を作るための制度がほしい。
- 子育てしづらい。泣かないように、物音を立てないように、騒がないようにいつも気を使って疲れてしまう。子どもに注意をしすぎて苦しくなる。周りに謝ってばかりで疲れる。子どもが自由にのびのび遊べる場所が少なすぎる。子育て世代に対して理解ある人が増えればいいないつも思う。夫婦のみで頑張りすぎて心折れそうです。
- 様々な社会の影響により、表向きは色々な法律や支援事業が進んでいますが、それを実感できることはとても少ない様に思います。もう少し私たちが実感でき、安心して地域の人たちに助けを求めたり、困った時にコミュニケーションが取れる環境をつくれるように私たちが巻き込んでいってほしいと思います。巻き込む＝支援の充実ではなく、私たちも入って行って、自らつくりあげられる自信と自覚を持てる環境です。私たちは手厚い支援を求めているというより、私たち自身でつくりあげられるような時間的ゆとり、経済的ゆとり、考えていける余裕を持つ生活がしたいと考えているような気がします。

- 相談窓口も大事ですが、子育ての悩みや子育ての負担が減る、またはなくなるような体制を築くことが重要では？例えば、夫婦の時間を増やせるようにする、自分の時間を持てるよう、余裕を持って子育てができるよう、子どもを気軽に預けられるベビーシッターや場所をつくるべきです。子どもを預けて親が自分の時間を持つことは、海外では当たり前のことです。海外の子育て事情にもっと目を向けるべきではないでしょうか。
- 虐待がなくなるような取り組み（見守り）を強化してほしい。
- 子育て支援センター（高学年まで利用できる場所）や放課後野球など思い切りできる公園、ファミリーサポートをもっと充実してほしいです。桑名市ではフルタイムで働きながらの子育てはストレスを感じ、子育てが不安です。
- 保育園入園が決まると使用できなくなる施設があった。市内にある「長島リゾート」や「なばなの里」など入園料金が割引または無料券などがあると子どもと行きやすい。
- 子育て支援と一言でいっても、子どもはみんな違うし悩みも違ってくると思います。特に大きくなってくると1人ひとりの悩み、勉学、友だち関係、習いごと、親子関係などなど。その時期にいかに家族、親子の会話が多くでき、親も子も1人で悩まずにあとで取り返しのつかないことにならないようにするためにはどうしたらいいかそこは一番難しいところではないかと思います。
- 保育所や学童は平日仕事、土日休日の方のためのものでサービス業の私にとっては大変不便でした。「平日仕事の方の子どもを多く預かっていてサービス業の者は少ない」のではなく、サービス業の方は出産とともに多くの方が退職しているのではないのでしょうか？今後の人材育成のため、ぜひ考えて下さい。
- 国際交流などもっと活発に行ってほしい。現代の子どもたちは日本語のみでは取り残されていく。いろいろな国、考えをもっと子どもたちに市がグローバルな面を見せてもらえると助かります。
- 正直言って市は子どもに冷たいと思う。子どものためのボランティアに対しても冷たいと思う。助成金打ち切りはひどい。
- 高齢出産や晩婚で子どもの在学中に定年を迎えてしまう人は今後も増えると思います。夫の年齢的に所得制限で子ども手当はもらえません。子ども医療費もダメです。けれど我が子に、慢性疾患があり出費はかさむし私は正社員にはとてもなれませんし、それどころかバイトを辞めました。将来に向けてお金を貯めたいのに難しい話です。各家庭の状況全てに対応するのは無理だと思いますが、少しでも良くなるといいですね。

(3) 地域格差

- 私は長島町に住んでいますが、以前は長島支所で母子手帳がいただけたり、子どもに関する手続きが全てすることができました。途中から桑名市の中央保健センターまで行かなけ

ればならなくなりました。小さな子どもを連れてや、身重な状態でのドライブは大変です。子育て支援を考えるなら、みんなが利用しやすい市役所作りをお願いしたいです。

- 以前は、多度すこやかセンターにて、育児相談や離乳食教室、健診等が行われており、近いゆえに小さい子どもも連れて行きやすく利用しやすかったのですが、中央に一本化されたことにより大変利用しづらくなりました。保育所の入所、バス送迎、お盆、正月の保育についても、年々条件が厳しくなり、融通が利かなくなり落胆しています。
- 保育所の園庭開放が毎週あったのが月2回に減ってしまった。多度から桑名まで行くのが面倒なのに、保育所に月2回では少ない、毎週行ってほしい。何でも桑名を中心に考えすぎている。子どもが小さいと車での移動が大変な時があるので、各地域を中心に場があってほしいと思う。多度はすべてのことにおいて廃れている。
- 多度は過疎化が進み、子育てにとっても不便を感じる。学童も一部の小学校の近くにしかなく、利用したくてもできない。
- 長島地区は後回しにされている気がします。B & Gのプールも早く直してほしい。長島教育集会所も今年から英語教室の回数が減らされ、合併のメリットがわかりません。
- 桑名市でも教育格差がありすぎる。お金のかからない子育て環境にしてほしい。
- 桑名市の中でも地区によって格差を感じる。「ぽかぽか」は近いが、子どもが高学年になると利用しにくい。図書館があるところ、児童センターがあるところなど平等ではない。
- 旧桑名市内、大山田地域と多度、長島地域との差を感じる。人数的な問題もあるかもしれないが疎外感を強く感じる。公平だと思えるようにしてほしい。
- 市内でも子どもの生活環境にいろいろ差があるので、どの地域に住んで居ても平和で安全に過ごせるよう、地域全体で子育てができる町づくりを支援して頂きたいです。
- 合理主義による地方切り捨てにより、地方は不便になるばかりです。身近に窓口があり身近な職員の方が実情に応じて、対応して下さることこそ、子育ての支援かと思います。以前の体制に戻していただきたいです。学校教育に関しても、ただ、“小中一貫教育”の一边倒です。地域の実情を知り、住民のニーズを知る事から始めていただきたいです。
- 久米地区に支援センターやおおぞら出前保育などをつくってほしい。(同様2件)
- 保健事業も縮小化し、一点集中、桑名市内の人には利用しやすくても、長島・多度の人には利用しづらい。孤立していく仕組みを作っているような気がしてならない。子育て支援事業は縮小すべきではない。地域ごとにあるべき。
- 多度は学童も少なく、夏季休業の時などで預かってもらえずに困っているお母さんたちの声をよく聞きます。また、児童館もありません。
- ぽかぽかのような小学生の子どもでも自由に遊びに行ける施設が多度地区にもあればよいと思います。旧桑名地区のみがどんどん充実しているような気がします。公園にある遊具などについても同じです。

(4) 小学生以上の子どもへの支援

- まだまだ、子育てをしている人が孤立している感がある。子どもの相談窓口の敷居が高く、相談しにくい上、相談員の数が少なく、予約が取りづらい。子ども支援が年齢により断片的で繋がりが無い。小学校に上がった途端、放課後預ける先がない。預け先も地域によって偏りがありすぎる。
- 小学生時の放課後の過ごし方について、働いている母の負担が減るような支援を充実させてほしい。学童保育や病児保育などを充実させてほしい。(同様4件)
- 子どもが小学校に上がってからは小学生向けのダイナミックに遊べる室内の遊び場が無く、気軽に相談できる人も少なくなりました。学校によっては放課後に学校で地域の人と遊べたり友だちと遊べたり習いごとがある学校もあり羨ましく思います。小学生向けの子育て支援企画を期待します。
- 就学児前の子育て支援は手厚いが、小学校に入った途端に支援が途切れる(少なくなる)ように感じる。(同様5件)
- 幼児対象の施設は多いが、小学生を対象とした施設を増やしてほしい。(同様2件)
- 学校が原因で心の病気になった場合、どこに相談したらいいのか？中学生になると医療費が無料ではなくなる。中学生くらいからの、心も体も一番難しい時期の子どもこそ、医療もかかるし心のケアも大切なのに心のクリニックも全然ない。何か月も待ちとかでふざけている。桑名市は小さい子どもにばかり目を向けて、お金も使っている。

2 幼稚園・保育園

(1) 幼稚園・保育園の拡充

- 保育園・幼稚園に入れる人数の増加や施設の増やしてほしい(子どもが多い地区など)。(同様13件)
 - 学区内の保育園・幼稚園に預けられるようにしてほしい。(同様9件)
- <同意見の理由>
- ・大山田地区、陽だまりの丘地区にも公立の保育所が必要
 - ・城南から一番近い幼稚園が立教幼稚園と遠く、バスもないので厳しいです。
 - ・陽だまりの丘は子どもがたくさんいるのに、なぜ保育園をつくってもらえないのでしょうか？園によっては、保育の質が悪いと評判なので預けたくありません。もっと保育にお金をかけてほしいです
- 仕事をしたくても仕事が決まらなると保育園に入れないため仕事ができない。一時保育はパート等で預けている人で満員、1週間前に予約をしようと電話してもいっぱい。その上値上げされて、収入を得たくて仕事を探すのに、決まらない仕事のために支払いばかり増える。

- 保育事業の費用を増やし、保育士の人数を増やし、もっと助けてほしい。
- 自然でのびのびさせたいと思っている。そういった幼稚園の支援をしてほしい。
- 外にも保育施設や遊べるところを増やしてほしいです。
- 幼稚園に通わせたくても長期休業があるので仕事をしている人は預けられません。ぜひ幼稚園の子の学童がほしいです。
- 桑名市は公立幼稚園に対して厳しいと思います。学区は七和ですが、延長保育があってもいいです。年少、年中の受け入れもしてほしいです。幼稚園は保育園では教えてもらえない事をたくさん教えてもらえるので必要です。幼稚園の保育料も上がって働ける時間は短いのに出費が増えるのは変です。近隣市町村等に近い支援をしてほしいです。
- 桑名市の公立の保育園は、私立に比べて融通が利かないところを多く感じる。(私立、公立共に経験)もう少しこちらの立場になって考えてほしい時がある。
- 公立の幼稚園が充実しているのでとても良いと思う。バスで通園できると更に良い。夏場のエアコンを早く設置してほしい
- 公立保育所を早く建て直してほしい。保育士の給料を上げて人員を増やしてほしい。保育士資格を持っているが、仕事内容と給料と比べると働くことを考えてしまう。
- 保育料が高い割に自由登園の日数が多い。親は自由登園を希望できない。または、用事があっても仕事が休みなら預かってもらえない。提出書類に勤務先まで書かされる。
- 歩いて通園できる園がない。せめて通園バス等の対応がほしい。

(2) 公立幼稚園の存続

- 公立幼稚園を存続してほしい(縮小してほしくない)。(同様18件)

<同意見の理由>

- ・アットホームで伸び伸びと過ごせる、どんな子どもも受け入れる。
- ・子どもの人数が少ないからこそ、先生方が一人ひとりとしっかり向き合ってくれる。給食の面でも公立はしっかりしていて、安心して食べさせることができる。年少保育があったら私立に入れなかったという意見もたくさん聞きます。
- ・今は公立幼稚園でも預かり保育があるので、大変助かっています。公立幼稚園の教諭の皆さんはとても親身になって子どもをみて下さり、親としてとても安心して子どもの成長を見守ってくれました。幼稚園から与えられた課題、時間割をこなすことも大切だと思いますが、公立幼稚園のように遊びの中で自ら考えて行動していく力も自主・自立という面では後伸びする子が育っていくと思う。
- ・桑名の公立幼稚園は、小学校へ上がる時の子どもの負担も親の負担も少なくてよい。
- ・公立幼稚園を少しでも多く開園して頂きたい。久米地区では人数が足りずに閉園(休園)です。

- ・誰でも平等に子どもを受け入れ入園させてくれるため、保護者が安心して入園させられます。上の子が通っている光陵幼稚園では、下の子を園開放で連れて行くと必ず声をかけてくださり、先生一人ひとりのスキルも高く安心して通わせられます。母親同士の付き合いも密で、子どもも皆で育て合っている感がとても高いです。
- ・保育園から公立幼稚園へ転園した時、上の子どもは急にいきいきとし出し、毎日楽しくてたまらないようです。公立幼稚園の自由でのびのびしており、個性を認めてくれる雰囲気の中で安心して過ごしているようでした。
- ・兄が公立幼稚園に通っていましたが、とても楽しそうに毎日幼稚園に通ってました。預かり保育等の充実をしていただいて、保育園に流れていってしまう子どもたちを公立の幼稚園に呼び込んでもらって存続してもらいたいと思います。小学校の子と一緒にできる行事等もあり、異年齢交流をしてお兄さんお姉さんに優しくしてもらった分、自分も小さい子に同じように、接することができるのでとても良いと思います。
- ・桑名市に来て初めて公立の幼稚園ならではの、のびのびとした教育を受けさせていただき、2人の子どもはたくさんの成長と幼児期に必要なコミュニケーション、自発的な活動等を身につけることができ、いきいきしているなと感じます。利用料が上昇傾向のようですが、公立は公立の良さを皆が知る機会があれば良いと思います。
- ・自然の中で、思い切り体を動かして遊べるととても楽しい園だったので、休園になるが、どうか再開していただきたいです。
- ・正和南幼稚園に通っています。今年度で1度閉鎖になりますが、子どもはのびのびと楽しく登園しています。先生方にもとても良くしていただいた。
- ・公立幼稚園の遊びの中から学ぶという教育方針にととても共感していて、先生方も一人ひとりを本当によく見て下さっていて、とても満足しています。
- 公立幼稚園でよりよい幼稚園生活をしよう！というアピールをもっとしてほしい。保育料も値上げしたりと公立幼稚園離れを加速させているようにしか思えません。
- 自分の住んでいる地区が2年間公立幼稚園に通える環境であってほしいです。年中から他の地区の公立幼稚園に通いたいと思って市役所へ電話で確認すると、運動会など上の子の学校行事と重なってしまうことがあるかもしれないとのことでした。2人以上の子どもを母親一人でも子育てしやすい環境になってほしいです。

(3) 公立幼稚園の3年保育

- 公立幼稚園で3年保育を実施してほしい。(同様20件)

<同意見の理由>

- ・公立幼稚園は子どもにとってとても良い環境です。4～5歳と通うことができたなら、子どもはもっと今以上に成長すると思います。

- ・ 3年保育にしてもっとアピールしていかないと、これからもっと私立に流れてしまうと思う。様々な理由で公立を必要としている家庭があります。
- ・ 私の住む地域の私立幼稚園は一杯だと聞いたことがある一方で、公立幼稚園再編&保育費の値上げで、公立幼稚園はある意味ゆとりがあり、いまだに2年保育という時代遅れの状況である。
- ・ 保育所も仕事をしていないと入園が難しいとよく聞くので考えてほしい。選択肢は多い方がいい。
- ・ 公立幼稚園がなくなれば、幼稚園・小学校の連携も難しい。支援センターを充実させるより公立幼稚園を充実させる方が、地域をあげての子育ては、活性化すると思う。
- ・ 私立幼稚園ではプレ保育等に通っていた人が、優先的に入園できるといった園もあり、公立入園を希望していても、必然的に選ばざるを得ない状況にあるのが残念です。
- ・ 現状、発達障害等で、加配の先生を必要とする子どもが行くことができる場所が医療センターか公立保育園しかない。この2つは通うにあたって、療育手帳や親の就労という条件があり、簡単に満たせるものではない。こういった子どもが私立保育園あるいは幼稚園に入園しても、退園を迫られ、泣く泣く年中あるいは年長前に退園している。そのセーフティーネットとして、公立幼稚園で3歳児に加配の先生を付けて保育できる環境をつくってほしい。

(4) 保育所（園）の入園基準

○入園基準をもっと柔軟にしてほしい（同様7件）

<同意見の理由>

- ・ 通園する際の手段（使用できる自家用車があるか、送迎する人が車に乗れるかなど）も考慮していただけるとありがたいと思います。
- ・ 自営業の点数が低い。
- ・ 学区加点等を付けるべきだと思う。
- ・ 求職活動中での保育所入園が難しい。
- ・ 仕事が決まらなると保育園に入りづらく、保育園が決まらなると就職しづらい。
- ・ 仕事復帰と共に入園できるよう、園の充実等考えて欲しい。

○妊娠・出産・育休によって退所しなければならない場合があるが、継続して通えるようにしてほしい。（同様18件）

○4月より、保育園または幼稚園に通わせたいと思っていましたが、育休明けの月からでないと利用できないというのが、辛い現実です。員弁市では、産休、育休中も年少から入れると聞き、桑名市は子育てに対して厳しいところがあると思う。年少からでも入園できないとは…。他の子どもと触れ合う機会も減るし、教育も遅れると感じます。

- 申込み手続きを簡素化してほしい（インターネットで申込みができれば良い）。
- 兄弟で保育園が、別々にならないようにしてほしい。（同様5件）
- 保育園募集の一次締切が早すぎます。確か9月末だったと思うのですが、奈良は12月初旬が締切でした。9月末では、まだ来年度のことが分からない人も多いのではないのでしょうか。また、兄弟が別の保育園になった場合、転園（兄の園に弟が移る等）を希望する際、1度退園しなければならないシステムにも不満を感じます。
- 保育園入園の申し込み締め切りが早過ぎ、決定が遅過ぎるように思います。加えて少し柔軟性に欠けるようにも思います。
- 第2子出産のための保育園退園について基準を、明文化してほしい。退園しなくてもよかったのに、間違えて退園させられた人がいる。上の子でキラキラを何度も利用しているが、先生たちの対応がとても良い。幼児でも遊べるおもちゃがあり、とても良い。
- 下の子の育休中であっても、上の子が3歳以上の幼児なら、保育所で預かってもらえるようになれば、いいと思う。
- 下の子の出産に伴い退職したため、上の子（満6歳）が、保育園を残り半年でやめるように言われた。保育園から、役所に状況を伝えてもらったら、「では、厳しく入園する人を選ぶようにする。」と言われた。4月入園できている時点で、年度末（3月）まで続けられる自治体もあるのに、残り半年、保育園にいられないほど余裕がないのかと思った。
- 子どもが保育所時代に、上の子が育休で退所しなくてはならなくなり、復帰後に3人同じ保育所に入れないということで、育休が取れず、かなり追い込まれました。受け皿が小さいことも分かりますが、もう少し柔軟に対応してほしいです。
- 育休中の時、当時年少の娘を保育園に入園させることはできないと言われ、1年間家で過ごしましたが、集団生活を経験させられなかったことが残念でした。外国の方は入れるのに…と思ってしまいました。年少でも桑名は入れないんだと驚きました。松本市、名古屋市、長久手市の公立幼稚園を経験していますが、自治体によりアレルギー食対応に差があると思います。小学校給食と保育園給食でも差があり、疑問です。
- 保育園に在園していても、希望の保育園に転園（併用）できるようにしてほしい。辞めてからでないと移動できないし、受かることも限らないので困る。4歳差でないと退園させられるのも困る。
- 乳幼児期の健診をもっと増やしてほしい。発達の相談を気軽にできるような環境づくりをしてほしい。産前、産後の働いていない期間、保育園を退園させられる理由が不明。
- 保育所への入園が4月入園でないと難しいため、1年間育児休業を取得できず、0歳児で入園させるか、育児休業を延長するかになってしまい、仕事を退職することも考えなくてはならない。途中入園についても対策をお願いしたい。（同様2件）
- 支援センターは何も予定がない日は毎日通わせてもらっていて大変ありがたい場所です。

多度に幼稚園がなく、5歳児しか入れないため、3歳から保育園に子どもを通わそうと思うと親が働かなければならないのが大変です。保育園に入れるために親が職を探すというのはおかしいような…と思いました。

- 近くに遊べる公園が少なく、保育所の園庭で遊ぶことも限られてしまったのが残念です。また発達に心配があり、保健師さんから公立保育所をすすめられていても入れず、保育園（私立）になじめず、毎日大変な思いをしている方もいます。専門家から見ても公立が良いと判断されるような場合は、少し考慮してもらえないのかと思います。申請時に希望理由などもう少し詳しく書く等、個に合わせた園を利用できるようになると、育児と仕事の不安が少し減ると思います。
- 働きたくても「就職活動」だと、希望の保育園に入れることができない。好きで育児休暇を取らなかった訳ではないのに、「育休」を優先するのはやめてほしい。1～3月に保育園に途中入園すると、3月で一旦退園になる制度では、結局4月に預けられる保証がないため、1～3月スタートで働くことができない。
- パートでは入りたい保育園に入れない。預けられないので、土・日曜日の夫がいる間にしか、パートに行けなくなったが、本当は平日に保育園に入りたい。
- 保育園に入れる就労時間をもう少し短くしてもらえたら、働ける母親がたくさんいると思う。産後サポートを充実してほしい。子どもを見てもらいながら、ゆっくりできて、ご飯を食べられるところがあったら良いなと思う。
- 七和地区の子どもに対して、環境があまり良くないと感じています。地域の幼稚園は、年長しか預かってもらえず、他地域まで行かないと年中は預かってもらえません。教室も余っていたり、年々人数も減ってきているので、尚更、保育できる環境をつくってほしいです。
- 待機児童を減らすために、保育所の現状を考えずに入れていることに不快感を覚えます。ゆったりと穏やかな質のいい保育とかけ離れ、疲弊した先生方と落ち着かない子どもたちが現場で見られ、入れればよし！が本当に対策になっているのか疑問です。

(5) 幼保一元化・認定こども園

- 幼保一体化の保育施設の設備を早急にお願いしたい。幼・保→小学校への連携の上でもとても重要なことだと感じます。
- 5歳児は幼稚園という風習があるのか、保育所に残る子が少ない。人数が少ない地域だけでも、幼保一体化して欲しかった。
- こども園が他の市に比べて少ない等、保育や教育について桑名は遅れているのではないかなと思う。(同様2件)
- 認定こども園がもっと増えていくといいと思う。親の仕事に関係なく、3年(4歳～6歳)

間は、保育・教育事業と同じ場所で利用できれば嬉しい。(同様2件)

- 認定こども園や小規模保育施設が増えると良いと思います。見学に行った時、とても古い保育所がありました。建て替え等、検討されても良いかと思います。キッズサロン、園庭開放等、ありがたいです。午後からも開いてくれるところがあると良い。
- 認定こども園を増やして。公立幼稚園、特に大山田地区は、陽だまりの丘の子どもが増えているから、大きい園舎にして、3年保育にしてほしい。

(6) 教育・保育内容

- 保育園の教室が足りず、年中さんと年長さんが一緒に過ごすことについて、発達の段階に伴うプログラムが実施されていない点は何とかならないものかと思います。公立幼稚園について、フルタイムの共働きは利用が難しいため、預かり保育を充実させる努力が必要かと思います。桑名市は保育料も高いですし、遅れていると思います。
- 桑名市には小規模保育や野外保育にあたる保育事業が少なすぎる。また小学校の給食もパン食が多すぎると思う。給食は地産地消を取り入れて米食にしてほしい。私立幼稚園も入れるのに大変だし、勉強を重視した内容も多い気がする。野外保育を望む人のためにも保育料の補助金を出してほしい。
- 保育園の運営者や保育士が、保育の必要事由を就労に限定するような発言をし、保育認定を受けている時間であるにも関わらず、自由登園等で子どもを預かれないというような対応をしていることにとっても不満を感じる。私立、公立保育園で対応の一貫性がない。保育体制確立支援の充実の必要性を強く感じる。
- 保育士さんも大変だと思いますが、子どもたちにとって良い毎日が送れるように、また平等に接してもらえるように保育士さんに心配りして頂きたいと思います。
- ある私立保育園で疑問に思ったことを質問したら、主任の先生に「長年こうやってきているから理由は特にない」と言われ、「夕方は職員が足りないから、ビデオを見せている」と別の先生にも言われた。そこに先生方の思いや考えがないことにショックを受けた。
- 保育園での箸の使用は、年中または年長組からで良いと思います。(年少組からの指導は早すぎるし、食べる事への意欲が欠乏してしまいます。) 給食を楽しく食べたいのに、上手に箸が使えず残していました。
- 公立幼稚園が縮小しています。公立幼稚園をもっと充実させる方向にはできないのでしょうか。それが、無理なら保育園でも満足した『教育』が、受けられるよう転換していくべきです。このままでは、市内の子どもの学力、人間性の低下は防げないと思います。
- 保育所の食事、アレルギー対応等、保育士の方には、本当に感謝しています。レシピや色々な対応のアドバイスも助かっています。
- 公立の保育園でも、教育に力をいれてほしいと思います。別プログラム(有料)であって

も、運動や英語、音楽などのプログラムがあると良いです。

- 保育園、保育士の質や人材の向上を求めたい。現在、入園後に慣らし保育を行っていると思うが、入園前にできないか。子どもにとって負担は多く大変。保育園等の環境、先生方の体制も理解できるが、共働き、核家族など家族等の協力が受けられない家庭にはとても難しいことである。入園してから1週間程度の慣らし保育だと、かなり親の負担が大きい。どこか子どもを預けられる場所があるのか教えてほしい。入園に向けての準備を早くしたため、保育園決定をもう少し早く教えてほしい。
- 保育園によって保育内容での乖離がありすぎる。劣悪とは言わないが、それに近い。外遊びも全然させない。子どものことを考えているとは、到底思えない。市からの指導は入らないのか？会費として毎月500円を徴収されてはいるが、収支会計報告もない。
- 発達相談等、私立より公立保育園の方が、対応が早いと感じている。

(7) 保育時間・日数・保育年数

- 保育所、学童の預かり時間がだいたい18時～18時30分までなので、少し長く預かってくると緊急時に助かります。(同様2件)
- 公立幼稚園の預かりを週5日にしてほしい。
- 私立・公立とも7～19時までの保育にしてほしい。(同様3件)
- 子どもを預ける時間がMAXでも19時まで(もしくは18時30分まで)。職場からは車で40分はかかります。延長料金は払うため、少し迎えが遅れても理解してほしいです。
- 保育園の時間の融通がきかず、月に何回か延長保育をお願いして、お金を払わなければならないのが困ります。市役所に時間を変えたいと連絡しても「証明がある」と言われる。当日にならないと残業は分からないので、変更ができないことがおかしいと思います。
- 公立幼稚園の利用時間が短い。他県では15時までであった。公立幼稚園を利用している、長期休暇に預けられる場所があるといい。
- 桑名市の保育園は、年長のクラスがないので、働く親にとっては、不安があります。
- 24時間体制の保育を希望します。
- 共働きだと幼稚園の利用をさせづらい(送り迎え等)。母親が働く時間を長くしたり、共働きでは、子育てはしやすいとは言えない。(同様6件)
- 幼稚園の時、帰宅時間が早く職場に無理を聞いてもらった。幼稚園と小学校の下校時間がせめて一緒ならお姉ちゃんと帰れたのにと思いました。

(8) 延長保育・預かり保育・休日保育

- 幼稚園在籍の子どもも一時預り事業の施設に預けられるようにして頂きたいです。
- 幼稚園で放課後、長期休みの預りをしていただけると大変助かります。小学校とのつなが

りを考えると公立幼稚園に入りたいですが、14時帰宅や夏・冬休みがネックになってしまいます。(同様7件)

- 以前、一人目の子どもが、熱性けいれんを起こしていたため、土・日、祝日の休日保育を受けることができませんでした。その際、市役所で「一年以上熱性けいれんを起こさなければ、休日保育の利用は可能です」と説明を受けましたが、こういった状態、状況になれば保育を受けられるか、決まったフローがあればと思います。またサービス業従事者や自営業者のための土・日、祝日に保育をしてもらえる施設が充実してほしいです。
- 日曜保育の利用料の引き下げ、または無料化を望みます。
- 公立幼稚園の利用時間を長くしていただきたい(延長保育など)。長期休み、土曜なども利用したい。(同様5件)
- 保育園児でも利用できる、急な休日の保育所や託児所(園児は受け入れてくれるところが少なく料金が高い)。急に予定ができた時などに、預ける場所がない。学童の料金が高い。名古屋市のようなサテライトを作してほしい。放課後2～3時間利用したい。
- 幼稚園に入れなかった時に、「預かり保育もありますので、利用してみてください」と言われますが、そんな空きがないのが現状です。利用している方が先の予約も取ってしまうので、公平に予約が取れる状態でないとなかなか預けられません。
- 仕事の関係で、当日退社時にならないと定時で帰ることができるのか分からないので、延長保育が長くても19時までのところしかないのが不安です。ファミリーサポートも興味があるのですが、事前に予約がいるようなので、利用しにくいなと思いました。
- 平日、仕事をフルタイムでしているので、休日にリフレッシュのため保育園で預かってもらえるとありがたいです。月1回を希望します。
- 通園している私立幼稚園では、土曜保育、長期休暇中の自由登園日の保育には明らかに難色を示される。何のための幼稚園か分からない。大変、不満である。
- 公立幼稚園に入園予定ですが、延長保育は週4回までではなく5回にしたいとありがたいです。長期休暇の間も週に何日かは利用できるようにしていただきたいです。
- 高額な利用料を払って、一時保育を不定期で利用しているのに、なぜ14日間という、利用制限がかかるのか理解に苦しみます。同一敷地内で住居が別ということが、なぜ同居ということになるのか疑問です。全ての働く母親を応援する桑名市であってほしいです。
- 市内の地域によって差があるように感じる。働く親が預けているのに、平日に保育園の行事がある。公立幼稚園で、夏休みに預けられるようにしてほしい。
- 保育所の子と学童の子がいる場合、保育所の子を優先して迎えに来て、と言われるとか。会社からのルートを考えると、学童から保育所という順番で行っているだけなのにどうして受け入れてもらえないのかと思っている親は多い。なぜそのようにするのかきちんと説明はしているのでしょうか？

(9) 保育料・費用

○利用料が高い（同様9件）

＜同意見の理由＞

- ・公立幼稚園の保育料が保育園や私立幼稚園と変わらない保育料なら公立の幼稚園に入る園児が少なくなるのではないのでしょうか。
- ・公立の幼稚園の魅力のひとつの保育料が、収入によって上がるのが納得いかない。
- ・保育園の保育料（給食費も含む）は月額で決まっており、一般的な長期休暇（お盆や年末年始・年度始め）等、預かってもらえない時が何日かあっても、同じ料金になるのはなぜなのでしょう。自由登園だと、預かってもらう子と家で過ごす子がいると思うのですが、それでも料金は一緒です。給食費は特にそう思います。
- ・私立で認定こども園になりましたが、保育料以外にもかかるお金が多々あり、公立保育園に通っている親と子どものことで話していると差がありすぎます。

○子どもの多い家庭の保育料を安くして欲しい。3人目以降の保育料を見直してほしい。（同様3件）

○幼稚園、保育園の利用料の無償化をしてほしい（同様3件）。

○保育料無償化について、森のようちえんのように、認可外のところに通う子どもも同等となるような対応をしてもらえたら嬉しいです。

○保育料無償化には反対です。無償化できる余裕があるくらいならば、保育士、幼稚園教諭の待遇改善（現在の潜在保育者活用のためにも）、老朽化する建物のリフォーム、エアコンの設置にまわしてほしいです。（同様2件）

○保育料が無償化になり保育希望者が増えたら、ますます希望する保育所に入れないのではないかと不安に思っています。

○未満児についても保育料の無償化。

○保育の無償化はやめた方が良く、良い先生が園からいなくなる。土曜日でも1日保育にしてほしい。

○幼児教育無償化はとても嬉しいですが、上の子が小学校にあがると2人目全額になり、プラス学童代を払うと、保育園の時より金額があがります。仕事をしていると、必然的に3歳以上の差になり、せめて学童の小2まで1人目とカウントしていただきたいです。ぜひ、改善していただきたいです。

○産前、産後の期間限定での入園にもかかわらず、卒園の記念品の積み立てを毎月徴収される。迎えないと分かり切っている誕生日カードを購入させられる。通園バスを利用しないにもかかわらず、1か月分の利用料を支払わせられる、など異常な会計です。過去にそのことで市役所に電話をしました。全く何の対処もしてくれませんでした。

○私立保育所の制服やお盆休みは非常に負担である。

(10) 園に関する情報提供

- 保育園の結果をもっと早く連絡してほしい。
- 公立幼稚園の予定です。年中からの集団生活でも大丈夫！という情報がもっとほしい。幼稚園等に通っていない年少児の子育て支援の講座等あるといい。
- 公立、私立を含め、幼稚園、保育園等のいろいろな情報があるといい。(同様2件)

(11) その他

- 保育所の希望が「桑陽保育所」に集中している理由をよく考えてほしい。
- 保育園選びは、預けたいところがいくつもあって迷うものだと思っていたが、正直預けたいところがなくて困っているのが現状である。
- どこの保育園にもあるお布団について、保育料に上乗せしてもよいので、リースなどを利用できるようにしてほしい。子どもを抱いたり、走り回る子どもをみて、お布団を運ぶことに危険を感じる。
- 先日、幼稚園からプレ案内の封書が届いたが、一体どこから名前や住所の情報を入手しているのだろう？と疑問に感じた。見学など行ったことないのに。
- 幼稚園と小学生の集団登園はやめてほしい。小学生が幼稚園の子のお世話をするのは限界があるし、帰りも迎えにこない親がいるなか、子どもだけで帰っている(1人の子もいる)現状では不審者情報も多く、世の中の流れに反していると思います。
- 小学校に隣接する幼稚園をなくさないでほしいです。小学校でのいろいろな行事の際等、一緒に登校できると助かります。

3 母子保健事業等

- 1歳半、3歳児健診を参加しやすい時間帯に実施してほしい(午後や土日での開催)。(同様2件)
- 1歳半健診等の時間が長い。(同様2件)
- 1歳半、3歳児健診で、保健師さんが不安になるようなことを言うのはどうしてですか？バスや車を「ブーブ」と言わなくて、子どもが「バス」「くるま」と答えたら、「ブーブと言わないのはなぜ？」とか。「十」の書き順を4画数で書いたら、2画数で書けないの？と。私には何が問題であったのかわかりません。
- 0歳児の健診回数を増やしてほしい。子育て教室の費用を全て無償化してほしい。
- 赤ちゃん訪問の回数を希望者は増やせたらいいなと思いました。なかなか自分から外に出られないこともあると思うので、来て頂けるとありがたかったです。
- 赤ちゃん訪問には知識豊富で親身になってくれる保健師さんに来てほしい。(同様3件)

- 赤ちゃん訪問の際、保健センターの方から、直接電話いただき誘ってもらえると、参加してみようかなと思えると思います。
- 赤ちゃん訪問は辛い思いをしたので、二度と利用したくないです。職員の方、私語は思っている以上に聞こえています。悪口めいた会話は、控えた方が良いと思います。
- 生後3か月の子の「すくすく教室」がなくなってしまったのはとても残念でした。外出のきっかけになると思うので、また復活してくれると嬉しいです。(同様2件)
- 予防接種等、初めての子育てでは分からないことがたくさんあります。その時期が近づいて来たら、ハガキでお知らせしていただけると助かります。こまめに市からお知らせが届くことで、繋がりを感じられるし、連絡しやすくなると思います。(同様2件)
- 4、10か月健診や予防接種を親に任せきりで、不親切。
- 男性の育児参加のきっかけとなるパパママ教室(両親学級)は必要だと思います。
- 妊娠中のママさん学級がなかった気がする。里帰り出産で、桑名にいる時の産院ではやってなかったのも、そういう時、市の教室があると助かると思いました。
- 子どもが1歳半を過ぎてからは、連絡や指導が全く何もなくなってしまうのだなあと感じました。子どもが小さいうちは「その後どうですか？」等のハガキや連絡を待っているお母さん方は多いと思います。子育て中は聞きたいと思ってもなかなかこちらから電話をしたりができませんので、市の方から連絡してもらいたいと思います。
- 10か月健診の時に、「子育ての不安を感じることもあるか」という健診のしおりの欄に色々書いたら、後日、保健師の方から電話があったが、特に参考になる話でもなく、時間の無駄だと感じた。親身な感じも一切なかった。
- 知人のいる他の市町村と比べ、情報(健診等)が届きにくかったり、補助等も少ない(フッ素塗布等)ように感じます。10か月健診の時も川越町は案内があったので、桑名でもあるものと思っていたら、2番目の時に受け損ねてしまいました。しかももう受けられなくなった直後に電話で連絡…。もう少し早く連絡できなかつたんですね。残念です。
- 10か月健診の票が妊婦健診の票と一緒にいるので、忘れやすいと思う。せめて母子手帳に印があったらいいのと思う。また、10か月健診が過ぎてから(1歳以降)に「来られていないけど、いいですか。」と電話するのはどうかと思う。
- 悩みを真剣に受けとめてくれるように、保健師さんを指導してほしい。頼りになる方もいるが、軽く受け流されたり、的外れなことを言われてショックを受けたことがある。母親の悩みに寄り添ってくれることが、一番重要だと思う。
- アレルギー対応の食事のつくり方、教えていただける機会があれば参加したいです。
- 赤ちゃん訪問の際に民生委員の訪問に同意したのですが、まだ一度も来てもらっていないです。知人も来ていないと聞きましたので、よろしくお願いします。
- 追いつめられる親と子が孤立しないように支援してほしい。保育園に行っていない子と親

も定期的を集めて（検診だけじゃなく）、様子を見たり、困っていることがないか積極的にアプローチしていった方がいいように思います。

- 講座や集団の健診等、親が働いていることを想定していないスケジュールに思える。参加するために有給を取得しているが、健診は特に混雑しているため、そこまで受けるメリットを感じられなかった。運営の見直しが必要ではと感じる。
- 「プレママ・プレパパ体験」への参加は、いい経験になりました。
- ブックスタートは、やった方がいいと思います。たかが、絵本ではなく、親と子が「ことば」と「声」で、コミュニケーションがとれる大事なものになると思います。
- 中央保健センターにて、作業療法士の方に、子どもの発達について助言をいただき、遊び方や子どもの行動の見方等、とても参考になりました。
- 初めての子育てだと、予防接種や離乳食のスケジュールが分かりにくい。市から一覧で月齢別に案内が送付されると、今やることが分かりやすいと思う。いろいろ冊子で貰っても読む時間もないので一覧表の方が良い。例えば、病院の一覧表等。
- 中央保健センターは駐車場が少なすぎる。検診や講座がある時は一般利用者を中央公民館へ誘導し、妊婦や子どもやその保護者が屋根のある駐車場に優先して停められるようにすべき。でなければ複数会場での開催を検討してほしい。
- 保健センターがメディアライブから市役所に移転してから行きにくくなった。場所が狭くて暗い。（同様2件）

4 一時的な預かり等

(1) 一時保育

- 一時保育を利用しやすくしてほしい。充実させてほしい（場所の増加や時間帯の延長）。（同様14件）

<同意見の理由>

- ・事前に予約が必要なので、緊急時には利用できないのが不便です。
- ・幼稚園が休みの時に一時保育を利用したい。
- ・子がアレルギー持ちだと、弁当を持参しなければならないため、利用しづらいです。
- ・週2～3回利用したかったのですが、1回利用終了後に次の予約をしないといけなかったので、とても不便でした。今は四日市の一時保育を利用しています。
- ・幼稚園在籍のため利用できず、とても困りました。また、祝日の急な仕事の際に朝一番に予約の電話をしたら、もう利用できないと言われた時も辛かったです。
- ・数が少なすぎます。増やすつもりがないなら、ベビーシッターの紹介や斡旋など代替を検討してほしいです。

- ・働く人が優先で予約が取りにくい。日曜日は使えない。リフレッシュでは嫌な顔をされる。民間の認可外があれば良いのにと常に思っている。
- ・何日か電話予約をしたのですが、1日も預かってもらえませんでした。1週間前が予約開始なので、朝一番にかけるのですが、既に一杯でした。3つもの幼稚園が空いているので、そこで枠を広げて預かってほしい。週に何日も働くお母さんが一時保育を使うのはおかしいと思うので、保育園に入れてほしい。
- ・子どもが多い大山田地区にあるとよい。
- ・急な預かりに対応してもらえると気持ちにゆとりができる。
- ・認可外の保育施設をもっと増やしても良いのではないのでしょうか。
- ・未就園児でないと利用できない。価格が高くて、いざという時にそういった場がほしい。
- 職場復帰する前に、仕事の準備を事前にしたいと思ったので、一時保育を利用しましたが、リフレッシュ枠になるので、週に1回程度しか利用できず、利用できない週もあり、大変不便でした。
- 一時保育でさんさんルームを利用した時、利用日から7日過ぎないと次の利用ができず困った。制限をつけるなら月に何回までの利用制限にしてほしかった。
- 以前、一時保育を利用しましたが、とても不快な思いをしました（制度面での制限、スタッフの対応）。二度と利用しません。
- 四日市市のように、上の子を一時保育へ無料で預けられるサービスがあれば、予防注射など2人目が打つとき助かると思う。利用の仕方がわからないし、予約するのに前もって行かなければいけない（メディアライヴ1階の保育ルーム）のはとても大変。
- メディアライヴの一時保育ですが、閉館時間が17時だとありがたいです。
- 土・日曜日に子どもを預かってほしい。保育園に通っていない子どもの枠をつくっていただけると助かります。このことを市役所に相談すると、ファミサポを使うように言われますが、ファミサポは個室で他人と…で抵抗があります。
- 利用料を安くしてほしい。（同様3件）
- 幼稚園・保育園に通っていても利用できる一時保育をメディアライヴ以外でも行ってほしい。また、昼を挟んでの1日の利用や、小学校1、2年生までの利用に拡大してほしい。（同様2件）
- プレイルームについて、公共施設の利用に対する制限があり利用しづらい。昼休憩があるため、利用時間の制約が大きい。
- 夜の外出ができないので、夜間の一時保育施設をつくってほしい。サンファーレに保育施設をつくってほしい。駅西に商業施設をつくってほしい（惣菜屋かスーパー）。
- 一時預かりの料金や時間などの一覧表等をホームページ上で分かるようにすれば、利用しやすい。

- 産前産後に保育園で預かってもらいました。産前はまだよいのですが、産後8週は短いと思いました。産後をもっと長くしていただきたかったです。(同様2件)
- 下の子の産前産後の保育園利用を検討したことがあります。公立の保育園はいっぱい私立しか空きがなく、その上、保育園を利用する際の制服や持ち物などは、保育園に確認して下さいとのことで、確認したところ、短期間であっても一式そろえないといけないと言われ、金額も高く現実的ではありませんでした。

(2) 病児・病後児保育

- 急病の時、病児保育を利用させていただきとても感謝しています。
- 病児保育の開始時間を早くしてほしい。(同様2件)
- 緊急時にいつでも預かってもらえるよう病児保育を増やしてほしい。(同様9件)
- 自宅から遠いので桑名駅の近くに病児保育の施設ができるとありがたいです。
- きれいな病児保育施設がほしい。利用料の補助もほしい。
- 他県の保育園ですが、病児保育機能のある園があり、当日の朝、電話をすれば園内の隔離教室で、同じ病気の子同士保育してもらえると聞きました。頼る人がいないママには、そういう園があると助かると思います。一般の病児保育は当日申込みで無理ですし。
- 子どもが病気で学校を休んだりした時に見ていてくれる存在がないのが大変。病児保育も枠が少ないため、当日朝に電話しても予約が取れない時が圧倒的に多く、結局仕事を休まなければいけない。病児保育をいつでも利用できる環境があればもっと働くことが出来ると思う。(同様3件)

(3) ファミリーサポートセンター

- ファミリーサポートについて、普段いる自分の家で姉弟がそろって見てもらえると子ども達の不安も少ないと感じました。
- 保育園、学童にお迎えに行けない時にファミリーサポートセンターを利用したい。
- 習いごとの送迎をファミサポでできるといいと思います。
- ファミリーサポートセンターの利用の仕方が分かりづらい。

(4) その他

- 親のリフレッシュのための預かり事業は少ないと思います。
- 他の市町村では子どもがいたら、1人1回託児所を無料で利用できるクーポンを発券しているみたいなので、専業主婦でもこういった制度があると助かります。
- 週1でいいので、名古屋のように未満児の一時預かりをしてほしい。
- 急用時に対応してくれるところがない。メディアライヴのプレイルームは、お昼が出ない

ことと、16時までということなので、実質、終日サービスに対応していない。その辺り、もう少し柔軟な対応があってほしい。

○祝日の保育を強く要望します。

○夕方～夜に数時間、育児をサポートしてもらえるような取り組みが、あると大変助かります。(同様3件)

○不定期的な休みの人へのフォローがあると良い。

○近くに利用できる場があるが、私自身の体力・精神力がないため、利用できない。実家が近くにあり、助けてもらっているが、私の状態が悪くなく、家族以外との関わりがない。助けてほしいが、手段が分からない。子どもと2人きりになる自信がない。

○親が不在の時に子どもを預けられる施設が無いために、パートタイムですら母親は働きにくい。学童のように毎日でなくても何かあった時に数時間だけでも子どもを見てくれる場所があればと切に望みます。

5 子育て支援センター等

(1) 支援内容

○子育て支援センターでの講座等のイベントを充実させてほしい。(同様7件)

＜同意見の理由＞

- ・毎年、人気の講座は開催してほしいですが、それ以外にも新しい講座が増えると嬉しいです。集団でする遊び等をもっと取り入れてほしいです。また、「ラララ・おんがく」のようなイベントも増えると嬉しいです。
- ・講座の定員がすぐに埋まってしまう。講座の回数を増やすか、定員を増やして頂きたいです。
- ・子どもの歯に関する講話に参加したが、子どもがいることを一切考えていないと思った。未就学児が2時間も我慢できる訳がない。時間がかかるのであれば、2回に分けて行う等できたと思う。
- ・参加したい講座があったが、家から遠い子育て支援センターでいつも参加できなかった。同じ講座を他のセンターでもして欲しかった。
- ・いなべ市ではクリスマス会や七五三までやっていると聞いてびっくりした。
- ・ヨガ等の講座はいつも長島の福祉センターばかりのように感じられます。もっと平等に利用できるよう、開催場所を工夫してもらいたいです。

○年少児（3歳児）が元気に動いて遊べる子育て支援センターができると良い。(同様2件)

○子育て支援センターは未就園児の時によく利用しました。子どもを自由に遊ばせられるので、ありがたかったです。

- 支援センターに行ってもグループができていますので居辛い。先生がもっと出てきて話してくれれば少し違うが、忙しいのか時々出てくるだけなので、一人ぼっちを感じ疲れて帰るだけ。子育ての情報が入ってこない。
- 支援センター等のルールが異なり戸惑う。授乳をしていいという所もあれば、家で済ませてから来てと言われる所もあったり、先生が遊んでくれる所もあれば、そうでない所もあったり、できる限り共通ルールを作してほしい。
- 子育て支援センターはあることはありますが、利用時間や閉館時間、質や内容が充実していないと強く感じています。四日市市や川越町等を真似してほしいところです。
- 名古屋市から引っ越して来ました。「とみにー」という支援センターが近く、1人目の時に、企画、遊び等、全てにおいてすごく充実していて、楽しい思い出があります。支援センター自体は、桑名の方がきれいですが、物足りずに足が遠のきました。「とみにー」みたいなところが桑名にもあるとうれしかったです。
- 支援センターや子育て支援をしているところはたくさんあるが、障害を持っている子の親は行きづらい。でもそういった親御さんこそ、支援してあげてほしいです。だから障害を持っている子の親が外へ出やすいようにしてあげてほしい。他の子を見ることでつらい思いをすることが多い。障害を持っている子だけの日を作るとか、そこから。少しずつみんなと一緒に支援センターへとつなげていってあげてはどうか。
- ほぼ毎日「ぽかぽか」に行き、子どもを遊ばせています。保育士さんも皆優しく、小さなことでも相談にのってくださり、助けられています。図書館の本も貸し出しに出張に来てもらえるので、利用しています。こういう施設が近くにあると嬉しいです。
- 子育て支援センター「きらきら」には、いつもお世話になって、ありがたく思います。色々な地域の支援センターに行きましたが、桑名の支援センターが職員対応、施設面、おもちゃや遊具など、一番良いと思いました。
- 支援センター等、よく利用させてもらっています。おもちゃやスタッフも充実しており、興味ある講座もあり、子育てしやすい環境だと思います。
- 桑名市で子育てをして1年になります。8か月ころから支援センター（主に「ぽかぽか」「にこにこ」）を利用していますが、保育士の先生が本当に優しく丁寧で、さまざまなことを教えてくださり助かっています。
- バスの本数が少ない南部地区には支援センターも園庭開放してくれる保育所もなく、常に車での移動だった。幼稚園での園庭開放も、幼稚園閉鎖に伴いなくなってしまった。近所との関わりがないまま、小学生になるので、子ども同士の関わりが心配。
- 各支援センターでも、毎月、身体測定をしてくれる日があるといいと思います。

(2) 設備・環境・整備

- 子育て支援センターの利便性を向上してほしい（場所や駐車場のわかりやすさ等）。（同様7件）
 - ・駅付近（「キラキラ」「いこいの広場」）の子育て支援センターがメインとなっている印象を受ける。他の支援センターの活動や情報提供を充実させてほしい。
 - ・車が無いと行けない。
 - ・アクセスしづらく子どもを連れていくのが大変である。
 - ・保育士さんや保健師さん等、専門的な人たちを常駐させて。カフェの様な感覚で行ける空間があるといい。
- 支援センターをよく利用しますが、保育士さんたちが温かく、相談しやすく、市内に何か所もあり充実しているように思います。
- 支援センターの玩具等は、とても充実していて楽しいところである。しかし、センターの数が少なくいつもすごい人だった。もう少し数を増やしてほしい。
- 主に長島支援センターを利用していますが、ランチルームとなる部屋を提供してほしい。午前の時間が短いので。講座で託児する部屋が日常は空いているので。
- 桑部地区の近くで、もっと支援センターがあればいいと思います。そして室内だけでなく、外遊びがたくさんできる支援センターがあればもっといいです。
- イオンにできた支援センターは、とてもよいと思いました。他の空き店舗があるところに、小さくてもいいのでもっと増やしてほしいです。
- 支援センターに行きましたが、駐車場も分からず、カーテンも閉まっていたため、やっているのかも分からず帰って来ました。もう少し分かりやすく看板等があると嬉しいです。
- 子育て支援センターが少ないように思います。以前、海津市に住んでおり、未就園児が遊べる施設がたくさんありました。ほとんどの保育園で毎日だったり週3日遊ばせてもらえ、上の子2人をよく連れて行き、友だちができたり、母親も先生や他のお母さんたちと交流ができてとてもよかったです。桑名市では時間も短く週に1回だったりするので忘れてしまったりしてほとんど行かなくなりました。

(3) 利用条件

- 子育て支援センターを在園児にも使用できるようにしてほしい。下の未就園児は支援センターに連れて行きたいが、上の子がいるのとあきらめることがあります。（同様13件）
- 自宅近くに「ぽかぽか」がありますが、もう少し長い時間開けて頂けるとありがたいです。また、せっかくの立派な施設なので、他市のように子どもが参加できるイベントや工作、ゲームなどを企画してほしいです。名古屋市の戸田川子どもランドはイベントが多く、よく利用させてもらっています。

- 支援センターによく行ったが、四日市にいたころの支援センター（ぽっぽ）と比べると自由が少なく、規制（授乳をする際には完全に隠れないといけない等）を多く感じた。産まれてすぐは駄目とか。急用の場合も、一時保育が充実していたら安心。本当に急用の人は、絶対使えていないと思う。保育園の延長保育が厳しすぎる。園によるのかもしれないが、時々、リフレッシュのためという理由でも気持ちよく預かってほしい。
- 子育て支援センターの中途半端な年齢制限をやめてほしい。年齢の低い子への配慮は感じられるが、年少、年中、年長児への配慮に欠ける点が十分ではない。なぜ「わんぱく広場」に年齢の低い子が入って遊べるのに、「かるがも広場」はだめなのか。時間が来ると小学生の子たちも来て、「わんぱく広場」は幼稚園児には危なくなり、帰らざるをえなくなる。検討して下さいとありがたいです。
- 支援センターへは幼稚園へ行っていると行けないので、全て児童館にしてほしい。長期休暇中の遊び場に困る。一緒に行けるのは一部のセンターだけなので、全て対応してもらえると遊ばせやすい。公園はパーキングのない所が多いので、もう少しパーキングも充実させてほしい。
- 近くの支援センターを利用したいが、小学生の子がいるので、子2人と大人1人だと利用できなかった。同じ空間で本を読んでいても「ダメ」と言われ残念だった。いっそ未就園児までにしていただけるといいと思う。
- 3歳以降の未就園児が参加できる親子講座やサークルなどが非常に少ないと思います。また、支援センターも小さい子が多いため、なかなか利用することが難しいです。利用日を年齢で分けるなど週に1回でも、この年齢の子が気兼ねなく、利用できるようにしてほしいです。または、公立幼稚園を年少から3年にしてほしいです。公立幼稚園の園開放日を増やし、子育て専門スタッフを配置し、気軽に相談できる場になればと思います。公立幼稚園の申込みは校区内なら優先的に受け付けすべきだと思います。
- 「ぽかぽか」を利用していますが、就園児の部屋は、未就園児の部屋に比べて狭く、未就園児部屋と遊具に差がありすぎます。就園しているかに関わらず、平等に遊べる場所を提供してほしいです。（同様2件）
- 保育園の短時間保育で子どもを預かっていただいていたころ、保育園に通っている子は、平日に子育て支援センターを利用することができないと知り、残念に思いました。
- 「ぽかぽか」はあんなに大きな施設でありながら、小学生低学年までを利用対象者としているのはなぜか。兄弟でも高学年は利用できないとなると、利用したくてもできない。施設を学校の近くにつくるべき。校区外という理由で行けない。
- 支援センターを利用しようとしたが、就園児と未就園児とが利用する部屋が違うのが不思議。未就園でなくても、土・日曜日に支援センターの利用ができるようにしてほしいです。地域の繋がりとして、支援センターを利用できるといいと思います。未就園の人も、実際

に通園している人の話が聞けるので、いいと思います。(同様2件)

○支援センターに就園児も行ける日を増やしてほしい。長期休暇、平日の午後等、幼稚園児も利用(土曜だけでなく)できるようにしてほしいです。(同様3件)

○学齢児への支援が、あまりないように感じる。子育て支援センターは慣れない者にとっては、使いにくい。また、保育園児は遊ぶ部屋に入ってはいけないと言われ、とても嫌な感じを受けたことがありました。支援センターの運営にも工夫がほしいです。

○支援センターを利用できるのが市民だけなので、他県や他の市の友人や家族を連れて行けないのが残念です。(同様4件)

○市外の人には利用できない支援センターが多い。あまり充実しているようには思えない。父親参加必須の行事等があればいいのと思う。例えば、24時間365日ずっと子どもという大変さを第三者から強く教えられれば、夫婦での新しい気付きになると思う。自分が子育てするまで知らなかったけど、ほとんどの母親は精神がぎりぎりだと思う。

○支援センターをもっと清潔に保ってほしいです。

(4) 利用時間

○利用時間を増やしてほしい(同様4件)

<同意見の理由>

・12~13時まで遊べるようにしてほしい。

・以前住んでいた町では、朝から夕方閉館時間まで休憩時間はなかったので、子どもが11時まで昼寝しても利用できて、利用しやすかった。

○弁当を食べられる場所を増やしたりしてほしい。(同様4件)

○日曜日も空いているセンターがあとひとつ駅近くなどにあればいいと思います。

○支援センターの存在が私にはすごく助かっています。先生が声をかけてくれたり、色々と相談にのってもらえると、心が安らぐ時があります。支援センターの利用時間がバラバラで間違えてしまいます。

(5) スタッフ

○支援センターは広くてキレイだけど、職員があまり話しかけてくれないので行きづらい。支援センターのイベント申し込みを電話もOKにしてほしい。

○支援センターに行っていたが、スタッフさんは全然積極的に関わってこなかったり、育児について相談しても、あまり聞いてもらえなかった。積極的でない人にも優しい対応をして欲しかった。人の温かみのある支援事業を行ってほしいです。(同様2件)

○長島の支援センターの先生のフットワークの軽さと、目の行き届き方は素晴らしいと思います。昨年度までより、ぽかぽかの先生も親身になってくれたり、よく子どもたちを見て

くれていると思います。支援センターによっては行く度に嫌な思いをするので、私たち親子には合いませんでした。先生の声かけの仕方がきちんと子どもを見ていないからか、いつもズレを感じます。選択できるセンターがあることは良いことだと思います。

- 支援センターに行くと、子どもが遊んでいるとすぐにスタッフの方が「今まで作ったブロックや線路を全部片付けてから遊ぼうね」と何回も言ってきます。言っていることは理解できますが、常に言われるので嫌になります。子ども2人のオモチャを片付けるだけで終わってしまい、本当に疲れます。
- 支援センターによっては、終了時間が近いと早く帰ってくれというような顔や態度をされるので遊びにくい。
- 以前、支援センターにいたスタッフの方が、他人のことを本人不在の場や複数人のいる場で話してしまうのが嫌で、施設の利用をやめた。
- 支援センター等、よく利用している人と、利用回数が少ない人への対応にとても差を感じた。どの利用者に対しても平等に対応してほしい。(同様2件)
- 今のところ、困ったことはなく充実していると思います。離乳食教室なども助かりました。支援センターで遊ばせることもでき、スタッフさんもさりげなく悩みなどないか気にかけてくれる感じが、何かあったら相談してみようという気になります。
- 支援センターの先生方が親切で温かい雰囲気を作って下さり、気軽に相談しやすく、的確なアドバイスを頂けて感謝しています。(同様2件)
- 子育て支援センターの職員に、離乳食の食べが良くないと相談したところ、「この子の身体のなかはボロボロ」と言われ、悲しかったです。他にもっと言い方があるのではないかと思います。気持ちに寄り添ってもらえる言葉や指導方法をもっと考えてほしいです。
- 支援センターのあり方を少し考えてみてほしいです。本当に困っている人達、子育てが行き詰まり居場所を探している方、また支援センターには行きたいけれどなかなか人とうまく付き合えないので行くのをためらってしまう人達のためにも、支援センターの保育士の方はそういう方達を大切にしていきたいです。
- ぽかぽかの保育士さんはとても温かくて支えてもらっています。月曜日もやって頂けると助かります。おむつの無料券など他の市のように配布して頂くと大変助かります。

6 学校

(1) 設備・環境

- 公立幼稚園・小中学校にエアコンを設置してほしい。(同様22件)
- 校舎・遊具が老朽化しているため、改修してほしい。(同様6件)

<同意見の理由>

- ・古い校舎で勉強させるのはかわいそう。

- ・小・中学校の耐震等を含んで改修してほしい。
- ・久米小学校の建屋が古い。壊れて電気がついていない所がある。建て直してほしい。
- ・七和小学校の遊具の古さにびっくりしました。毎日、通う場所の遊具を安全に遊べるものにしてほしいです。

○トイレが古くて汚いため改修してほしい。(同様7件)

○大山田東小の学区は非常に通学が広く、建物が古く心配です。陽だまりの丘から大山田に多数の通学を見ます。良いことはひとつもないと感じております。

○長島プールの屋根修理、何とか使用できるよう考えて頂きたい。子どもが安全に遊べる場がもっと近隣にあってほしい。

○また、夏休みのプールも日数が増えると嬉しいです。

○小中一貫にするくらいなら多度の小学校をまとめるくらいでいいのでは？

○子どもの人数に対して学校が多すぎて税金が有効に使われているのか疑問を感じます。学校ごとで学力のレベルの差が大きく高校進学に不安を感じます。さらに雰囲気の違いも大きく越境入学を望む声が多くあることを知ってほしいと思います。

○学童のこと、子育て支援のこと、保育所のことなど現場任せすぎるように感じる。小中一貫教育というなら、もっと小中連携のとれることを考え、子どもが中学校に上がる不安の解消やいい例を参考にしていってほしい。所得による教育格差の対策を。ただでさえ負担の多い先生に土曜出勤をしてもらって時間数を確保するのはなくしていいと思う。共働き家庭では子どもとの時間も減ることになります。中学校での部活の時間について。子どもや先生の負担を考えてもテスト週間以外で部活の無い日を設定して頂きたい。

○授業崩壊の状態については先生方もご苦労されていることは充分承知しておりますが、対応をお願いします。

○中学校にて給食を提供してほしい。(同様5件)

<同意見の理由>

・子どもの成長のためにも、お弁当や委託スクールランチではなく、温かくておいしい給食を提供できるようにしてください。

・旧桑名市の中学生に給食を提供して頂けないことにとても不平等を感じています。

○学校給食費を無料にした方が良いと思います。払えなくて、給食費を学校で請求されている子がいるようなので、かわいそうです。

○小学校で害虫が出ています。清掃、衛生管理をお願いします。

○小学校で使っている物が古すぎてかわいそう。破れたまま使用中の体育のマット。給食当番の白衣、使いすぎて生地がすけている。子どもが少なくなる中で、気持ちよく学び学力向上できるよう、充実させてほしい。多子にもっと支援してほしい。共働き親子へのサービスの充実。子育てしやすい市をお願いします。

- 精義小学校は災害時に避難所になる場所なのに、体育館のトイレが男女一緒に使用するというのがあると思います。水道の水も濁っています。災害が起きた時に困惑する前に工事してもらえるといいなと思いました。
- 多度に新たに小中学校を建設するお金があるのなら、プレハブで学んでいる子たちをきちんとした校舎で学ばせてあげてほしい。
- また教員が休職、退職が連続しており授業が遅れ、テスト範囲もアンバランスな状況にあると感じています。また、体育館（小中学校）の利用で利用料金も上がり、子育てはもちろんですが桑名市民が健康に暮らしていく環境なのか疑問に思うことが増えました。迅速な対応をして頂きたいです。
- 西別所と希望ヶ丘地区の中学生は明正中学へ自転車通学にしてほしい。こんな長い徒歩時間で何か事件にあったらどうするのか？なぜ大桑国道辺りまでを徒歩にして、蓮花寺からの電車利用OKとの中間地域が自転車OKでないのか？おかしいと思う。小学校の校舎、机や椅子の老朽化が目立つ。市の財政の問題でクーラーがつかないのも問題だと思いますが、一度、しっかり小学校を見て回るべきだと思う。プールも先生方が自分たちで塗装補修をしたりと市はもっと現場を見るべきだと思う。もっと行政が一体化して、子どもたちの下校の午後3～4時頃にパトカーで見守りに出たり、ボランティアや自治体のパトロール隊、街灯、防犯カメラなどで子どもたちを守ってほしい。防犯のためのキッズ携帯を首やランドセルに付けさせてほしい。
- 学校図書室の充実を求めます。子どもにたくさんの絵本を読ませたいです。
- 小学校にある遊具などで学校ごとに格差があると思います。のぼり棒やジャングルジムなどはめったに見かけません。児童館や大型公園においての遊具が充実していないと思います。他自治体ではネットのアスレチック、ボルタリングなどが無料でできる施設があり遊びに行くと使い慣れている子どもたちと身体能力の差を感じます。幼少期の内に使用できる場所が市内にあればと思っていました。
- 桑名市の財政が厳しいと噂で聞きました。学校のちょっとした備品を購入したり、非常勤の先生の勤務日数も経費削減で減ったと聞きました。あくまでも噂ですが、それが本当であれば他で減らせるところを見直すなどして頂き、未来ある子どもたちのためにも何とかするようにして頂けたらと思いました。
- 子どもの数に合わせて学校のクラス、教室数や施設を確保してほしい。（同様5件）

<同意見の理由>

- ・新興住宅地が増えているが、学校の数はそのまま、教室数が足りるのか。適正な教育ができるような環境ができるのか心配している。
- ・大山田地区は小学校や中学校の生徒数が多い。先生と生徒の関わり、教育指導が薄いのではないかと。施設面でも運動場が狭い。運動会はできない。プレハブ校舎は本当に不満

です。障害を持っている子どもの施設がまだまだ充実していないという話を聞いたことがあり、もう少し発展してほしいと思いました

- ・学年で1クラスだと、6年間の間に子ども同士で何か起こらないか心配になる。
- ・最近、長島の小学校を中部小学校に全て統一するという話を耳にします。それは、絶対にやめてほしいと思います。なぜなら、生徒数が増え、教育指導に目が行き届かないところが出てくると思うからです。また、人数が増えればトラブルも増えます。
- 駅より海側の小学校区が細かいため、幼稚園でできたお友だちとも近くなのに別れることになる。
- 小学校の人数の大小があり、学区の見直しをしてほしい。(同様8件)
- 小学校が統一されると、通学距離が長くなりすぎる。小学生は歩いて通学するから体力が付くので、スクールバスとかナンセンスです。
- 陽だまりの丘の北の方に住んでいる子ども達には、大山田東小は遠すぎる。ぽかぽかを小学校にするか、大山田東小までバスの提供をしてほしい。
- 小学校の分団制度は、昔のままで、融通が利かない。危険なので、自由登校の地域をつくらず、隣のマンション等と一緒に登校させてほしい。

(2) 教育内容

- 最近、小学校では子どもに対する禁止事項がやたらと増えているように感じます。子どもは行動の幅が狭められ、禁止事項に縛られて自分で考えて行動しづらそうです。学校側の指導はもっと子どもに考えさせ、禁止せずともうまく活動するための考え方やふるまい方を模索するようなものをお願いしたいです。
- 地域によって学力の差がありすぎます。市として格差を見過ごされているのでは困ります。塾へ通わなければレベルの高い高校へ行けないという風潮が気になります。もっと勉強が当たり前になれる雰囲気、桑名市全体で作っていきたいです。
- 地域によって差があると思っています。教育費にとってもお金がかかる時代です。そのためにも中学までは医療費を無料にしてほしいです。また優良人材や生徒には支援などをしたらどうでしょうか。本気でグローバルを育成したいならまずは国際的な感覚を！
- 他県では小学校高学年から部活動があり、桑名でもあったらいいなと思います。子どもたちにとっても仲間づくりの場になるし、働くお母さんたちが安心して子どもを預けられる場にもなるからです。部活動をしている児童は本当に充実した様子でした。
- 各中学校での部活動などがもっと気軽にできるようになれば良いと思います。校区の中学にないクラブは、週に何日か校区を超えて参加できるなどです。
- 学校行事をもう少し働いている人のことも考えて少なくしてほしい。行事が多いと仕事を辞めなければいけない時が来る。

- 問題行動のあるお子さんに専門的に関われる環境を！その子たちによって、心や体が傷ついているお子さんが多いです。

(3) 教員

- 小学校で講師の先生が（特に新卒）担任を持つ場合、指導の先生を付けてほしいです。子どもは同じ条件で教育を受けることが大切であると考えています。
- 子どもが登校拒否となり、いろいろな窓口で相談にのってもらいありがたかったです。また、学校の担任の先生の大変さがわかり特に1年生にはもっと人手が必要だと思いました。大変な中、登校拒否をしている息子に1日のスケジュールを毎日書いて渡してくれました。ボランティアが入ってもいいのかなと思いました。あとスクールカウンセラーの人数が増えると細やかにフォローできるのかなと思います。各学校に常駐してほしいです。
- 家庭の経済力で、子どもには大きな格差が生まれていることをもっと理解してほしい。言いたくても言えず我慢している子どもがいること、学校の先生の理解の差も激しく、昨年はとても配慮して頂き本当に救われたが今年は全く関わってもらえず、子どもも「学校に行きたくない」と言い出す日がある。親子ともども辛い。
- 学校の先生の負担が大きく、全体的に余裕のない先生がたくさんいます。教師の勤務改善をよく考えてほしいです。特に小さい子どもがいらっしゃる先生が気の毒です。
- 学校の先生をもっと支援していただきたいです。

(4) 相談・居場所

- 各学校に「心の相談室」のような場所があるといいと思います。辛い時、逃げ込める常設の場所が無いのが残念です。週に何日か開くのでは意味が無いと思います。（同様2件）
- 高校生、不登校の居場所を作してほしい。不登校支援者の専門家の人数、サポートを増やしてほしい。
- 指導員の採用や育成のより一層の支援、子どもたちの生活空間の改善をはかって頂きたい。保護者が子どもや保護者自身のことなどについて相談できる窓口を学校に設けて頂きたい（スクールカウンセラーなど）。すでに設置されている場合は、もっと情報提供したり活用を促して頂きたい。

(5) その他

- 子どもにとって安全に日常が送れる環境が良い。放課後の学校開放（クラブとかではなく自由に遊べる場所があるとよい）、先生がいる時間帯はいいのでは？
- 数年前に引っ越してきましたが、転校生への対応が何もなくビックリしました。桑名が4つ目の小学校でしたが他の小学校は転校の際は教頭あるいは学年主任が学校について対

応してくれました。役所を含め引っ越しの際の対応が一番残念な場所です。

- 通学時の交通指導をしてほしい。道幅いっぱい広がったり、通園バス等が通るとバスに触り危ない。敷地内、駐車場に勝手に立ち入り、ランドセル、かばんを車にぶつけられ迷惑している。
- 小・中一貫校計画に早く取り組んでもらいたいです。(同様3件)
- 多度の小中一貫校計画が、理解できず、今後も強引な計画の進め方をされるのではないかと、とても不安です。多度町内の小学校の生徒数にばらつきがあるため、小学校を1校にするのは、賛成できますが、小中一貫を行うメリットが分かりません。
- 多度の小中一貫校の考え方に反対。小学校だけの合併ならまだしも、青写真あつての説明、推進に不満。
- 小学校の放課後支援、夏休みの支援など学校開放してほしい。(同様2件)
- 小学校の卒業式での服装を、中学校の制服に統一してほしい。
- 公立の中学校に通うのに電車通学を余儀なくされ、定期券購入の際の補助もないというのは腑に落ちません。自転車通学者との兼ね合いもあるかもしれませんが、ぜひ検討して頂きたいと思います。
- 小学校で、普段と違って早帰りなどがある時、学校で遊んでから帰宅したり、待っている部屋があるとよい。親、特に母親の働き方に影響を与えていると思う。

7 特別な支援

(1) 療育支援

- 障害児やその親に対する支援も充実してほしい。療育センターの保育内容、児童発達支援、放課後等デイサービスの利用日数の見直し(ちょっと少なすぎると思います)など。(同様4件)
- 障害者が成人しても自立して生きて行けるように手助けをしてくれる大人が必要です。もっと障害者のこともサポートしてもらえようお願いします。相談もできる窓口を作っていただきたいです。
- 桑名市は発達障害など、グレーゾーンの障害児、具体的には小学校で普通級に在籍し普通級教室に通う子、軽度の支援級に通う子への支援が、他の自治体に比べ少ないと感じます。診断書がなくてもグレーゾーンの子どもが適切な療育を受けられる施設を整えてほしいです。学校、普通級教室、療育施設、医療が連携して、子どもを支援する体制の早急な確立を希望します。(同様3件)
- 桑名市は障害のある子の療育がすごく不足している。低年齢(1歳半健診の時)のうちに、経過を見ていまいしょうと判断された。保護者のフォローができていないと感じる。不安

にさせておいて、その後の療育に繋がるまでも時間がかかる。市内で通院でき、子どもの療育を充実してほしい。

- 支援を必要とする子どもに対して、積極的に受け入れる教育・保育事業先を公開してほしいと思う。個人で1か所ずつ調べて電話しての繰り返しで、しかもどこも消極的な場合が多く、なかなか難しい場合が多い。
- 発達に関することで、年1回の相談では足りない。もう少しアドバイスがほしい。
- 学校から、子どもの成長や発育等で指導され、個別に教室に通うよう案内を受けました。しかし、その教室が満員で、通うのに順番待ちという状態です。早く通わせてあげたいと思っています。1人でもそういった教室の待ちがなくなれば良いと思います。
- 障がい児の保育園の利用についての入園基準（障がい児枠就園時間に制限されないもの）ができれば嬉しいです。また、支援を受けながらの幼稚園・保育園の利用が一般的なものになっていくと嬉しく思います。
- 訪問型の保育サービスを充実させてほしい。一時保育を障がい児も断られないようにしてほしい。保育園の障がい枠、未就園の障がい児の母子分離預け先、送迎の充実。
- 障がいに合わせたグループの相談や交流会等があったら参加したい。
- 市役所等公的機関で、子どもの発達障がいに対応する人員をもっと増やしてほしい。
- 発達について、相談しましたが、どの保健師さんも、とても親切で感謝しています。我が子は発達面で心配のある子ですが、今のままの支援が続いていけば、安心できます。
- 子どもは発達障がいですが、保育所の先生に聞いても、子どもの総合相談（2回受けています）からも、情報を得ることはできませんでした。桑名市に療育センターがあることも、別のところから聞きました。発達障がい児の母の会「チューリップの会」に参加して、初めて知りたかった情報を得ることができました。施設や窓口があっても、その存在が必要な人に届かなければ、意味がないと思います。
- 四日市では、市が主催で、障がい児のクッキング教室、プール教室等が年に数回開催されている。桑名市でも、障がい児を対象としたイベントを開催してほしい。障がい児も健常児と同じように生きていける桑名市であってほしい。療育センターを利用せずに育つ障がい児、公立幼稚園・保育園に通わず育つ障がい児は市から把握されにくいように思う。子どもがどのように育っていても、差がないようにしてほしい。
- 療育の申請や相談の予約が取りにくい。早く対応できるようにしてほしい。
- 数年前、子どもの発達がゆっくりだったために、市役所に相談に行きました。いろいろな質問に1時間以上かかって回答し、最後に「発達の遅れというのは、一生遅れが取り戻せないという意味なんです」と言われ、特に何にアドバイスもなく帰されました。その後、民間の療育先で「遅れは取り戻せなくはない。必ず、子どもは伸びますから」と励まされ、一生懸命に育て、今では遅れを取り戻しています。桑名の療育の見学に行きましたが、「ど

うせ良くなるわけない」と思っているのが見て取れ、発言も非常に後ろ向きでした。しかし、四日市や名古屋市だと、「元々知的な遅れはないと思います。桑名の療育は間違っています。情報や知識が古く、経験もないのでしょう。発達検査は、5歳までは正確な数値が出ないので、鵜呑みにしないというのが常識です」というようなお話しでした。母親を絶望させることを、わざわざ言わないでください。療育は、日々進化しています。四日市、愛知、岐阜、静岡まで療育に行き、見違えるほど成長して普通扱いで学校に行けるようになった子どもたちを何人も見てきました。桑名の療育に行かせなくて、本当に良かったと心の底から思っています。どうか、どんな子どもでも諦めないであげてほしいです。桑名の療育や相談が良くなることを祈っています。

- 1歳半健診で、発達の遅れを指摘されてから、いろいろなサポートを受けさせていただきました。特に、どんぐり教室ではとても助けられました。同じ境遇の友人もでき、就園の相談や発達の相談、病院の紹介もしていただきました。
- 重症心身障害の子どもが保育園を断られました。障害児の両親が働くことができないということは差別だと思います。市は障害児差別にも力を入れるべきではないでしょうか？重症心身障害児が利用できる施設は菰野町の「なちゅらん」しかありません
- 桑名市は発達支援が必要な子への配慮が足りていないと思います。特に、幼稚園や保育園から小学校へ進学時の対応で連携がとれていないところが問題だと思います。
- うちの子は支援を必要とするので遊び場所あまり行くことがない。入るにはハードルが高いです。自分の子を把握して地域の学校を希望しているのに就学前検査は必要ですか？結果次第で心が折れてくる親はたくさんいます。自分の子を把握していない親に検査は進めないのですか？
- 子どもの発達相談の予約をなかなか取れないことがあったので、窓口をもっと増やしてほしい。療育センターで言語訓練を受けていましたが、大きくなると通うことができなくなってしまったので小学生以上も通える場所を増やしてほしい。発達障害児の教育ができる専門の知識を持った教員を増やしてほしい。LDの子どもも同じように授業に出られるようにタブレットの持ち込みが認められるといいと思う。
- 学習支援が必要な子が普通学級だけに所属して支援を受けておらず、本人も同じクラスの子も苦しんでいるというケースがよく見受けられます。とてももったいないと思いますし、本人が機会、権利を与えられずかわいそうに感じます。もっと有効なアプローチはできないのでしょうか？学校においてはもっとサポート人員が必要だと感じます。
- 発達障害は個性です。周りが理解ある対応を！には限界があります。本人が変われる中で変わっていくためのサポートを幼少期より受けられる環境を作って頂きたい。軽度発達障害の子どもたちが過ごしやすい学校になることを願っています。
- 通級指導教室が小学校のみしかないのがとても残念です。子どもの将来のためにも中学校

に入学後も教室があればいつも思っております。

- 桑名市は、小学校入学以降はあまり発達支援に力を入れていない印象です。支援級の教員を増やすべき。ADHA児の相談や受診が津市の県立子ども心身発達医療センター、市の相談だけでは不十分だと思います。早期療育は有効ですが1歳半で発達障害と告げられ、小学校前に支援級から普通級には入れないと当時の市の職員や保育所の園長に言われた不安は普通級に戻れた現在も残ったままです。
- 障害児の保護者同士のコミュニケーションの場が少なく、情報も少ない。障害児の保護者の会などに属していないと講演会、勉強会などの情報が少ない。
- 以前、子どもの発達について保健センターへ相談に行きました。発達障害の検査待ちがとても多く、すぐにはできないと言われたのでもっと担当の方を増やし、検査など早くできればありがたいと思う。結局検査は受けませんでした。
- 発達段階に差が多くみられる低学年学級に副担任や補助の先生の数を増やしてほしい。通常の授業の進み具合や、トラブル回避になるのではないのでしょうか。
- 障害福祉の療育機関が不足しているように思う。支援学級を担当する専門的知識を持った先生がリーダーシップをとって頂きたい。(同様2件)
- 現在、発達の遅れがあり、津にある小児精神科に通っている。桑名にももっと専門の病院があればいいのと思う。子ども総合相談センターの方、もう一步踏み込んで、具体的に病院を紹介してくれたり、リハビリ教室等を紹介していただけたらと思う。話を聞いてくれるだけでは何も変わらない。

(2) ひとり親支援

- ひとり親家庭への支援(手当等)が少ない。(同様3件)
- 同居の家族の収入により補助が減ることをやめてほしい。(同様2件)
- ひとり親家庭で、市にDVについて相談したことがあるが、全然わかってもらえず二度としないと思った。
- ひとり親なので大変ですが、市に守ってもらえていると思います。医療費が窓口無料だと、病院に行きやすく助かります。市役所の赤ちゃんの駅や保育所の保育料を安くしてもらっていたり、児童手当、特別養護手当など…。初めて子どもを産んで、出産費用も検診も無料でありがたかったです。夜、預ってもらえると更に助かります。
- 母親しかいないので、祖父母が主となり育てています。母親も病気のため、仕事をすぐ辞めてしまい、私たちの負担が大きいです。また、母親が外国人のため、生活保護を受けられません。そのようなことをもっと考えていただきたいです。

8 公園・遊び場・児童館等

(1) 公園・遊び場

○子どもが安心・安全に遊べる公園が少ないので増やしてほしい。(同様30件)

○遊具・砂場・駐車場等の公園の設備を充実させてほしい。(同様13件)

＜同意見の理由＞

・駐車場を十分な台数分確保してほしい。

・屋根付きの休憩所やスペースがほしい。

・ペットの散歩は禁止してほしい。小さい子は何を触るか分からない。飼い主に対する始末等、条例はないのでしょうか。

・木登りができる公園がほしい。

・歩いて行ける公園がほしい（車がないと行けない）。

・他市には水遊びできる地面の柔らかい公園、トランポリン、広場などがある。

・小さい子が外でのびのびと走れるようなスペースがほしい。飲食可。小さい子優先。犬禁止で。すべり台等は、最小限のスペースで芝生のスペースを広く。子育て中の親同士で話す場所も兼ねて。

・ランチができるスペースを増やしていただければ、親子連れも増え、交流も増えると思う。そういう場所をつくれば、長期休みも費用を使わず子どもと一日中遊べて良いと思う。そして、赤ちゃんのために室内で遊べる施設があると良い。支援センターもあるが、家で遊んでいるのと変わらない感覚がある。もし可能ならもっとイベント（手遊び、歌、工作等）を開いてほしい

○公園にトイレを設置してほしい（子どもは急にトイレというので…）。(同様2件)

○少し離れた公園に行くとしても歩道がない。舗装されていない等の幼い子どもと一緒に通るには危ない道が多い

○遊具がさび付いており、草が生え放題のところ、誰が遊ぶのかと思いました。情報誌等も外出しないと手に入らないので市のホームページを充実してほしいです。本当に、幼稚園に入る前の小さい子が外でのびのび遊べるところが身近にないのが困ります

○中学生がバスケットゴールを使って自主練習する場所が無いようです。九華公園、NTN運動公園などは、どれも規格があってないようです。体育館など取るのもなかなか思うようにいかず、屋外でシュートの練習ができる場所が無いものかと思います。規格のあった野外のバスケットゴールを設置して頂けたらスポーツに打ち込もうとする少年少女たちにとってありがたいのでお願い致します。

○公園の利用制限が多い（禁止の遊びが多い）（自転車禁止、ボール禁止など）。(同様9件)

○公園の木が剪定されてしまったり、子どもたちに季節感を味あわせる機会まで、大人たち

が奪ってしまい悲しい気持ちになります。

- 大山田の方面には大きな公園があったりするけれど、自分たちが住んでいる近辺には、あまり遊具のある大きめの公園がないような気がします。
- 大型公園の整備をしてほしい。夏休み等の長期休暇中に利用できる学童を増やしてほしい。駅の西口に自転車置場を設置してほしい。高校生の通学に不便です。
- 城南地区は公園が少ない。閉園した城南幼稚園の遊具を自由に開放してもらえると、公園同様に利用できるのを助かります。(同様3件)
- 1つの公園で未就園児と小学生とが、分かれて遊ぶことのできる遊具、場所があって歩いて行ける距離にあるといいと思います。近所に同世代の親子がたくさんいますが、生活の違い等で、会って遊ばせたり、話したりする場所・時間もないのであまり関わり合いがないと感じます。
- 在良地区の公園が全体的に古い。予算もあると思うけど、もう少しきれいで、小さい子から小学生まで遊べる公園がほしい。小学生も遊べる児童館がほしい。
- 雨の日、雪の日、寒くなってきた時など、施設内で遊べるところが少ない(公園のような遊具やアスレチック、走り回れるスペース)。赤ちゃんには適していても、それ以上の子どもたちがのびのびと身体を動かせたり、学ぶ施設を多くしてほしい。(同様2件／5歳・6歳)
- 伝馬公園も狭くなり、子どもが遊べる公園が近くにありません。危険な道を通らなくても1人で行ける公園があってほしいです。(同様2件)
- 養老公園の「子どもの国」のような大きな外の遊び場と、室内で1～3歳頃までの子が安心して遊べるような場と、1歳からでも気を使わなくていいような図書館があるとうれしいと感じていました。
- 公立幼稚園に入園予定ですが、3歳児の過ごす場所があればなあと思います。子育て支援センターは乳児のお子さんも多く、身体の子と一緒に遊ばせるのは不安ですし、公園などに行くのもよいですが、雨の日や暑い日は室内で過ごしたいなと思います。隣の四日市市では公立幼稚園でも3歳児の日として毎週遊ぼう会を実施していますが、桑名市は毎週どころか月1で、もちろん3歳児の日などありません。(同様3件)
- 就学児が遊べるような児童館がなく、子育て支援センターは就園児が、土曜日にしか遊べないので、夏休み等の長期休暇中は特に不便に感じている。「ぽかぽか」は遠く、車でしか行けないし、就学児が使える部屋は、遊び道具が少なく不満に思っている。
- 古い公園は遊ぶ遊具が少ない。自転車の練習をする場が少ない。(同様2件)
- 休みの日に小学生の低学年の子どもと幼児と一緒に遊べる場所が少ないので困る。「にこにこ」は小学生が入れないのが辛い。
- 遊べる公園の整備と安全面(よく変質者が出るので)。小1の子が家周りの道路で遊んでい

ると、子育てを終えた方からの苦情がＳＮＳで流れました。しかし、堤防で自転車やスケボー、サッカーはできませんし、公園は高学年生が陣取ったり、変な大人が徘徊して、結局子どもたちはゲームをして家の中にこもっています。本末転倒な子育てに憤りを感じています。

- 公立の学校の場合、長期的な休み（夏休み等）に、支援センターに入れなかったのも、無料で遊べる場がほしい。夏休みの期間だけでいいので、B & Gを開けてほしい。期間限定でよいので、水泳スクールもあると嬉しいです。
- 星川公園を利用することが多いですが、たばこのポイ捨てが多く残念です。子どもが触ったら危ないです。
- 保育所が休みの時以外でも、お盆や年末年始等で、保育が縮小される時、支援センターで就園児も遊べるようにしてほしい。
- 休日に小学生や幼児が遊べる施設がほしいです。子どもはいろいろな体験や自由に遊べる場所に行き、親は図書館か休憩スペースで子どもを待っていることができれば、親のリフレッシュにもなるのと思います。
- 長島町の特に中部は子どもが遊べる施設、公園が乏しい。
- 不審者情報が送られてくると子どもたちを1人で外出させることができないので地域で見守る体制ができてほしいです。公園でボール遊びができない。遊具もあまりないという環境が多く、自由にいろいろな学年が遊べるチャンスがないのはもったいないと思う。ネットを張るなどの工夫をしてもう少し遊べる環境づくりをしてほしい。
- 公園に時計を早くつけて下さい。
- B&Gの水泳教室を再開してほしいです。進学費用の支援や相談を気軽にできる場がほしいです。
- 子どもが安心して安全に遊べる場所があるといい。ノーメディア、ノーゲームの取り組みはいいと思う。異年齢や色んな外遊びができる環境があれば。先生以外の大人と関わって色んな体験や遊びを通して視野や経験を広げてほしい。雨の日に遊べる場所があるといい。
- 大山田東小学校区に住んで居ます。筒尾第2公園のソフトボール場は家から近いのにも関わらず地域の住民が使用できないので変だと思います。走ったりする程度でもダメですか？看板があるので入りづらいので入っていません。
- 総合運動公園は広くて運動するのに良いと思われませんが、小さい子に対して不親切と思います。それと、夜とても暗く、他の子も自分の子も見ていて心配です。
- 公園をなくさないでほしい。学区内の公園は授業などできれいにゴミを片付けるなど奉仕作業があればと思います。
- 長島町には公園があまりなく子どもたちが安心して行き帰り遊びに行ける場所が少ないため、今後広場のようなところでも地区ごとにできればなとは思っています。

(2) 児童館等

○身近なところで自由に行ける児童館がほしい（増やしてほしい）。(同様19件)

＜同意見の理由＞

- ・小学校区ごとにあると便利で利用しやすい。
- ・閉鎖された幼稚園などの建物を児童館として利用してはどうか。
- ・ほかほかは低学年までは入れるし、大人は講座や体育館など利用できる。なぜ、高学年や中・高校生も自由に利用できないのか。地域に子ども（小学生）が多いので、児童館の役割を担っても良いのではと思う。
- ・駅付近にあるとよい。

○赤ちゃんが口に入れたおもちゃを入れるボックスがあると良い。以前住んでいたところの児童館になめたものを入れる箱があったので。

○桑名に来て、児童館が遠くて汚く、駐車場もなくビックリしました。

9 イベント・講座等

○講座・教室を充実させてほしい。(同様17件)

＜同意見の理由＞

- ・赤ちゃんも楽しめる講座を開催してほしいです。
- ・託児付きの講座がもっと増えるとうれしいです。
- ・父親を対象（気軽に参加できる）とした講座やイベントを増やしてほしい。
- ・子育て、教育に関する講座（予防医学、ナチュラルクリーニング、管理栄養等）を増やしてほしい。（講師は専門知識のある人、評判の良い人等）(同様3件)
- ・土・日曜日の開催のものを増やしてほしい。
- ・いじめの対策等について考える講習会等がもっとあればいいと思う。
- ・子どもの参加できる音楽会（クラシック、ジャズ）を開催し、広報をしてほしい。
- ・夏休み等に市が運営する教室をたくさんしてほしい（英語、工作、実験、水泳、スポーツ、料理、リトミック）。
- ・新しい手法での子育て、自分育てに関することや勉強できる機会があるといいなと思います。
- ・定期的に無添加の物の食事を提供する食堂、講座等をすれば良いなと思います。
- ・小児科へよく通われるお母さんたちに、簡単なお手当講座があるとよいと思います。鼻水、咳、便秘などスタート症状の対応、体力のある体づくりをお子さんにも教えてあげる、便秘体操などがあるとよいと思います。
- ・子育て講座の申込み方法について、電話で申し込めるようにしてほしい。

- ・参加したい活動が重なって行けないことが多い。特に、火曜日の午前中。
 - ・多くの保護者が余裕をもって子育てするためにはプレママ体験のような講座を高校生、大学生と若い世代から知れる環境があってもいいと感じます。
 - ・公民館などで子ども向けの講座がもっと増えたらよい
- 予約なしで気楽に参加できる行事などあれば参加してみたい。
- 市の講座、子育て支援センターの講座も託児所付きでなければ利用できない。
- 小中高校生等が小さい子と関わる機会を増やし、子どもに優しく接することを学んでほしいです。スマホ、ネット社会ですが、本や絵本離れにならないような活動をしてほしいです。親のマナーも気になります。
- 必要な知識を得る場を強制的に作って、義父母も共に学ぶ場を作った方がよいと思う。義父母との連携が取れず悩むことが多い。2歳はこんな感じ、3歳はこれができるようになるからなど、知っていたらもっと楽だったと感じる。ポイントは「強制参加」。
- あおぞら出前保育を増やしてほしいです。
- あおぞら保育を益世地区、市役所周辺でも開催してほしいです。
- 市の教室（離乳食等）の曜日が固定されていたため、仕事のシフトの関係で参加できなくて残念だった。以前、支援センターで「子どもにもっと寝てほしい。自分の時間がほしい。」と相談したところ、「もっと子どものしたいようにさせてあげたら。今だけだよ、育児させてもらえるのは」と言われ、苦しい気持ちになった。
- すすくだよりに載っている、子育て講座の対象が未就園児となっているため、保育園に通っている1歳になる息子は参加できません。月齢的には対象だと思うのに、なぜ保育園に通っていると駄目なのか理由が知りたいです。仕事をしている親も参加してリフレッシュや情報共有をしたいです。
- 育休中は、子どもと2人の生活からベビープログラムに参加して、一気に気が楽になったことを覚えています。やはり人との繋がりは大切だと感じました。支援センターも同様です。子育てという初めてのことだらけの不安な中、先生やそこに集まるママたちが、たくさん話を聞いてくれました。このような場や機会があって本当に良かったです。ありがとうございました。第2子でも利用したいです。続けてください。
- 不要になった子ども用品（ベビーカー、子ども服、おもちゃ、教材、ぬいぐるみ等）を、無料若しくは低価格で渡すことのできる場（フリーマーケットとはいかなくてもいいので）、企画が年に数回、定期的に行えるといいと思います。ごみの削減や低所得の方が助かることだと思います。ぬいぐるみ等は、金属探知機で安全を確保したもののみ、食物等は条件を付ける等、出品物に条件を付けると良いと思います。（同様2件）
- 輪中の郷で開催された子育て応援イベントが無料で参加できて、子どももとても楽しんでいました。

- うちの子はゆめはまちゃんが大好きです。ポスターや写真、コンビ二等に見かけるだけでテンションが上がっています。もっとゆめはまちゃんに会える機会が増えるといいなと思います。それだけでも私にとっては「子育て支援」です。
- 市内の未就学児、小中学生など希望者を募って活動や制作などができる企画をもう少し充実してほしいです。ロボット工作やパンづくりなど参加しましたが、有料でいいので楽しく触れ合える場を設けてほしいと思います。「ぽかぽか」に子どもの学べる講座がもう少し増えるといいと思います。
- マラソン大会など、桑名市のスポーツのイベントがほしいです。
- 国際交流活動を充実させてほしいです。手の届く金額で交換留学などの斡旋がない。市のイングリッシュキャンプは子どもが中2の時参加させましたが、小学生中心の活動で物足りなかったようです。
- 未就園児向けの子育て支援が少ないと感じます。いなべ市はプレゼントや簡単な食事つき運動会などのイベントがあるようです。その運営スタッフの一部は、ボランティアとして子育てが終わった世代の方々が参加されています。桑名もそういうイベントがたくさんあれば子育て中のママの繋がりもできやすいし、普段は交流のない世代の人とも触れ合えていいなと思います。
- 他の地域の小学生との交流ができるようなイベントや行事があるとよい。学校だけでは友人関係に行きづまると逃げ道がないので大人数の環境がほしい。

10 子育てサークル等の活動・仲間づくり

- ひとりで歩いていたら、しつこく子育てサークル系の勧誘の人に話しかけられ、とても不快でした。中には不要な人もいます。
- 子育てサークル等、参加したいと思っていても仕事で疲れ、休日に出て行く気力がないことが多い。
- 子育てサークルは、誰が運営していくのでしょうか。小学校でもPTAがありますが、結局、保護者運営で、役員になると仕事に支障をきたします。参加することに問題はありますが、運営する側の苦労は大変だと思います。そういう面で運営をサポートとしていただくと、参加者も増えるのではないのでしょうか。
- 子育てサークル等を利用したいですが、そこへ行く手段がないので、送迎をしてもらえたらいいなと思います。
- 子育てサークルの案内を見ても、地域別な感じがして、知り合いがいなくてどう入っていけばいいのか、抵抗がある。
- 「アズママ」の普及を促進してほしい。桑名は都心部以外の利用者が少ないです。

- 子どもと同じ年齢で同月に産まれた親に出会う機会が増えればいいと思う。同じ学年でも月が違つとすごく差があるので、成長が分かりにくく不安になりやすい。
- 子育てサークルは、主婦の人たちがやっているイメージで、働いている自分にとっては、知ることゝ継続して参加・活動することも、縁がないように感じる。
- 子育てのために、自らサークル活動をしていますゝ、気軽に、情報を配信したり、参加したい人が見られるようなコーナーを市のホームページにつくつていただけたらと思います。あと、市のホームページにイベント情報を載せてほしいです。イベントを後になつて知ることが多いので…。主催者側も気軽に情報共有できるようにしたいです。
- 前に住んでいた地区で、子育てサークルに下の子と参加していたが、私たちが参加する前から参加していた親子でグループ化してゐて、上手く馴染めず参加するのをやめてしまった。このような状況では、子育てサークルの意味はないと思った。支援センターは小学校就学前の子も遊べる場であつてほしい…。「さんさんルーム」と「レモンルーム」は、たくさん利用させていただいた。先生方も子どもの成長を一緒に見つめ、喜んでくださった。両方の両親が遠方にある、私にとっては本当に助かる事業だったと思う。

1 1 スポーツ等の活動への支援

- 子ども達にスポーツをやらせたいと思いますが、スポーツ少年団は補助金等も削られているようなので、その辺りを少し見直してほしいです。
- 子どもがバトミントンをやりたいがっていますが、桑名市には少年団がないようです。中学校にもクラブがないようなので、他町に行くにしても続けていくのは難しいと感じています。もっと多様にスポーツを楽しめる場があつたらと思います。
- 小学校（体育館）等で、習いごとができるとうりがないと思います。ゲームをするよりも、体を動かすことを多くしてほしいと思っていますので、スポーツ（ランニングクラブ等）教室等がいいです。
- 自然の中で活動する森のようちえんへ援助をお願いしたい。桑名には豊かな自然がたくさんあり、そこで活動する子を増やしていくことは桑名の財産になると思います。
- もっと小学校で放課後にスポーツできる環境が充実しているとよい。スポーツ選手や著名人などを呼んでプロの方と触れさせてあげたい。桑名土曜英語のような、学んで発表する場がもっと幅広くできると良い。
- もう少し気軽にスポーツ活動ができるシステムがあれば利用したい。今のスポーツ少年団は時代にあつていないと思います。
- 子どもが思い切り野球できる広場がなく、近くにあつたらいいなと思います。地域の時間のある方、スポーツの好きな方に放課後、野球を教えて頂けたらありがたいです。

- スポーツ活動支援が少なすぎると思います。頑張っている成績を収めても、市は何もしてくれないのかなと感じています。(同様2件)
- 中学校の部活費が削られていると聞きました。吹奏楽部の子どもたちが楽器のメンテナンスもできないと言っていました。貧困で悩んでいる子で、部活を諦めなくてはならなくなった知人の子どももいます。
- 子ども会活動への支援を増やしてほしい。
- 桑名市の財政難により放課後子どもクラブやわくわくサタデーなどの運営費カット、規模縮小など子どもたちのための良い活動が無くなっていくことを非常に残念に思っています。なくしていくのではなくどうやって残していくかを検討して頂きたいです。

1 2 放課後児童クラブ等

(1) 整備・拡充

- 放課後児童クラブを充実させてほしい(増やしてほしい)。(同様29件)
- ＜同意見の理由＞
- ・小学校区ごとに設置してほしい。
 - ・緊急時、週1回の利用など柔軟に利用できるようにしてほしい。
 - ・放課後児童クラブが充実していないとフルタイムで働けない。
- 放課後児童クラブを小学校と併設または小学校内で実施してほしい。(同様5件)
 - 名古屋市のトワイライトスクールのような放課後を小学校で過ごす体制をつくってほしい。(同様10件)
 - 地域に学童はない状態。旧市内の学校が単級であるため、デメリット面も考えてほしい。学童の面からも小学校区の見直しも考えてほしい。現在駅前にマンションが建設ラッシュで、将来分団の変更もあるとのこと。幼稚園の事業が中学校区となっているのを踏まえて、小学校へのスムーズなスタートができているのかと思う。実際現1年生は13の施設から集まっている。単級では学童経営が成り立たないのは理解できる。放課後子どもプランも自然消滅しているので、小1の壁と言われている状況。市としてももう少し色々な考えを吸い上げてほしい。また、子育てに関して、赤ちゃん、未就園児に手厚くして頂いてありがたかったが、その後の子育てにも手助けして頂けるとありがたいです。
 - 大山田西小学校区に学童保育施設を充実させてほしい。個人的な意見ですが、ホームページの子育ては見づらいです。
 - アパートには広報が届かないので地域の行事の日程が確認できません。多度の学童は一つでいいにしても、学校から学童まで送ってもらえるバスにコミュニティバスが利用できるかを考えてほしいです。

- 幼稚園児と小学生等、兄弟と一緒に長期休みに、預けられるところがあるといい。
- 学童を利用しない子どもの放課後の居場所が少ないと感じます。
- 精義小には近くに学童がなく、本当に困っています。
- 修徳地区は小学校の学童が整っていないくて利用しづらく感じる。

(2) 内容

- 預り時間をもっと長くしてほしい（8時までなど）。(同様2件)
- 放課後児童クラブは狭い環境で長期間過ごすことはよくないと思っている。のびのびと遊ぶところが必要だと思います。
- 学童の活動内容を充実させてほしい（同様2件）
- 共働きだと習い事をさせるのが難しいため、学童の施設内で習いごとができるとうい（英語や習字など）（同様2件）
- 在良地区に住んでいますが、学童が遠く、交通量の多い道沿いなので、子どもを通わせることに不安を感じています。定員に限りがあるのも気になります。
- 学童保育の途中月からの利用は厳しいと聞きました。仕事復帰する月を4月からに変更した人がいるそうです。子育てを大事にしたいと思っている方の貴重な数か月分の時間を奪うことになると思います。（同様2件）
- 小学校に入った時に放課後、学童保育があるのか、入るためにどうしたらよいか知りたいです。時間や金額も。自分で移動できるのか、迎え（小学校からの移動）が必要なのかも。1年後ですが、何も分からず不安です。
- 多度の学童施設は店舗の2階にあると聞き、外から見る感じ、少し狭い施設なのではないかと思っています。また、夏休みだけ利用したくて申し込んでも外れてしまい別の遠いところの施設に預けたと聞き、保護者の負担が重くのしかかる。
- 夏休みの学童保育はとても助かっています。仕事を長期間休まなくていいのと、子どももお友だちや学童の先生方と毎日楽しく遊んだり過ごしているので安心してます。留守番させなくていいのと、いろいろなことを教えてもらいありがたいです。
- 学童保育とは別に学校の近くに宿題ができて遊べる施設があればいいと思います。全員が頼らないように有料にすれば良いと思います。学校の敷地内にある学童保育ですが、子ども第一という考えはいいことだと思いますが、月1回休日のイベント、秋祭りなどは保護者の負担が大きいので止めた方が良くと思います。
- 川崎市の小学校は、敷地内に学童の建屋があり、当日連絡で、1日の使用料で気軽に利用でき、とても助かりました。桑名に来てからは、急な用事でも、そういった場所がないので、川崎市の方が充実していると思いました。
- 支援員の先生方の人手が足りないため、子どもたちへの目が行き届かなくなってしまう。

(3) 運営

○保護者運営の放課後児童クラブでは、保護者の負担が大きい。(同様21件)

＜同意見の理由＞

- ・学童によっては父母運営とそうでないものがあり、保護者の負担が全く異なるのはなぜか。
- ・父母参加の行事は多すぎる。
- ・市として公的に補助をして頂けるとありがたいと思います。
- ・負担が大きすぎて辞めたことがあります。あれでは本当に子育てに援助が必要な方が（片親、病気など）使用できない。
- ・主体的に運営に関われることは利点ですが、仕事をしている親に負担がかかっています。市民主体の運営の仕方は何とかならないでしょうか？お金だけ出されても…と思います。
- ・父母運営は働く親にとっては重労働です。未就学児の方が働きやすく、小学校の壁があまり理解されておらず、市の働きかけも少ないと思います。塾が経営する学童を選べたり、習いごとを制限されることなく、学童に通わせられたらと思います。
- ・保護者の負担が大きく子どもを学童保育に気軽に預けることができません。

○学童保育所の運営は、保護者ではなく社会福祉法人などに民間委託へ移行して欲しい。(同様9件)

(4) 費用

○学童保育の利用料が高い、安くしてほしい。(同様16件)

○子どもを預けたいと思っても、正社員で働いていないと学童など値段が高くてなかなか預けられない。他の人が自分の子どもを毎日面倒見てくれるのもありがたいですが、不安が大きくてなかなか正社員になろうと思えない。

○シングルマザーへの学童保育所利用料は免除してほしい。

○少しの時間しか預けないのに、長時間預ける人と同じ金額なのが納得できない。

(5) 休日・長期休暇の利用

○長島町に土曜日だけ預かってくれる児童クラブがあると嬉しいです。

○夏休み、冬休みなど長期休みの時だけ預かって頂く児童クラブを充実させて欲しい。(同様5件)

○学童保育、もしくは放課後に子どもたちの過ごす場所に力をいれてほしい。最近是不審者情報もあり子どもだけで留守番させるのも怖い。学年が上がるにつれて授業も6限まであり、学童に入れなくてもと悩むが、長期休みを考えると継続になってしまう。もっと子どもたちが自由にのびのびと過ごす場所、選択肢が増えるといいと思う。

○市でされている夏休みの学童保育があるが、希望すれば必ず入れるようにしてほしい。

(6) その他

- 普段、学童に通っていない子どもでも利用できる短期の学童を作ってほしい。
- 子どもを安心して預けられる学童保育所があって本当に助かっています。また緊急時に面倒を見てくれる祖父母の助けがなければ仕事は続けられない状況です。
- 学童クラブに対する支援が足りていない。PTAの改革が桑名市では進んでいない。
- 放課後児童クラブに問題があると思い、私立の小学校に入学させました。私立の小学校にはアフタースクールがあり、18時まで学校で預かってくれます。月7,000円(16~18時)、プリント学習等行ってくれています。長期休業の際は、ドリームステーションを利用しています。本気で市が子育て支援に取り組むのならば、放課後児童クラブの充実が必要です。就学前に離職せざるを得ない母親は多いです。

(7) 放課後子ども教室

- 放課後子ども教室があるといいなと思いました。家へ帰ると運動したりできない子や友達ができにくい子、親が仕事で帰っても1人の子もいると思うので、そういう教室がどの小学校にも取り入れてくれると安心します。(同様2件)
- 放課後子ども教室を増やしてほしい。
- 放課後子ども教室の高学年向けのものがあれば良いなと思います。
- 星見ヶ丘小で実施されているような放課後子ども教室を他の地域にも広げて頂きたいです。学童保育はお金もかかるし、3年生以上になると行きたがらない子が増えてくるようです。中高学年の子どもの居場所づくりを進めて頂けると嬉しいです。

1 3 相談・情報提供

(1) 相談

- 学校や支援についてくださる方によって、対応に大きな差がある。悲しく、辛い思いを何度もしました。保育・教育をしてくださる方、支援を必要とする子どもと親が共に知識を得ることができる機会や、機関があれば良いと思います。
- 相談をしに行くと聞いてはくれるが、別の窓口を案内されたり、様子を見てまた相談に来てくださいと言われ解決に至らない。
- 子どもの育ちについて公の機関に相談してろくなことがなかった。学校とかの考え方もやり方も全然おかしいし。中途半端にADHDとかの知識のある人はかえって害です。
- 長島にいた保健師さんがいなくなり、気軽に子育ての相談できなくなった。
- 保育園のことで役所の人に相談したら「0歳児の保育園はいっぱいだから仕事辞めたら」って言われ、それ以降相談する気にもなりません。

- 保健センターへ何度か電話相談したことがあるが、話を聞いてくれる姿勢でないことが多く残念でした。
- 発達のことで心配なことを、聞きたくて保健センターに問い合わせ、話はしっかり聞いていただけたのですが、心理士さんと直接話せる窓口がある等、もっと専門的な対応を気軽に受けられる場所があるとありがたいです。5か月待たないと検査はできないとのことでした。検査でなくても、電話相談で臨床心理士さんに聞くことができれば、不安解消もしやすいと思います。
- 子育てに関する悩みを中央保健センターに相談しても、あまり相手にしてくれません。相談員による対応の差も大きく、他の相談サービスを紹介されるだけで、たらい回しという印象でした。2度と相談したくないと思いました。
- 発達の遅れている子どもに対しての親への働きかけが消極的かと思います。子育て相談が半年待ちだったりもするので、もう少し早く相談できればいいなと思います。発達が遅いのかな？と思ってから相談待ちの間、半年ほどとてもつらい気持ちでした。
- 母同士がつながる場所（悩みを相談しあえるようなところ）があまりない。
- 長男の妻が外国籍なので、日本語が少ししかわかりません。外国語で相談をするところがありますか？
- 子育ての相談をする際（育児相談等で）、親だけが会話し、子どもは別の人に見てもらえる環境を作ってもらえると嬉しい。
- 子育て支援に限らずですが、市民生活を保障する意味で、各窓口や機関は各地域に確保されている必要があると思います。
- 定期的に子育て中の家庭を訪問し、保護者の悩み等を聞く制度（活動）があると良いと思います。小さい子どもがいると家から出るのも大変だし、外部機関に相談することに対して、抵抗がある方もいるのではないのでしょうか。受け身の体勢で相談者を待つのではなく、もう少し積極的に子育て家庭にアプローチした方が良いと思います。
- 電話で24時間、いつでも相談できることがあれば良い。
- 子育て相談の窓口がわかりにくい。いろんな機関があるので。相談窓口の敷居が高い。相談しにくい。相談しても的確なアドバイスではなく相談した意味がなかった。発達が少し心配な子に対しての訓練施設が無く、専門的な分野の先生、施設が少なすぎる。
- 中高生の発達に関する相談窓口を、市役所などの人目にあまりつきにくいところに設けて頂けるとありがたいです。
- 以前、息子のことでIQテストのようなものや相談に1年に1回予約をとって行きました。そこで相談員が、不安にさせることやこのままでは療育手帳を取ってもらわないとだめだとかいろいろ言われました。あのような職員がされる相談なら受けたくないとの次の予約をキャンセルさせて頂いたということがあります。知識だけを持ち、それを押し付けるよう

な相談員はその仕事に向いていないと思います。

- 育児に不安があったり悩んでいる時など、保健センターの方などに親切にしてもらったり本当に助けられたと思います。気軽に相談できる場所が必要だと思います。
- 双子の3歳児検診後、視力検査を落ち着いてできなかったあと、市内の医療機関での受診で傷つきました。「3歳にもなって検査ができないのは親のせい。検査できないってことはおかしい」と言われました。少々発達遅れもあるかもと言われたのでその先生に伝えたとこ、黙り込むだけで謝罪もなく診察も終了し、母子手帳に異常なしで終わってしまいました。お医者さんの心無い一言でどんなところに相談など行けばいいのかと思う時期もありました。相談窓口とありますが、何を言われるかまた否定的なことを言われたらなど思い、すぐに行くことはできないと思います。
- 保育園に通っている頃から市の発達相談にはよくお世話になりました。予約の取りづらさから小学生になってから行かなくなりましたが、とても親身に話を聞いてもらったりアドバイスを頂けたりしたのでとても感謝しています。
- 学校でのトラブルに対応できる、親も子も相談できる窓口がほしい。(同様2件)
- 来年10歳差で第2子が生まれる予定なのですが、年の差育児が不安です。こういった相談をできる場所があれば嬉しいです。
- 桑名に不登校の子が通える児童精神科をもっと増やしてほしいと思いました。不登校にはいろいろと理由があって学校に行けない子もいます。経験談なども聞ける場があるとお母さんたちの不安も軽減させることもできると思います。
- 教育研究所を去年初めて知りました。もっと多くの人に知ってもらって利用してもらってほしいと思います。予約がすぐにできないので、改善してほしいです。

(2) 情報提供

- 子育て情報の提供の仕方を見直してほしい。(同様29件)

<同意見の理由>

- ・子育て情報を郵送で送ってほしい。情報交換の場に行くことさえ、負担と感じてしまう。
- ・他県から来た人には情報が少なすぎるように思います。
- ・子育て支援についてほとんど知らないの、もっとアピールされるといいと思います。
- ・利用できる施設や子育て支援は多いのに、利用方法や料金が分からない。どんな方法で、どこでアクションを起こせばいいのか、もっと分かりやすく教えてほしい。
- ・子どもにチラシを持たせたり、スーパーや大型ショッピングセンターなど、立ち寄りやすい場所で、情報提供をしてほしい。
- ・まずは情報を得るためにどこを見れば良いのか知らせてほしい。
- ・「すくすくだより」を広報と一緒に配布してほしい

- ・子育て中の母や子どもが参加できる平日のイベント情報を地域情報誌にまとめてほしい。
- ・市で講師を募って乳幼児が定期的に参加できる講座の情報を一覧にしてほしい。
- ・施設や学びの場について、パンフレットや学校を通じての案内をしてほしい。

○ホームページを充実させてほしい（同様23件）

<同意見の理由>

- ・各事業の利用方法を詳しく掲載してほしい。
- ・各学童保育所のホームページを作成して利用方法や活動実態をオープンにしてほしい。
- ・子育てサークルのページで、参加方法や参加できる条件できるのかがわからない。
- ・何か情報を得ようと閲覧していますが、あまり目新しさを感じないため。
- ・市のホームページが見つらく、必要な情報を探すのに時間がかかる。
- ・リンクが見えないことがあり、不備は早急に改善してほしい。
- ・市のホームページの他に、各事業に特化したサイトがあるといいと思う。

○事業の申込みを取りまとめるコンシェルジュ的な方がいてくれたらいいのと思う。

○夜間に行ける病院の情報が少なく、とても混乱しました。

○支援を受けようと思うと自分で調べたり、情報収集しなくてはならない。子育て世帯ということは市では把握しているはずなので、市からの情報提供があってよいと思う。「こういう場所があります。行ってみてね」だけでは友人もいない、頼る人もいない人（別地域からの移住の母）にとってはなかなか行く気になれないです。

○上の子が私立小学校に通っていて、地域の不審者情報が入手できません。広報や回覧板にも情報を記載していただけるとありがたいです。

○0歳の子どもが発熱した時に、どこの病院へ連れて行けばいいのか三重県情報センターなどに問い合わせたところ、聞きたいことを聞くことができませんでした。救急車を呼ぶまでもない場合（平日夜間）、どのようにしたらいいのかなど情報を提供してほしい。

○仕事が忙しいと子育てに関する情報の収集が難しいため、電話以外の調べ方が分からないため、どうしたらいいのか分からない。（同様2件）

○すすく教室が6月から無くなったことを知らなくて、個別通知が来ないけどなぜなのか？と疑問だった。もう少し、情報提供について迅速に対応してほしい。

○マチカゴアプリにて保育園・幼稚園・イベント等の情報をアップして、「詳しくは問い合わせ」ではなく、いつでも見られるページで更新してほしい。（同様3件）

○「講座」「相談」「場の提供」など部門別に情報をまとめてもらうとわかりやすい。

○メールマガジンはありがたいです。講座等、参加してみたいものもあります。

○園庭開放や子育てサロン等に行きたいが、どのような雰囲気分からないので、実際に行ってみた方たちの声（良いことも悪いことも）が、たくさん聞ける場があれば良いと思う（子育て情報誌に載せたり、ホームページで見ることができるとありがたい。）。ママ友

がない人専用のサロンや講座の開催があれば教えてください。

○自分から積極的に情報を集めれば支援を受けやすいように思える。

○広報くわなのビジュアルをもう少し子育て世代が食いつくようなものに変更してもらうことができればいいと思います。

1 4 いじめ・人間関係

○人権について学ぶ機会ばかりあるが、子どものいじめがなぜよくないか学ぶ機会はあまりない。

○子どもの教育環境を充実して頂きたい。いじめられる子どもが我慢しなくてはいけないような環境（先生たちが黙認したりいじめている子どもを注意できない等）にあるのはどうかと思う。そういう際の対処法を速やかに行えるシステムづくりをして頂きたいです。いじめなどに気を配ってほしい。（同様2件）

○今は保護者同士の関わりが少なく、仕事をしている親も多いのでどの子と仲良しなのか？親同士も知らない人がほとんどなので全部一人で背負っている人が多い。遊びに行く家が少ないと思う。

○刈谷市が小中学生の21時以降のスマホを禁止しているようですが、桑名市もそのような取り組みを行ってほしい。中学校のいじめ問題の多くが解決するのではないかと思います。

1 5 経済的支援

(1) 医療費助成

○医療費の窓口負担をなくしてほしい。（同様125件）

○子ども医療費助成の対象を拡大してほしい（中学校・高校卒業まで）にしてほしい。（同様45件）

○子ども医療費助成の所得制限をなくしてほしい。（同様16件）

○子ども医療費助成はとても助かる。（同様3件）

○医療費が一定の年収未満の家庭に全額補助ですが、一律500円などの負担にしてもよさそうな気はする。医療費がかからないため病院にかかる人もいるのではないかと。

○医療費について、多胎児への優遇など考えて頂きたい。

○医療費の補助は、小学生以上は年に12回までにするなど制限をつけるのはどうか。

○3人の子供がいると中学生の通院費無料と言っていますが、18歳未満と限定するのはなぜ。上と下の歳が離れていると意味がありません。

(2) 児童手当等

- 児童手当の支払いがきちんとされているか不安に感じることがあり、説明された期日に児童手当が支払われているかきちんと確認したい。
- 支援センターやサークルの充実より、子ども手当、出産祝い金等、子どもを増やしても、経済的にヘルプしてもらえる制度の充実をお願いしたい。
- 子ども手当の振込口座を母親でもOKにしてほしい。なぜ、父親のみなのか理解できない。

(3) 保育料等の助成

- 幼稚園の補助はあるが、なぜ小3というしほりがあるのでしょうか。子どもの数で補助してほしいです。年の差のある3人の子どもは該当しないのは不公平です。(同様10件)
- 幼稚園児(第二子)の補助金を出すのであれば、全ての子どもに医療費を補助してほしい。または、第一子が小4以上になると、第二子の園児補助が出ないが、医療費補助が受給されていない世帯には、補助対象としてほしい。
- 小学校に上がるまでしか、2人目の保育料が半額にならないので、小学校に上がっても、年齢に関係なく人数で考えて保育料を安くしてほしい。(同様2件)
- 保育料の2人目半額、3人目無料等は、兄弟で保育期間が被っていなくても人数で適用してほしい。「仕事と子育て」を一つにしてこそ、「子どもを3人育てられるまち」ではないのか。保育料を年少から無料にするくらいなら、保育施設の充実に使ってほしい。
- 第1子・2子を考える際の年齢制限(小学校3年生まで)を撤廃してほしい。子どもが大きくなるほど、負担も大きくなるのに、年齢で切らないでほしい。
- 保育料が年々上がり、経済的に厳しいと感じることがあります。世帯年収(低所得者)に対して高いと思います。給料は上がらないのに何もかも値上げ、増税で。環境的な支援だけではなく、経済的な支援がないと安心して子どもが産めません。少子化は止められないと思います(出産費用の無償化。インフルエンザの予防接種無償。(補助)。3人目出産祝い金。小学生の医療費軽減。)

(4) 予防接種等の助成

- インフルエンザ予防接種の費用補助をしてほしい。(同様9件)
- 予防接種(ロタ・インフルエンザなど)や不妊治療に対する必要な費用の補助をもっと充実させてほしい。(同様4件)
- 予防接種の補助は、条件に該当せず残念でした。贅沢しているわけではありません。子どもには健康でいてほしいです。お金が必要だから、もっと働かなければなりません。というサイクルに悩む日もあります。

(5) 所得制限

○収入に関係なく、各種補助を受けられるようにしてほしい。(同様21件)

- ・収入によって補助が受けられないと悲しいというか疎外感がある。税金払っているのになあと思ってしまう。少しは「地域全体で子育てを支援していますよ」っていうことに実感を持たせてほしい。
- ・収入に応じての対応が納得いかない。保育料が高すぎる(シングル等との差がありすぎ)。医療費の負担が全くないのもおかしい。一生懸命働いて収入を得たものが損をする。
- ・所得制限基準ぎりぎりですぐ除外されてしまう家庭は、生活の余裕が変わってしまいます。
- ・子どもの医療費助成の収入額は夫婦合算にすべき。
- ・所得制限が世帯収入でないことに不公平感を感じている。

○一定の年収で手当の有無を決められるのは辛いので、公平に、段階的な基準に見直してほしい。

(6) くわなスクスクカード

○すくすくカードのサービスを受けたことがない、使い方がわからない(協賛店を知らない)。(同様5件)

○すくすくカードは出生届提出時や母子手帳交付時に一緒に渡した方が浸透すると思う。手続きしないともらえないのは不便である。(同様2件)

○携帯の画面を出すシステムより、カードの方が使いやすいと思う。(同様2件)

○すくすくカードがなくても保険証があればサービスが受けられるといい。保険証だと問題も出てくると思うので、申請しなくても子育て世帯に配ってほしい。

○すくすくカードの使えるところを増やしてほしい。また使えるところをもっとアピールしてほしい。(同様3件)

○すくすくカードの申請書類を10月頃提出し、連絡がくるとのことでしたが、結局、連絡がなくカードも届かず、利用できていないので、どうしたら良いのかと思っています。

(7) その他

○経済的援助が充実していれば将来への不安が少なくなり、安心して子どもを産める。(同様4件)

○不妊治療への補助を拡大してほしい。世帯収入400万円とか設定金額が低すぎて全然使えない。収入制限なし、1人1回まで等の対応をして、もっと優しい町になってほしい。

○金銭的な補助を拡大してほしい(病院代、ミルク、おむつ代、出生補助、給食費など)。(同様4件)

○子育てに対する市の給付金の限度を上げてほしい。学校の人数の調整。ムラがありすぎでは? 本当に子育てのことを考えたら、もっと、お金をかけるべきだと思う。

- 私立中高生への学費援助を拡大してほしい。県外へ通う市立高校生に県や市の助成金が出ないことが不満です。名古屋市内は国、県、市の3つから助成金が出ているのに三重県から名古屋市へ通う高校生には国の分しかないのはおかしい。
- 多子世帯の高校無償化を早急にしてほしい。
- 子どもにはお金がかかります。産んだ方が損じゃなく産んだ方が得になるような未来がないと子どもは増えないと思います。子どもにはお金の心配なくのびのび生活してほしい。子どもの友だちでご飯を食べていない子がいます。格差がなくなるように。
- 3人目以降への支援、金銭的援助をもっと増やしてほしい。(同様5件)

1 6 医療

(1) 医療体制

- 小児科医療の充実してほしい（小児科を増やしてほしい）。(同様7件)
- ＜同意見の理由＞
 - ・特定の小児科に患者が集中し、予約をしても2時間かかることも。体調の悪い子どもが待つのは大変。
 - ・小児科が少なく、木曜・日曜休診だと大変困ります。四日市や弥富まで足を運ぶこともある。
- 充実度が地域によって違うと感じる。子育て＝医療の充実は不可欠。医療センターの統合により質が悪くなっている。他市へ行くことなく、桑名内でしっかりしてほしい。支援とは少し離れるが、駅から橋を架けて病院へつなごうとしている計画があるが、他にもムダなものはある。子育て、医療、下水道など行わなければいけないことを優先すべき。
- 桑名総合医療センターで小児救急をやってほしいです。新しく作ったのに機能していなくて問題に思えます。(同様2件)
- 桑名市というより、三重県は子育てがしにくい。救急に対応していない病院（小児科）が多すぎて困る。東医療救急ですら、電話したところで外科の先生しか診てくれないので、不安で行けない。市の方から改善してほしい。。
- 他県に比べて病院が少ない、医療機関を充実させてほしい。(同様3件)

(2) 救急医療

- 救急医療の受け入れ体制を整えてほしい。緊急時（夜間・休日）に受け入れてくれる病院が市内にほしい。(同様55件)
- ＜同意見の理由＞
 - ・緊急時に市外の病院（弥富市の海南病院）へ行く（案内される）ことが多い。

- ・緊急で医療案内に電話しても、たらい回しになり、時間がかかるって困る。
- ・『平日の夜』に、診てくれる小児科があれば助かります。
- ・総合医療センターができて24時間子どもの緊急対応をしてもらえないのがすごく残念でなりません。子どもを一番に考えて頂ける桑名市であってほしいと思います。
- ・年末、市内の病院はどこも診察拒否され、市で一番大きい病院は電話で個人情報を知られ、全て答え長い保留の後受け入れ拒否でした。市の医療機関には絶望しています。
- 応急診療所の時間を長くしてほしい。
- 応急診療所では軽度のものしか診療してもらえない。
- 以前、休日に子どもの体調が悪くなり、救急診療に電話したが、最終的に、海南病院か県立医療センターが診察可能とのことで、県立医療センターを受診した。診察してもらったまで、体調が変化してから1時間を要し、非常に不安だった。市内で診察できるように、ぜひ市がリードして体制を整えてもらいたい。
- 総合医療センターの初診時選定療養費が高すぎる。
- 夜間、土日等の医療が救急しかないことで1日分の薬しかもらえず、翌日も通院等のため、誰か（親、祖父母）が一日を空ける必要が出てしまうこと。
- ＃8000はつながりにくい。（同様2件）
- 救急車は利用したことはありませんが、痙攣等が起こった場合、待機でいいのか、救急車を呼ぶべきか、素人では判断が付きません。＃8000は、とても丁寧に対応していただけるので、すぐに繋がるとありがたいと思います。
- 子どもの急な病気等に対して、市役所や支援センターの対応が非常に冷たく、頼りになりません。改善してください。
- 総合医療センターができて、もっと行きやすくなるのかと思ったら、前の制度と変わりません。あんな無駄なもののために税金が使われたのかと思うと、桑名は住みにくい町になりかねません。市民が利用できない病院とは何ですか！と言いたいです。
- 県の相談ダイヤルに電話したら「専門家ではないのでお答えできません」と言われました。医療の充実も課題があると感じました。
- 個人病院はありますが、大きな病院が少ないです。
- 土日でも稼働している相談窓口を増やしてほしい。サンファールのような手続き窓口ではなく、医療ダイヤルがなかなかつながらず、やっと相談できて自分で病院に問い合わせをして、結果たらい回しにされる。ちゃんと機能している気がしない。

1 7 まちづくり・交通

- 主に子育てをしている母親のストレス発散の場を設けてほしい（託児付きで）。子どもの預け先がない人のことも考えてほしい。子連れOKの場が増えるといいなと思う。
- 長島町から桑名市へ一号线を使って移動しますが、渋滞が多く、何とかしてほしいです。18時までの耳鼻科や皮膚科に間に合いません。
- 道路の危険な箇所を修繕してほしい（蓋のない側溝、剥げている横断歩道等）（同様3件）
- 子どもの通学時の安全を確保してほしい。
 - ・通学路の道端（歩道）が狭い。規制があっても朝の時間渋滞しかない。
 - ・信号機のない道路が通学路になっていたりする。学校単位で道路の安全確認や、わかっている交通事情の情報を共有して考えてほしい。
 - ・保護者も仕事をしていると、旗当番等の参加もしづらいが、社会からの理解や地域の協力があれば、不安を解消できるのでは。PTAの活動も育児だけでなく、介護や通院等の理由を理解し合えば、助け合えるのと思います。
 - ・近年、住宅団地も拡大され、桑名駅西口が近いので、ラッシュ時は、かなりの交通量です。にも関わらず、信号もなく、旗当番の方も配置されていません。小学校は基本、分団登校ですが、下校時等、低学年の子どもだけで、横断するのはかなり危険です。私は、毎日、危険場所まで迎えに行っていますが、下の子も連れてなので負担です。事故が起こってからでは遅いです。
- 交通違反（危険な運転）の取り締まりを強化してほしい。（同様2件）
- 取り締まりを強化するのではなく、違反者を生まない仕組みをつくってほしい。
- 公園の雑草や水辺の手入れ、公衆トイレの掃除、多種の公園遊具を充実させてほしい。（同様2件）
- メディアライヴの駐車場が狭いです。本当に必要な子育て中の母親などが車を止めることができず困りました。（同様2件）
- 車で子どもの送り迎えをしたり、学校へ面談に行かなくてはならないのに、車では行くことができなかったりと、保護者には不便なところが多いと感じます。有料という形でいいので、車を置く場所が増えるといいと思います。
- 子どもを遊ばせて、親がコーヒーを飲めるようなキッズスペースがあるカフェや飲食店が少なく感じる。
- ぽかぽか周辺には、バス停がないので不便。バス停になりそうなスペースはあるのに、陽だまりの丘に引っ越して来て、9年、バスが通らない。通学、通勤にとっても不便。東小学校もマンモス化。ほんとうに、ぽかぽかは必要だったのか。ぽかぽかのところに小学校ができると聞いていたのに、話が違ふし、桑名市は子育てしにくいところだと思う。

- 地域開発は、新しいところをつくるのではなく、古いところを再開発する。
- 公園に行くにも遠いので、車移動のため、駐車場がほしい。動物の糞等、汚いところもある。子どもが触ってしまうので、ゴミや草等きれいにしてほしい。
- 子どもの集団健診や駅周辺施設での子育てに関するイベント等、車が運転できることが前提のような場所・時間設定が不満です。陽だまりの丘から桑名駅までのバスの便を増やすとか、コミュニティバスのルート、本数を再考するとか、車利用者以外の移動にも配慮が必要だと思います。病院が移転したなら、ルートを病院まで延ばすべきです。駅まで30分、往復720円の負担は、時間的・家計的にも苦しいです。とても不便です。妊婦健診、出産を市民病院でしたのですが、子育て支援、3人産める町づくりという点から、取り残されているように感じました。
- 最寄りの小児科が大病院しかないので、毎回3,000円かかる。クリニックに行くには車がないので、タクシーを利用する。そういった理由で、子どもが病気になっても病院に行くのをためらってしまう。車がないとどうしても住みにくいと感じてしまう。
- 車がないと生活しづらい部分もあり、将来的に、通学、通勤で子どもたちの交通手段については、少し心配する面もあります。
- 授乳室やオムツ替えの部屋の増加、または、新しくなると嬉しいです。
- 市民プールをもっと充実してほしい。中央の噴水プールが壊れていて遊べない場所があるのに料金はそのまま。50mプールは何のためにあるのか。大人と学生さん4、5人しか遊んでいない。飛び込みを禁止にしてほしい。小学生が多いのに25mと流水とベビー用しかない。例えば、水深を浅くして、遊び用と泳ぐ用にコースで分けたらいいと思う。シャワーの水が冷たすぎる。駐車料金は、プール使用の人は返金してほしい。夏休みたくさん行きたいので、桑名市民は無料にするとか、市民の利点がほしい。
- 車の免許がない母親に優しくありません。バスを早朝に走らせてほしいと思います。雨の日には自転車に子どもを乗せて、保育園まで1時間。バスを増やす努力をお願いします。
- 長島町の幼稚園が閉園になっています。建物も使用されないと、傷むし、せつかくの園庭が勿体ないです。ぜひ、児童センターや地域のサークル場所等、施設の提供・管理をお願いします。
- 防犯カメラを増やして下さい。不審者の数を減らすにはそれしかありません。
- 駅前の保育所にお世話になっていますが、途中から耐震の問題で遊戯室が使えなくなり、約3年そのままになっています。保育士さんや子どもたちが不憫でなりません。園舎においても心配があります。大地震が起きたら、保育士さんだけでは対応しきれないと思います。それから、門扉の問題です。子どもでも開けられる低い門と鍵が付いているだけです。もし、不審者が来た場合のことを考えると不安になります。
- 子どもの安全のために、犯罪抑止となる活動、整備を望みます。

- 図書館の返却ボックスを大山田近辺に設置していただきたい。返却のためだけに中央図書館まで行く時間がないので、期限までに返却できないことが多いです。
- 家の近くに暖炉が多く、臭いが気になります。洗濯物に移るくらいです。子どもにも影響がないか、心配になります。朝だけでも暖炉を禁止するとか、対策をお願いします。
- 広々と野球やスポーツができる場所が少ない。また信号が必要だと思える場所がたくさんあるように思います。
- プールをなおして毎年していたスイミングスクールをまた開催してほしい。
- 町の中心に街灯があり明るくなっているけれど町のはずれになると暗い。冬は早く陽が暮れるので街灯などがあると安心する。
- 図書館を充実させてほしい。(同様2件)
- 多度文学館、活用しているので、なくさないでください。
- 都市圏まで近いので、そちらに足を運ばばいいのですが、桑名市の教育施設がさびしいです。博物館、科学館等、充実すると嬉しいです。メディアライヴの図書館は小規模ですが、内容の見せ方が素晴らしいです。司書さんに感謝です。

1 8 仕事と生活の調和

- 共働きではあるが、家事、育児の負担は母親が多くなると思う。男性だけでなく、親世代の女性にもそういう認識が強いと思う。
- 市内の企業への、育児中の男性への定時退社を当たり前にするような働きかけをしてほしいです。(同様2件)
- 働きたいが、希望の時間帯(9時~14時くらい)の仕事がなかなか見つからない。前職への復帰も考えたが、保育園のやっている時間にお迎えが間に合わない。
- 忙しく働くお母さんが増えている中で、子どもの身体もそうだが、心の成長、人としての成長のために大切なこと、親がしてやれることをしっかりと考えられる時間、子に向き合う時間を、園、学校からも提供していただけると良いかと思います。
- 女性が働くのであれば、男性の働き方も変わらなければ、女性への負担が大きい。男性の労働時間ももっと短くても十分に生活していけること。育児休業、夫婦で子育て、家事をしていかないと良い教育につながらない。女性が働くことで、子育てが全く他人任せになってしまうのは危険。子どもと向き合える時間は十分に取りべきと思う。また、預けっぱなしの幼稚園だけでなく、幼稚園で教えてもらったことを家庭で反芻する機会や時間も必要だと思う。習いごとで、週1~6日、フレキシブルに通う日数を選べる幼稚園がもっとあってもよいと思う。認可外も無償化の対象にしてほしいです。"
- 行政にばかり求めるのは限界を感じます。職場、企業、会社が柔軟な働き方(週3~4日

の勤務や短時間勤務等)を、積極的に取り入れて行く必要があると思います。また、子どものいる世帯、いない世帯に関わらず、よその子ども地域の子として、皆で子育てしていく風潮・雰囲気があると嬉しいです。

- 働きたいが、子どもに負担をかけてまで働きたくない！病気の時まで他人に預けて働きたくない。でもお金は必要と葛藤する親に対して、働きやすい職場等を紹介してほしい。
- 就労していない親でも、通常の保育施設に入れるようにしてほしい。気軽に子どもと距離をおけることで、虐待を防げると思う。短時間保育を利用しているが、もっと、簡単に土・日曜日保育を利用できるようにしてほしい。企業にも、子育てを積極的に応援するよう教育してほしい。子のいる従業員としない従業員の間に溝が生じていると思う。
- 小さい子がいる家はなかなか仕事できません。夏休み等学校の休み、時間帯の相談や、急な休みにも対応してくれる職場づくりを望みます。(同様2件)
- 誰もが産休を取れる環境を整えてください。取らせなかった会社に対しては、厳罰を科してほしいです。子どもを育てやすい環境をつくってほしいです。
- 子育て支援に力を入れているのは、分かるが、子育てをしている親に対しての取り組み(職場環境)を整えてほしい。年休取得も取れと言われても、人員不足で取れない。子どもの病気以外で休むことに引け目を感じてしまい、自身のやりたいことができず、結局子どもにぶつけてしまう。
- 通学に、非常に交通量が多く危険な道路があるため、毎日、少人数で交替の旗当番があります。朝8時頃、毎週、旗当番があると、常勤で働くのは難しく困っています。市からのサポートや、ファミサポ、シルバー人材派遣等で、助けていただくことは可能でしょうか。子どもの安全と就労との間で、皆、困っています。
- 病児保育を利用したいが、仕事を休まざるを得ないので、利用できない。仕事場が、県内の近い人ばかりではないので、遠方通勤者への配慮も検討してほしい。
- 子どもの病気の時くらい家でゆっくり寝かせてあげたいと考えるので、病児・病後児を利用せずにいます。女性の社会進出はどんどん促されていきますが、「病気の時くらい、側に付いていてあげたい」と思う母親の心が置き去りかと…。病児・病後児の充実ではなく、子どもの健やかな精神の育成のためという視点からも、子育て支援を考えていただけたらと思います。
- 女性も働く時代。長時間安心して子どもを預けられるようお願いしたい。他県のように、学校内で預かってくれると安心。
- ハローワークに子どもと行けるようになってほしいです。
- 子育ての中心はまだ母親でかかる負担も多いです。男性に子育て参加の意識を高めてもらうためにも、今後も市としてどんどん取り組んでいてもらいたいです。

1 9 地域ぐるみの子育て支援

- 子どもを地域で、社会全体で育てるという意識を持ってほしい。小児科医や保育士、病児保育や公共のシッターなどを充実させること。従事する方たちの待遇を良くすることで働きやすくなり地域に定着すると思う。子育てする者に直接届く支援と子どもに関わる仕事をする人たちが働きやすい環境作り、両方のバランスが取れた支援をお願いします。
- 子ども達が安全でいられるよう、地域で高齢の方（就職にもなるようにする）に見てもらう。高齢者の健康キープ、就職にもなり、治安も良くなると思う。
- 地域で気軽に集まれる場所が必要だと思います。子育ても年配の方でも言えることだと思いますが、サークルに出かけてくる人は恵まれています。来ない人は来ないのではなく、来られない人が多いのです。表向きではなく、心から話し合える、近くにいる人達を味方につけるととても心強いと思います。地域で見守ってほしいと思います。
- 小中学校の帰り道の見守り隊を増やしてほしい。
- 子どもの登園時に見守って下さっている地域のボランティアの方々がいて下さり、大変有難く感じております。
- ミルクをつくるお湯、浄水のあるところを、もっと増やしてほしいです。お店等でお湯をくださる場合、「ミルク用のお湯あります」という看板などがあると嬉しいです。
- 普段の育児の話は、身近な人と話をしたりして、自分で解決できますが、専門的なことは、市の方に相談できるので、助かっています。充実していると思いますが、精義地区には、学童がなく、困っています。精義っ子もなくなってしまったのは、残念です。また、公園等を見守りして下さる大人がいて、安心して遊ばせることができ、仕事ができるのにとおもいます。
- 城南地区は、公園や広場等、子どもが安心して遊べる場所があまり整備されていない。帰り道に下校をサポートしてくれる地域のシルバーさんも、他の地区に比べると少ないと思う。もっと自治体と学校が密になり、社会全体で子どもを守れるようにしてほしい。
- 宅老所や福祉会館等に、シニアの方と交流できるような場所をつくってほしいです。シニア世代の方が子どもを見守ってくださるならば、これ以上ありがたい話はありません。現実的には難しいとは思いますが、福祉会館等は、とても充実していて、子どもたちにとっても良い環境だと思います。
- 桑名市の地域力を高めるために、自宅で過ごすことの多い子どもたちの祖父母世代の方々を上手く活用できれば、もっと地域にも活気が出ると思う。そのためには、子どもと祖父母世代の人々を繋ぐコーディネーターが必要だと思う。
- 城南地区のわかば会の皆様が開いている子育て支援のイベントに参加しました。地域の方と触れ合い、顔見知りになる素晴らしいイベントだと思いました。ぜひ、他の地域にも拡

げていつていただきたいです。

- アパート等に小さな子どもがいると、隣近所からうるさいなどと言われたことがあります。そこで子どもにうるさくしたりすると叱ってしまったり、ちょっとしたことで言ってしまうと、ストレスが子どもにも与えてしまっています。そういったことをどうすればよいのかわかりません。子どもに我慢させるしか方法なく、生活することが不安です。
- 子どもが自然保護の大切さを知る機会がもっと増えるといいと思います。高齢者と子どもの協同行事がもっとほしいです。
- 精義地区のおじいちゃんおばあちゃんは、安全パトロールや学校の活動にとっても積極的にしてくれていると思います。とてもありがたいです。
- 小学生以上の子どもたちが雨の日でものびのびと遊べる施設や、中学生や高校生が勉強できる場所が少ないように思います。自然と子どもたちがその場所に集まれるところがあるといいなと思います。高齢社会になってきているので子どもたちと高齢者の方たちと一緒に活動できる場があればと思います。
- 地域の関わりを増やしてほしい。子どもとお年寄りが関われる機会を。なかば強制的にでもつくれば、防災にも役立ち、子どもにとっても良いと思う。一步を踏み出せるよう行政から働きかけてほしい。
- 大阪の子育て支援が素晴らしいと思います。大学の教育学部の学生が、子どもの放課後に合わせて勉強を教えたり遊んだり。お互いが良い関係を育てる環境を作ると循環が良くなると思います。
- 助けてもらったのは地域のコミュニティや子育て支援施設で出会った方々でした。桑名市も同世代の親が、集まって気軽に話せる場所が各地域にあれば良いと思います。
- 子ども会活動に参加して来ましたが、他地域では、解散になってきています。とても大切な活動だと思いますが、父母が中心となって活動してくれる家庭が少ないです。助け合い、支え合うということは、地域から始まるのではないのでしょうか。

20 防犯・防災

- 不審者情報が多いので、対応してほしい。(同様4件)

＜同意見の理由＞

- ・子どもたちだけで公園などに行かせるのも不安になる時がある。
- ・学校でパトロールなどやれることはあると思います。
- ・不審者情報があった場合、該当する学区と警察だけでなく桑名市全体へのメール配信（保育園、幼稚園、小学校、高校、養護施設）をして、市全体で不審者から子どもたちを守っていきたいと思っています。

- ・子どもの登下校時の安全について各機関の連携をお願いしたい。
- 学区によって登下校の見守りをしっかりしているところと、ほとんどないところがある。
- 防犯カメラを増やす等、犯罪の防止になる努力をしてほしい。
- 子どもたちの通う通学路の危険場所が多すぎると思います。今、地震が来て津波が来た場合の学校対策がこれでは子どもの命は守れません。
- 震災で津波が発生した場合、長島町に子どもを助けに来られるか不安。学校も役所も全て低地のため心配。今後、フルタイムで仕事をする予定ではあるが長島に子どもを残して長時間働きに出ることに抵抗がある。安心して生活ができる場所で子育てがしたい。
- また災害時の避難場所が「ぼかぼか」しかなく、体育館は開放されるのかなど知っておきたい。家族との決まった場所が作れない。

第2部 ヒアリング

1 実施状況

実施日	対 象【対象数】
平成30年 10月2～3日	高校生（桑名北高校「わくわくコミュニケーション」を選択している2年生）【74人】
10月17日	BPプログラム（親子の絆づくりプログラム）参加者【10人】◆
11月20～21日	中学生（陽和中学校「子育て体験事業」参加者）【125人】◆
11～12月	どんぐり教室参加者【12人】◆
11月1日～12月20日	ファミリーサポートセンター援助会員【23人】◆
11月21日～12月25日	親子健康手帳を交付した妊婦【60人】
12月11日	桑名市子ども・子育て応援センター「キラキラ」利用者【14人】●
12月15日	パパサロン参加者（子育て中の父親）【5人】●
12月20日	あおむしの会（知的障害児・者の生活を充実させる会）会員【13人】●
平成30年12月25日～ 平成31年1月25日	私立幼稚園・保育園職員、私立幼稚園・保育園経営者【19ヶ所】◆
平成30年12月27日～ 平成31年1月15日	ひとり親家庭の保護者【16人】
平成30年12月28日～ 平成31年1月16日	障害児の保護者【27人】
平成31年 1月8日～1月17日	子育て中の外国人【10人】
1月10日	幼稚園教諭（公立）【10ヶ所】
1月15日	こども食堂学生ボランティア【8人】◆
1月16日	保育士（公立）【9ヶ所】
2月6日～2月25日	学童保育所支援員【5ヶ所】◆
3月22日～3月28日	医療的ケア児関係者【8人】

※対象の中で、◆は自由記述式アンケート、●はワークショップ形式にて調査を行いました。

2 保護者・生徒へのヒアリング結果

(1) 桑名市のいいところ

【対象】ひとり親家庭の保護者、障害児の保護者、子育て中の外国人

- 公園がたくさんあること、広いこと、遊具がある（2件）（子育て中の外国人）
- 家の近くに公園がいくつかある（障害児の保護者）
- 田舎なので危なくない（ひとり親家庭の保護者）
- 道によっては車も少ないので、遊んでいても安心（ひとり親家庭の保護者）
- 親子で遊びに行くところがたくさんある（ひとり親家庭の保護者）
- お店や会社が近くにある（ひとり親家庭の保護者）
- 近くに子育てしやすい環境がある町だと思う（障害児の保護者）
- 支援センターが多い（子育て中の外国人）
- 支援センターがあること（障害児の保護者）
- 子育て支援センターにここ（ひとり親家庭の保護者）
- 他市を知らないなので比べようがない。支援センターがあるのは良い。遊び場があり、相談できる（障害児の保護者）
- 療育センターが充実している（障害児の保護者）
- 年少まで療育センターを利用できたこと（障害児の保護者）
- 保健センター、子ども総合相談センター、療育センター、保育所（障害児の保護者）
- 保育所に入り、加配を付けてもらえたこと（障害児の保護者）
- 加配制度があることに安心している（障害児の保護者）
- 障害児に優しい。普通の子だと病院代がかかるが、障害児に対してはかからない（障害児の保護者）
- 保育所や子ども総合相談など、相談する場所があり、親身になって相談を聞いてもらえる（障害児の保護者）
- 分からないときは市役所へ行き、相談できるところ（子育て中の外国人）
- 節々に相談にのってもらってきた。流れも良く、現在まで不安なくきている（障害児の保護者）
- 子ども総合相談センターやちゅうりっぷの会など相談できる場所があることが心強い（障害児の保護者）
- 相談をすると、次、次とつながてくれる。応えてくれる（障害児の保護者）
- みんな（子育て中の外国人）

(2) 子どもを育てるときにあったらいい支援・サポート

【対象】BPプログラム※¹参加者、どんぐり教室※²参加者、妊婦、高校生、中学生

※1：初めて赤ちゃんを育てている母親を効果的に支援・サポートする参加者中心型プログラム

※2：療育センターにおいて、子どもの育ちに心配がある人や育児に不安を持っている保護者が子どもと一緒に遊ぶことができる教室

■保護者への支援について

- もっとBPのようなイベントがあるとうれしい（BPプログラム参加者）
- もっと同じくらいの月齢の赤ちゃんが集まるイベントを増やしてほしい（BPプログラム参加者）
- 同じような年齢の子達の集まりを増やしてほしい（BPプログラム参加者）
- 親同士で話ができる場所があったらいいと思う（2件）（高校生）（中学生）
- 母親の話を聞いてあげられ、地域の人と交流できる場所があるといい（中学生）
- 同じ子どもを持っている人と仲良くなれたらいいと思う（中学生）
- 未就学の子どもを育てる講座等（BPプログラム参加者）
- 子どものあやし方のレクチャー、手作りおもちゃ（妊婦）
- 言葉を話せるようなトレーニングができるサポート（どんぐり教室参加者）
- 困ったとき、気軽に相談ができるところがあるといい（15件）（高校生）（中学生）
- 何でも教えてくれる場所がほしい（高校生）
- 自分が困ったときに話し合いができる場があるといい（高校生）
- 会社などが育児に協力的だったらいいと思う（中学生）
- 「子どもがいる人は夜勤なし」などというものがあっていいなと思う（中学生）
- 育休や産休が取りやすいといい（中学生）
- 子育ての経験がある人の助けがあると安心する（2件）（中学生）
- 自分の親に助けてほしい（3件）（中学生）
- おじいちゃんおばあちゃんにも手伝ってもらいたい（中学生）
- 周りの人が支えてくれるような環境がほしい（3件）（高校生）（中学生）
- 夫婦で助け合って子育てしたい（3件）（中学生）
- 近所の人泣き声に怒らない（中学生）
- 地域の人が声をかけてくれたりするといい（中学生）
- おむつ券がほしい（妊婦）
- この先ずっと年数回の定期検査が必要なので、慢性疾患のある子の医療費助成期間を延ばしてほしい。精神的・体力的にもつらいので経済的負担を減らしてほしい（どんぐり教室参加者）
- 金銭的な支援（12件）（高校生）（中学生）
- 子どものおもちゃを無料でもらえる（中学生）
- 授乳室を増やしてほしい（BPプログラム参加者）

■母子保健事業について

- 予防接種の用紙がまとめて渡されたが、必要なときに少しずつほしい（BPプログラム参加者）
- 生後1か月の赤ちゃん訪問だけでなく、生後半年くらいにも改めて相談する機会が個別にあるといいと思う（どんぐり教室参加者）

■幼稚園・保育所（園）について

- 就業していなくても子どもを預けられる幼稚園（3歳児）（妊婦）
- 幼稚園は全て3年保育にするべき。いまだき、1・2年保育しか公立はないなんて驚いた（どんぐり教室参加者）
- 今は上の子が2歳以上でないと保育園を退園になってしまうので、在園できるといい（妊婦）
- 働いてなくても預けられる保育園（妊婦）
- 保育園を無料にする（妊婦）
- 保育施設の無償化（中学生）
- 安い保育所があるといい（2件）（中学生）
- 土日の一時保育（妊婦）
- 一時保育を増やしてほしい。持ち物を少なめにしてもらえると、もっと利用しやすいと思う（BPプログラム参加者）
- 保育所の時間が長くなってほしい（妊婦）
- 保育園で遅くまで預かってほしい（高校生）
- 時間に関係なしに保育してもらえるといい（高校生）
- 自分の居場所（仕事場）の近くに預けられるところがあるといい（高校生）
- 近くに保育園があるといいと思う（中学生）
- いろいろな問題はあるが、家庭保育的なものがあるといい（中学生）

■一時的な預かり・支援について

- 支援センターに一時保育が併設されてほしい。園に入っていない子どもを単発で預かってくれるところが増えてほしい（どんぐり教室参加者）
- 無料または安価な託児サービス（BPプログラム参加者）
- 気軽に預けられる場所。アレルギーでも状況に合わせて給食やおやつを出してくれる（妊婦）
- 短時間子どもを預かってくれるようなサポートがあればいいと思う（美容院、病院、上の子の学校行事の時など）（どんぐり教室参加者）

- 安心して預けられるところがあるといい（2件）（高校生）
- デパート等の無料（安価な）託児（高校生）
- 自分が忙しいときに代わりにみてほしい（高校生）
- 夫婦2人では子育てできないとき、例えばきょうだいが出た時とか1人で間に合わないときに助けてもらえるといい（高校生）
- どうしても子どもの面倒を見られない時、代わりに子どもの面倒を見てくれる人を派遣してくれる支援があるといい（中学生）

■病児・病後児保育について

- 急病のときに預けられる場所がほしい（2件）（高校生）
- 親が風邪を引いたときに子どもを見てくれるといい（中学生）

■発達に支援の必要な子どもについて

- 発達障害など、ぱっと見てわからない子どもを育てている親へのサポート（家庭訪問や親同士の交流会など）（どんぐり教室参加者）

■子育て支援センター等について

- 支援センターの年齢制限の問題で困ったことがある（妊婦）
- 支援センターに、雨の日でも思いきり飛んだり走ったり、体を使って遊べる遊具があるとうれしい（どんぐり教室参加者）
- いつでも行ける支援センターがあり、赤ちゃんとの接し方を教えてもらえるといい（高校生）
- 子育て支援施設があるといい（11件）（高校生）
- 支援センターへ来られないときに、悩みごとを電話で相談できればいいと思う（高校生）
- 「ぽかぽか」のような、気軽に立ち寄れて相談ができ、アドバイスを聞ける支援施設（高校生）

■遊び場等の施設について

- 公園・遊び場がほしい（7件）（高校生）
- もっと遊べる場所があったらいいと思う（2件）（妊婦）
- 桑名市は車でいける公園が少なく、遊具も少なく、土日は家族で他の市町村の公園に出かけることも多い。公園に駐車場や遊具が多ければ、今後子育てする人には助かると思う。伝馬公園もなくなってしまった（どんぐり教室参加者）
- 城南地区に公園を増やしてほしい（中学生）
- 整備されている草のない公園があるといい（高校生）
- 安全な遊び場（どんぐり教室参加者）

- 電車などにベビーカー専用の場所（中学生）
- バス、鉄道で赤ちゃんが過ごしやすい環境になればいい（高校生）
- キッズルームがあるカフェがほしい（妊婦）

■情報提供について

- いろいろな人から情報がたくさん入手できるといい（高校生）
- 親のブログなど（中学生）

■放課後の居場所について

- 小学生をもつ親が安心して預けられる、学童以外の場所。夏休みなど長期休みの時、子どもの預け先に困る。低学年の子どもを家に置いておけず、実家が遠い場合など（どんぐり教室参加者）

■医療について

- 子どもが病気の時、安価で往診に来てくれるといい（高校生）

■その他

- あたたかい応援（どんぐり教室参加者）
- 今でも充分にいただいていると思う。他の市町村に比べて、桑名市は熱心に支援をしていただいているイメージがある（どんぐり教室参加者）

(3) 改善してほしいところ

【対象】ひとり親家庭の保護者、障害児の保護者、子育て中の外国人

■幼稚園・保育所（園）について

- 多度地域で幼稚園が4、5歳あれば良い。仕事をしなくても通わせたい（障害児の保護者）
- 幼稚園に年少から入れたら良い（障害児の保護者）
- 幼保一貫にしてほしい（障害児の保護者）
- 保育所の決定が働く1か月前で遅いと思った（子育て中の外国人）
- 3歳児以上を公私・幼保関係なくバス通園にしてほしい（障害児の保護者）
- 西部地域に公立保育所を作ってほしい（障害児の保護者）
- 保育所（園）が増えてほしい（6件）（中学生）（ひとり親家庭の保護者）
- 保育料を安くしてほしい（ひとり親家庭の保護者）

■一時的な預かり・支援について

- 一時預かりの場所を増やしてほしい（障害児の保護者）

■病児・病後児保育について

- 病児保育施設を増やしてほしい（子育て中の外国人）

■発達に支援の必要な子どもについて

- 支援を必要とする子の対応ができる場所や人がいろんなところにあると良いと思う（障害児の保護者）

■遊び場等の施設について

- 公園が少ない、行っても子どもがいない（子育て中の外国人）
- 児童館など行きやすい場所で、子どもを対象にした活動に力を入れてほしい。公園がほしい（ひとり親家庭の保護者）
- 児童館があるとうれしい。兄弟で遊べる施設（障害児の保護者）
- 多度地区以外にもバスがあると良かった（障害児の保護者）
- 小学校のクーラー（障害児の保護者）

■情報提供について

- 子どもに関する制度、支援内容が分かりやすくHPに載っているとよい（ひとり親家庭の保護者）
- HPがわかりにくく、情報が取りづらい。HPを充実させてほしい（障害児の保護者）
- いろんな情報がほしい（障害児の保護者）
- 以前、療育センターを利用していたが、利用条件が変わる時期で不安があった。情報がほしかった（障害児の保護者）

■放課後の居場所について

- 多度は学童が一つしかなく、選択肢がないので選べるようにしてほしい（ひとり親家庭の保護者）
- 学童をもっと作ってほしい（ひとり親家庭の保護者）

■医療について

- いつも病院が混んでいる（子育て中の外国人）
- 夜間に救急車を呼ぶようなことがあったとき、海南病院しか受け入れてくれるところがないので、桑名市内の小児科の医師を増やすなど、市内で対応できるようにしてほしい（障害児の保護者）
- 愛知県のような医療費制度（受給証を提示しお金を払わずに済む）にしてほしい（子育て中の外国人）

- 医療費。名古屋のようにしてほしい（ひとり親家庭の保護者）
- どうせ後で返ってくるなら、最初から病院代を無料にしてほしい（障害児の保護者）
- 小児専門の医療があれば（障害児の保護者）
- 医療費の援助を高校生までにしてほしい（障害児の保護者）

■その他

- ベトナム語の通訳をおいてほしい（子育て中の外国人）
- 市によって事業や医療が違うところを改善してほしい。例：四日市は年少でも育休で預けられるが、桑名はだめ（障害児の保護者）
- ありすぎてわからない（ひとり親家庭の保護者）
- いなべ市の方が手厚い。電話がよくかかっていた（障害児の保護者）

(4) 子育てにおいて気になっていること

【対象】ひとり親家庭の保護者、障害児の保護者、子育て中の外国人

■子どもの発達・成長について

- 周りの子と比べると成長が遅い（子育て中の外国人）
- 発達が心配なので、そこが気になる（障害児の保護者）
- 言葉が遅いところ（ひとり親家庭の保護者）
- 発達が定型ではないこと（障害児の保護者）

■子どもの状態・健康について

- 保育所や学校に行くと良く病気をすること（ひとり親家庭の保護者）
- 食事、歯（障害児の保護者）
- 子どもがいつも怒っている（子育て中の外国人）
- 切り替えが上手くいかない（ひとり親家庭の保護者）

■保護者への支援について

- 発達講習や子育て講座など、旧桑名市の市内しかないので参加しにくい。以前は役場でしてくれたので参加しやすかった（ひとり親家庭の保護者）
- 保育所に相談専門の人がいて、ゆっくり時間を取って話ができるといい（障害児の保護者）
- 親が一人なので足りない部分があるのでは、いろいろな場面で心配したり不安に感じてしまう（ひとり親家庭の保護者）
- しつけの方法が合っているかなど（障害児の保護者）

- 自分の子育てや子どもの状態、様子についてこれでいいのかなど（障害児の保護者）
- 自分の子育てがこのままでいいのか、他の家庭のお母さんたちはどうしているのか気になっている（障害児の保護者）
- 地域の情報（小学校など先のこと）が少ない（障害児の保護者）
- 進路（小学校）（障害児の保護者）
- どれが子育てはいいかの情報が欲しい（障害児の保護者）
- 保育所での様子をもっと見たい（ふれあいあそび体験を増やしてほしい）（障害児の保護者）
- こどもの様子を知る手段が少ない。子どもの人間関係が心配（障害児の保護者）

■医療について

- 小児科の予約が取りにくい（障害児の保護者）

■周囲とのかかわりについて

- 買い物のときなど泣きわめいたりするので、まわりの人に迷惑をかけていること（障害児の保護者）
- 他の兄弟に時間を取られてしまう。本児との関わる時間が姉たちより少ない（振り回してしまう）（障害児の保護者）
- 周りの目が気になる（障害児の保護者）

(5) ファミリーサポートセンター事業について

【対象】ファミリーサポート援助会員

■援助活動をしていて感じること

- 子どもと話をしたり、ふれ合いができて、楽しい。また元気をもらえる（4件）（ファミリーサポート援助会員）
- 子どもは様々な環境になじむのが早く、柔軟で素直だと感じる（ファミリーサポート援助会員）
- きちんとあいさつができる子どもが結構多い（ファミリーサポート援助会員）
- 丁寧な子育てをしている親御さんが多いと感じる（ファミリーサポート援助会員）
- 安全運転を心がけているが、もしも事故をしてしまったらと思う（ファミリーサポート援助会員）
- 本当に困って、援助が必要としている方が多くおられるのだと感じる（ファミリーサポート援助会員）
- 中学生からの子どもの安全が心配。居場所があまりないなあと思う。子ども食堂がたくさ

んできたらいいと思う（ファミリーサポート援助会員）

- 私自身が3人の子の子育て中の頃は、ファミサポ制度はまだなく、遠方に住む親兄弟かご近所を頼るしかなかった。今の親御さんは心強いと思う。援助する側としても、子どもたちから元気を笑顔でもらえてありがたい（ファミリーサポート援助会員）
- 若い母親は、小さな子どもを保育園へ預けなければ、それぞれの生活を守っていけない現状を身にしみて感じている。兄弟を同じ保育園へ入れることができない都合の悪さ。母親は心の中では自らの手で2、3歳までのかわいい時期は育てたいと思っていると思う。明るい桑名市にしてほしい（ファミリーサポート援助会員）
- 平日の援助は、習い事の送り迎えが多いように思う。働いている方は、平日の習い事が難しく、休日に習い事を入れてしまう方が多いように思うので、ファミサポの援助を活用して、休日の家族の時間を大切にしてほしい（ファミリーサポート援助会員）
- 同じ子どもの援助は、子どもの成長が感じられ、信頼関係もできやうがいも感じられる。反面、習い事の送迎ばかりなので、本当に必要とするサポートなのかと疑問に思うときもある（ファミリーサポート援助会員）
- 一人の子を月2・3回継続して援助しているが、他の援助の方が見つからない。他にも数人見つかるといいなと思う（ファミリーサポート援助会員）
- 活動報告書が毎回同じ事の記入で負担。活動内容だけの記入だとありがたい（ファミリーサポート援助会員）
- 習い事をされているお子さんがとても多く、子どもも忙しい日々を送っている（ファミリーサポート援助会員）
- 保護者の方とも感謝していただいたりして、やりがいを感じることもある（ファミリーサポート援助会員）
- 依頼している会員の方のお役に立てられることうれしく思う。困っている方が他にもいっぱいいることを知った（ファミリーサポート援助会員）
- 自分の子育ての時のことを思い出したりしながら反省できる（ファミリーサポート援助会員）
- こちらも明るくなれ、とても新鮮な気持ちになれるので楽しくやらせてもらっている（ファミリーサポート援助会員）
- 子どもたちと接しているとその成長を感じて少しはお役に立っているのかと思う（ファミリーサポート援助会員）

■援助活動に関して変化等を感じる点

- 働くお母さんが増え、また忙しそう（2件）（ファミリーサポート援助会員）
- 塾や習い事への送迎が多くなった（2件）（ファミリーサポート援助会員）
- 子どもの習い事が増えたように思う。活動がかなり増えた（ファミリーサポート援助会員）

- お父さんが迎えにくることも割とある（ファミリーサポート援助会員）
- 何年か前まで依頼者に援助者は1人というやり方だったが、複数の援助者で対応するやり方に変えたことが、双方にとって安心感につながり良いと思う（ファミリーサポート援助会員）
- 援助会員があまり増えない。ファミリーサポートというシステムを知らない人が多いと5年たった今も思う。活動に関しての変化はあまり感じられない（ファミリーサポート援助会員）

■ファミリーサポートセンターについて今後必要なこと

- ファミサポの援助活動を知らない方も多く、本当にサポートが必要な方にこの活動を知ってほしいし、そのためにファミサポのPRをもっとしていくと良いのではと思う。地域の皆さんで子育てをサポートできる環境づくりの一つとしてファミサポを多くの方に知っていただき、活用していただきたい（ファミリーサポート援助会員）
- 援助活動を知らない方がまだ多いと思うので、知っていただくための活動が必要（援助会員、依頼会員の両方）（ファミリーサポート援助会員）
- 月齢の小さい子の援助がある（可能性の）援助会員には、チャイルドシートの常時貸し出しの必要性を感じる（ファミリーサポート援助会員）
- 新規顔合わせの機会が多いが、ほとんど援助の依頼がなかったり、長い期間をおいてからの援助だったりしてとまどうこともあり、もう少し近々の必要なときだけの顔合わせにしていけると援助会員は助かると思う（ファミリーサポート援助会員）
- 家や送迎の援助だけでなく、公園や図書館、スーパーなどの子どもが遊べる場所での援助だと、子どもも退屈しないで遊べると思う（ファミリーサポート援助会員）
- 援助会員がもっと増えるといい（ファミリーサポート援助会員）
- 実際にサポート可能な人が増えることが必要（ファミリーサポート援助会員）
- 怪我や事故があったときに、賠償等あると思うだけで心強い（ファミリーサポート援助会員）
- 今後も送迎など必要とされる活動だと思う（ファミリーサポート援助会員）
- 少しでも力になりたいと思うが、日にちや時間、場所等でうまくいかない場合がある。もっと援助会員が増えるといい（ファミリーサポート援助会員）
- 援助会員の登録条件を、なかなかクリアできない人がいるので、センターでDVD講座をやってもいいのではと思う。援助会員不足と良く聞く。やりたいけど年2回の講座受講のハードルが高いようだ（ファミリーサポート援助会員）
- お金のやりとりが苦手なので、ファミサポを通してお願いしたい（ファミリーサポート援助会員）
- 事務所に駐車場があると助かる（ファミリーサポート援助会員）
- 報告書を簡単に書けるとありがたい（ファミリーサポート援助会員）

○今のままだ大丈夫だと思う（ファミリーサポート援助会員）

(6) その他の調査項目

【対象】妊婦 【回答者数】60人

★同居人（複数回答）

夫 (パートナー)	子ども	父	母	義父	義母	その他
59人	36人	2人	2人	3人	4人	1人
55.1%	33.6%	1.9%	1.9%	2.8%	3.7%	0.9%

★日ごろ育児をサポートしてもらえる親族・知人

いる	いない
58人	2人
96.7%	3.3%

★「いる」場合は誰か（複数回答）

夫 (パートナー)	母	父	義母	義父	友人	きょうだい	その他
34人	34人	22人	16人	12人	5人	10人	5人
56.7%	56.7%	36.7%	26.7%	20.0%	8.3%	16.7%	8.3%

★子育ての困りごとを相談する相手

いる	いない	無回答
59人	0人	1人
98.3%	-	1.7%

★「いる」場合は誰か（複数回答）

夫 (パートナー)	母	父	義母	義父	友人	きょうだい	その他
29人	38人	22人	11人	7人	18人	12人	3人
48.3%	63.3%	36.7%	18.3%	11.7%	30.0%	20.0%	5.0%

【対象】中学生 【回答者数】125人

★兄弟姉妹がいるか

いる	いない	無回答
112 人	12 人	1 人
89.6%	9.6%	0.8%

★赤ちゃんに接した経験

ある	ない	無回答
83 人	37 人	5 人
66.4%	29.6%	4.0%

★「ある」場合は誰か（複数回答）

いとこ	きょうだい	親戚	職場体験	親の友人の子等	きょうだいの子(甥や姪)	無回答
29 人	16 人	14 人	9 人	12 人	2 人	3 人
34.9%	19.3%	16.9%	10.8%	14.5%	2.4%	3.6%

★将来結婚したいと思うか

思う	思わない	無回答
100 人	23 人	2 人
80.0%	18.4%	1.6%

★自分の子どもがほしいか

ほしい	ほしくない	無回答
99 人	25 人	1 人
79.2%	20.0%	0.8%

★将来桑名に住み続けたいか

はい	いいえ	無回答
74 人	46 人	5 人
59.2%	36.8%	4.0%

★将来子どもを育てるとき、仕事をしていたいと思うか

はい	いいえ	その他
102 人	19 人	4 人
81.6%	15.2%	3.2%

★家庭において子育てをどのようにすると良いと思うか

夫婦が協力して子育てをした方がよいと思う	112人	89.6%
父親が中心となり、子育てをした方がよいと思う	0人	-
母親が中心となり、子育てをした方がよいと思う	8人	6.4%
その他	2人	1.6%
無回答	3人	2.4%

【対象】 高校生 【回答者数】 74人

★住んでいるところ

桑名市内	桑名市外
56 人	18 人
75.7%	24.3%

★きょうだいの人数

6 人	5 人	4 人	3 人	2 人	1 人
1人	3人	6	27人	32人	5人
1.4%	4.1%	8.1%	36.5%	40.0%	6.8%

★赤ちゃんと接した経験

ある	ない	無回答
52 人	17 人	5 人
70.3%	23.0%	6.8%

★「ある」場合は誰か（複数回答）

いとこ	きょうだい	親戚	職場体験	親の友人の子等	きょうだいの子(甥や姪)	無回答
11 人	10 人	7 人	5 人	4 人	2 人	13 人
21.2%	19.2%	13.5%	9.6%	7.7%	3.8%	25.0%

★将来結婚したいと思うか

思う	思わない	その他
69 人	2 人	3 人
93.2%	2.7%	4.1%

★「思う」「その他」を答えた場合、何歳くらいに結婚したいか

20 代	30 歳まで	30 代	分からない	無回答
58 人	9 人	1 人	2 人	2 人
80.6%	12.5%	1.4%	2.8%	2.8%

★自分の子どもがほしいか

ほしい	ほしくない	無回答
68 人	3 人	3 人
91.9%	4.1%	4.1%

★将来桑名に住み続けたいか

はい	いいえ	無回答
52 人	16 人	6 人
70.3%	21.6%	8.1%

★将来子どもを育てるとき、仕事をしていたいと思うか

はい	いいえ	その他
43 人	20 人	11 人
58.1%	27.0%	14.9%

★家庭において子育てをどのようにすると良いと思うか

夫婦が協力して子育てをした方がよいと思う	69人	93.2%
父親が中心となり、子育てをした方がよいと思う	0人	-
母親が中心となり、子育てをした方がよいと思う	4人	5.4%
その他	1人	1.4%

3 幼稚園教諭・保育士へのヒアリング結果

【対象】幼稚園教諭・保育士

(1) 園児の発達や育ちを通して感じること

■発達について

- 支援が必要な子が増えてきたように感じる。障害とは言えなくても配慮が必要な子が多い（保育士・幼稚園教諭）
- 発達がゆっくりな子が多いと感じる（身体・言葉）（保育士）
- 様々な情報がメディアから入ってくるところもあり、知育的には年齢より発達している子もあり、体とのアンバランスさを感じる（保育士）
- 知識はあるが、それに伴う実体験が少ない（幼稚園教諭）
- インターネットやテレビから得る情報が多く、直接的な体験が減っている（保育士）
- 家庭環境によって、子どもの発達（特に気持ちの面）に差がある（保育士）
- 一人ひとり違って、個々をしっかり捉えることが必要だと感じる（保育士）
- 子どもの成長・発達において、その子を取り巻く環境（特に周りの大人の生活環境・成育歴）は、良いことも悪いことも含め、大きく影響していると感じる（幼稚園教諭）
- 子どもの発達に合わせた援助をすることで大きな成長につながる（保育士）
- 子どもが「やりたい」「面白い」と感じているからこそ、遊びや活動が育ちにつながっていく（幼稚園教諭）
- 発達や育ちを近くで見ているので自分のことのようにうれしい（保育士）

■集団生活・コミュニケーションについて

- 集団の場で様子が気になる子が増えてきている（保育士）
- 人とのコミュニケーション能力が低いように感じる（保育士）
- 言葉の獲得とコミュニケーション能力の身につけにくさ、体力の低下を強く感じる。家の中だけで乳児期を過ごしてきている、外の世界とのかかわりが薄い中で育ってきていることを感じる（幼稚園教諭）
- 幼い頃からDVDやゲーム、YouTubeに触れており、遊びの幅が狭かったり、自分で考えて遊びを作り出したりする力やコミュニケーション能力が弱くなっているように感じる（保育士）
- 人との距離感がとりにくい子が増えている（保育士）
- 周りが気にならないマイペースの子が多い（保育士）
- 月齢が大きくなると友だち関係が狭くなっていく傾向がみられる（保育士）
- 人とのコミュニケーションが取りにくい子も多くなっている。保護者がグループ化していたり、SNSなどのやりとりが増えていたりして、相手の感情や表情を読み取れない。子ども同士がトラブルを経験したり、喜怒哀楽を友だちと共に感じたりすることで、思いやる気持ちや寄り添う気持ちが育つと感じる（幼稚園教諭）
- 入園してきた子が友だちと関わり、刺激を受ける中でいろいろなことができるようになったり、やってみようとなったり、どんどん自己表現できるようになっていき、友だちと遊びの中で学ぶことが子どもの育ちにつながっていると感じる（幼稚園教諭）
- 集団の場だからこそ学べるということがたくさんあると感じる（保育士）
- 友だちとの関わりの中でコミュニケーション能力を得る（保育士）

■身体能力について

- 体の使い方がスムーズにできない子が増えてきているように思える（転んでもなかなか手をつけない子、足が上がりず転びやすい子など）（保育士・幼稚園教諭）
- 年々、運動発達や描画などの発達がゆっくりになっているように思う。けがをしやすの子が増えた（保育士）
- 外で遊ぶ機会が減り、運動面で体を支える力が弱かったり、体力がなかったりすることが気になる（保育士）
- 家庭での育児に偏りがある。室内での遊びも多く、外遊びや体を動かす遊びが少ないので、体力の低下、運動能力の低下が気になる（幼稚園教諭）
- 休日の過ごし方。ショッピングモールやレジャー施設で過ごす家庭の増加。公園や散歩など親子で体を動かして遊ぶ機会が減少しているように感じる（保育士）
- 経験不足で日常生活の中で身につくことができていない子が見られる（保育士）

- 指先の不器用さ（鉛筆・箸・スプーンがうまく持てない、はさみがうまく使えないなど）や身体的不安定さ（じっと座ってられない、よく転ぶ、すぐ疲れるなど）が感じられる子が多くなっている（幼稚園教諭）
- 低年齢から視力が悪くなっている（スマホ、ゲームにより）（保育士）
- 好き嫌い、咀嚼が気になる（保育士）

■気持ちの面について

- 自分で考えて行動する・困難なことに立ち向かう・工夫するなどの姿勢が育っていない子が多い。失敗を恐れる子・意欲に欠ける子など個々に課題があり、集団生活のしづらさを感じる（保育士）
- 考えたり、工夫したりする力、難しいことにチャレンジしていこうという気持ちが弱い（幼稚園教諭）
- 意欲ややる気を持つことが薄くなっている子が多く、達成感の感じ方も薄い（保育士）
- 経験不足や愛着関係の薄さを感じる。保育士に愛情を求める子が増えている（保育士）
- 大人（保育士）に認められることで心の安定・安心を感じる（保育士）

■しつけの程度について

- 4歳児でおむつの取れていない子が増えている（幼稚園教諭）
- 衣服の着脱、トイレ（排泄）の自立、食事の偏食やお箸・スプーンの持ち方など、基本的な生活習慣が身についていない子が増えており、家庭で付けていただくべきことと思える指導が必要である（幼稚園教諭）
- 食事のマナーや箸の持ち方、また姿勢を正して人の話を聞くなどの生活習慣が身についていない（幼稚園教諭）
- 基本的な生活習慣が身についていない、体の発達が未熟な子どもが多い。まず体をしっかりと作ることによって発達が大きく伸びる子どもが多い（幼稚園教諭）
- 好き嫌いが多い。食べなければそのままにしておく（保育士）
- 4歳児で入園までにオムツが外れていない子が多く、家庭でできるはずの生活習慣を幼稚園で担うことが増えてきたように感じる（幼稚園教諭）

■保護者との関係について

- 保護者が幼稚園と同じ気持ちで子どもの成長を応援してくれることが、子どもの育ちにつながっていくので保護者との連携の大切さを感じる（幼稚園教諭）
- 一人ひとりに合わせた保育をすることで、子どもたちは確実に成長し、保護者にもそのような姿を丁寧に伝えることで、幼稚園教育や子どもの成長に対して理解を得ることができる。そうすると家庭での協力も得られて、さらに子どもの成長を支えることにつなが

ている（幼稚園教諭）

○子どもだけでなく保護者支援の難しさ（保育士）

■その他

○食物アレルギーの多様化（保育士）

○経験の狭さを感じることもある。特に「食」については、行事や給食時に「食べたことない」「初めて」という子がいて実感する（保育士）

○文字や数字に関心を持つ子が多く、4歳児クラスで文字を読んだり数字を書いたりしている（保育士）

(2) 園児の家庭環境等について感じること

■家庭での就寝・食事等の生活習慣について

○両親共働きやひとり親家庭等で、時間的余裕がない家庭背景がある。朝ごはんを食べない子や、夜中遅くまで起きている家庭が増えてきているように感じる（保育士）

○朝ごはんを食べてこない子が多い。10時くらいに「お腹すいた」と言いだし活発に動けない（保育士）

○生活リズムが乱れている家庭が大変多い。就寝が遅く、早く起きられないため、朝食抜きで登園する子もいる。就寝が遅い理由はYouTubeを見ていたなど、時間の区切りなく見ている（保育士）

○朝ごはんを食べてこない、子どもの言うままにしている、すべて大人が手を出して、子どもに力がついていない、などの家庭がある（幼稚園教諭）

○朝からよくあくびをする子が多く、安定した生活習慣ができていない（保育士）

○生活リズムや食事の重要性に対して意識の低い家庭も見受けられる（保育士）

○大人に合わせた生活リズム（就寝時間が遅いなど）。しかし、それで子どもと向き合えているわけではない（保育士）

○生活自体が保護者主体になっている部分が多く、子どもの容姿だけを重要視したり、子どもをできる、できないという視点で見ていることが多い。またゲーム、スマホ等により基本的な生活習慣が崩れている家庭が多い（幼稚園教諭）

○保護者が子どもの基本的な生活習慣に関心が薄く、偏食、生活リズムが整っていない、夜遅くまで起きている、排泄が自立していない子などが増えている（幼稚園教諭）

■親子の関わりについて

○子どもとの関わり方がわからず困っている様子が多い（保育士）

○休日に出かけることで子どもと関わっていると思っている家庭が多い（保育士）

- 仕事で忙しいこともあり、一緒に過ごす時間が十分に取れないことが子どものイライラにつながっている（保育士）
- 保護者に余裕がなく、子どもの困り感や育ちに気づいていないところもある（保育士）
- 日々の生活の中で、親子のやりとりや共に体を動かす経験が少ない。それがコミュニケーション能力、運動能力、調整能力の低下につながっているように思う（幼稚園教諭）
- 物資は豊かだが、家庭内でTV、ゲーム機、携帯電話やパソコンでYouTubeを見て過ごす子どもが増え、保護者との関わりや関係性が希薄になっていると思う（幼稚園教諭）
- 保護者が手をかけすぎているような子と、必要以上に自立を求められる子の差が大きい（保育士）
- 安定している家庭と、親の生活が崩れるとすぐに子どもの生活に影響を受ける家庭と極端（保育士）
- 親が待てずに手を出して助けてしまう（保育士）
- 保護者同士の関係がネットにつながっており、我が子が他の子に迷惑をかけることを怖がり、子ども本来の姿を容認できずにいることも多々ある（幼稚園教諭）

■保育所等と家庭の役割の変化について

- 食事面について保育所まかせが感じられる（家ではお菓子ばかりだが、保育所で食べているからいいと思っている、箸の持ち方など保育所が教えてくれるなど）（保育士）
- 休みの日でも保育所に預ける保護者が多い。親は、週休2日、子どもは週休1日家ではコミュニケーションも少ないように感じる。（保育士）
- 家で子どもを見るのは無理！とはっきり言う保護者が増えてきた（保育士）
- 共働きによる長時間保育の子の増加（保育士）
- 保護者の幼稚園まかせを日々感じる（幼稚園教諭）

■保護者への支援について

- 保護者の大変さが子どもの姿に影響するが、保護者も精いっぱい努力しているので保護者をサポートする手立てが必要だと感じる（保育士）
- 地域での交流がない保護者がいる。孤立させないように保育所の特性を活かした支援がしたい（保育士）
- いろいろなことについて説明が必要な家庭の増加（保育士）
- 子育てについて相談する機会や人がおらず、1人で困っているように感じる（保育士・幼稚園教諭）
- 保護者自体に自信がなく、気持ちが不安定である場合が増えてきている。身近に気軽に相談できる人がいない場合がある（保育士）
- 核家族が増え、子育ての相談できる場がなく、インターネットに頼っている（保育士）

- 子どもに愛情をもって接しているが、その子育ての仕方に不安を感じている家庭が多い（保育士）

■家庭環境の影響について

- 祖父母はじめ周囲の協力を受けやすいご家庭の子どもは気持ちが安定している傾向があるように感じる（保育士）
- 祖父母が近くにいない家庭が増えた（保育士）
- 核家族であり、両親ともに正社員で遅くまで働く家庭が多い（保育士）
- 核家族が増え、また、シングルなどの家庭環境も増えてきている（保育士）
- 核家族が多い中、父母にも子どもにも構う余裕や意識が少なく、親からの関わり（スキンシップや目を合わせての話しかけなど）が少ない（幼稚園教諭）
- 家庭の環境によって子どもの安定や対応力がまったく違うと感じる（保育士）
- 以前に比べ、ひとり親や離婚・再婚するなど、家庭環境が多様化してきている。また、過保護な親も多くなり、子どものけがや子ども同士のけんかにすぐ反応し、対応が難しい（幼稚園教諭）
- 親のみで育児をしていくことはとてもしんどいと思う。親に余裕がないと感じる（保育士）
- 様々な背景（ネグレクト・登園させない保護者・子育てする力不足の保護者）を抱える子どもや、それぞれの家庭の文化が異なる外国籍の子が増えている（幼稚園教諭）

■子どもの発達・経験・遊び等について

- 家庭での遊びの内容の変化（ゲーム機器等が増加し、外遊びの低下）（保育士）
- 日常生活が便利になったこと（センサー感知、プッシュ式）もあるだろうが、手首の返し、指先が固く動かない。ひねる、ねじるなど微細運動の未熟さを感じる（幼稚園教諭）
- 子どもの発達について「子どもだから」と経験させるべきことをさせていなかったり、発達に課題があっても気づかない保護者もいる（幼稚園教諭）
- 子どももスマホを触ったり、YouTubeを見たりして過ごすことが多い（幼稚園教諭）
- 家庭にもよるが、家に帰って外遊びではなくゲームやスマホに夢中になる子が多すぎる気がする（保育士・幼稚園教諭）
- スマホやTV（DVD）で映像を見て過ごすことが未満児からもみられる（幼稚園教諭）

■情報について

- 子育て関係の機関や施設の情報が、実際に保護者に知れ渡っていない。知らない保護者も多く、家庭や近所のみ行動範囲の保護者も多い（幼稚園教諭）
- 困るとすぐネットで調べてその情報に頼る傾向にある（幼稚園教諭）

- 子どもに手をかけすぎている、じっくり時間を取って子どもに接することができていないような気がする。スマホ・タブレット・テレビなどに頼り切っていて、親から教えてもらうのではなく、いろいろな情報を子どもが獲得してしまっている。現実と非現実の区別が理解できない子も見られる（幼稚園教諭）
- 多くの情報にあふれているが、正しく必要に応じて活用できていない（保育士）

(3) 幼稚園・保育園の保育における課題

■地域や幼保・小学校の連携について

- 幼保の連携をさらに高める（保育士）
- 就学前の教育で何を大切にしていけるのか、共通理解が必要ではないか。幼保一緒に研修もしているが、現場でどのように取り組んでいるか知らない部分もある（幼稚園教諭）
- 公立幼稚園は小学校との併設である。この環境は就学に向けていろいろな面でよい環境であると感じる。幼稚園だけでなく保育園も小学校との連携を取れば、就学に向けて幼保と小学校ともに利点が多いと思う。現状は、併設幼稚園は交流・連携を深めているが、独立園は園によって差が出ている。学区が外れたことで交流・連携が難しいという声もある。桑名の教育の利点であるのにもったいないと感じる（幼稚園教諭）

■保育の内容について

- 特別支援教育（外国人も含む）（幼稚園教諭）
- 各自治体、園などによって、保育、アレルギーの対応など差がありすぎる。分かりやすいガイドラインなどがほしい（保育士）
- 集団保育なので一人ひとりとじっくり関わる環境が持てない（保育所）
- 3歳児未満の受け入れに伴う、健康や安全さのきめ細かい対応（保育士）
- 幼稚園として子育て支援の役割をどの程度果たしているのか悩んでいる。園開放や在園の保護者に対する子育ての支援をもっとしたいが、少人数園においては職員の数が少なく限界がある（幼稚園教諭）
- 子ども一人ひとりに寄り添い、子どもの主体性を大切にしたい保育をすること（保育士）
- 一対一の対応が必要な子どもが増えており、丁寧な指導や関わる大人が必要（幼稚園教諭）
- 経験差や月齢差を考慮したクラス運営（保育士）
- 人との関わり方を学び、子ども同士がつながることができる教育が必要である。また、それ以前に心身の健康と安定を図ることが課題である場合も増えている。（保育士）
- 発達段階に応じた幼児保育の充実を図る（保育士）
- 集団の中での自己発揮を自己肯定感につなげる（保育士）

- 支援が必要な子が増えてきているため、全体でできる活動内容に工夫が必要である（幼稚園教諭）
- 子どもの意見を聞きすぎず、目標とする姿までもっていくこと（保育士）

■制度や人員配置等の見直しについて

- 保育士不足の解消（保育士）
- 乳児や支援の必要な子どもを丁寧に保育していくには一クラスの子どもの人数が多いので、特に乳児は少人数での保育を希望する（保育士）
- 先生1人に対して子どもの人数が多い（保育士）
- 1人の先生に対して子どもの数が多い。保育者になりたい人が増えるといい（保育士）
- 子ども一人ひとりと丁寧に関わる保育（保育士対子どもの人数比の見直し）（保育士）
- 保育士の人数を増やし、園児一人ひとりに丁寧に関わっていくこと（保育士）
- 研修・特別支援・預かり保育等をしっかりやるには、職員数が少なすぎる（幼稚園教諭）
- 園数が減り、職員数も減少し、保育を担っている正規担任が少なくなっている。教職員の確保が難しくなっている（幼稚園教諭）
- 教師・支援員の人手不足で経験のある教師も少ない（幼稚園教諭）
- 公立幼稚園は3歳児保育がないので、3歳児から入園させたくても家庭でみたり、私学の幼稚園へ一年だけ入れたりしなければならない（幼稚園教諭）
- 3歳児の多くが就園している現状、3歳からの連続した保育の必要性を感じる（保育士）
- 公立幼稚園において3年保育、預かり保育が全園にないことが課題だと思う（幼稚園教諭）
- 預かり保育の重要性。特に母親の安心につながっている。預かり保育のない地域にも拡大してほしいと要望がある（幼稚園教諭）
- 園児数が減少し、再編しても集団規模の確保が難しい園もある。集団の中で育てていく力を育成していくためには園児数の確保は課題である（保育士）
- 新幼稚園教育要領、新保育所保育指針にあった保育を進めていき、今までの保育の仕方を教諭一人ひとりが考え、教育・養護のどちらも大切に保育を進めていく必要がある（幼稚園教諭）

■保育士等の育成、働く環境の整備について

- 保育の質（保育士の経験年数の低下）（保育士）
- 若い保育士の育成（保育士）
- 支援を必要とする子どもの加配保育士がいない。勉強する機会がほしい（保育士）
- 質の高い保育をめざしていくには研修に参加したいが時間がない。年休を取得して行きたいが年休もなかなか取れない状況なので保育士の増加（保育士）

- 超多忙により、保育現場で実践モデル伝達ができない（保育士）
- 書類や行事などに追われると目の前の子どもや家庭との連携がおろそかになることもあり、必要書類や活動の精選が必要である（保育士）
- 仕事内容が多様な上、量も多く、どのように時間の配分をし保育をしていくか（保育士）
- 職員の仕事の見直し（働き方改革）（保育士）
- 支援のいる子が増えているので、専門的な知識を身につけていく必要がある（幼稚園教諭）
- 子どもたちを保育する力量や保護者への対応（支援）する力をつけていく（幼稚園教諭）

■保護者への支援や家庭との連携について

- 休日保育や病児保育の充実（保育士）
- 保護者の育児支援の必要性（一人ひとりに合った保育や対応の仕方）（保育士）
- 保護者への伝え方（保育士）
- 保護者と一緒に子育てをというスタンスが難しくなっている。（保育士）
- 保護者ニーズの多様化による対応の難しさ（保育士）
- 保育所にいる間についた習慣が、土日（休み）を挟むと戻ってしまう。例えば、薬を保育所で塗っていても、休みが明けるとまたひどくなっている。家庭での子育て力を育てること（保育士）
- 土日祝日等も預けたい方向性にあり、家庭内の育児の重要性が理解されにくい（療育）
- 園と保護者が相互理解しながらの子育て（保育士）
- 家庭との連携（保育士）
- 何でも気軽に相談できる関係づくり（保育士）
- 一人ひとりの子育てに寄り添いながらも、専門的な視点からアプローチする（保育士）
- 子育て支援、保護者支援。保護者自身が不安で認めてほしい、聞いてほしいと教師を求めてくる。保護者が安定することで子どもも安定し、成長できる（幼稚園教諭）
- 子どもへの支援はもちろんだが、保護者への支援も大切だと思う（保育士）
- 園児の人数は減ってきたが、家庭生活で身につけてくるべきことが身につけていない子どもが多く、個々の課題が大きくなっていることと、子どもとともに保護者への援助が不可欠になってきているが、十分に時間が取れないことがある（幼稚園教諭）

■設備・施設について

- 園舎の老朽化（公立施設）（保育士）

(4) 現場の職員から見て、子育てに必要な支援とは

■保護者への支援や家庭との連携について

- 核家族化、少子化が進む中、子育ての情報はあふれていても、実際にどう子どもとかかわったらよいのか悩んだり、ストレスをためたりしている保護者が大変多い。保護者同士が子育てについて学んだり、交流したりできる支援がより必要と思う（保育士）
- 子育ての方向性や具体的な対処についてのアドバイス、保育の中でどのようにかかわっているか、今どのような状態・発達にいるかを丁寧に知らせていく（保育士）
- 生活習慣が乱れている子の保護者には、保護者と一緒に子育てしていけるように話をしていくが伝わらなかったり、親自身に余裕がなく、できなかったりする現状なので、一人ひとりに合わせたより丁寧な支援が必要だと感じる（保育士）
- 食や生活リズムについての支援（保育士）
- 子どもの育ちの道筋がわかるものや、子どもの生活に大切なものが分かるようなはたらきかけ（生活習慣チェックシートのようなもので知らせる等）（保育士・幼稚園教諭）
- 保護者の子育て力を高める指導・支援（保育士）
- 具体的に保護者に子育ての方法を伝えることが必要。保護者に子育て力をつけていくことが求められる（保育士）
- 保護者支援（保護者の話を聞きコミュニケーションを取るなど）（保育士）
- 保護者間のネットワークづくり（保育士）
- 子どもはもちろん保護者自身も認める（保育士）
- 保護者を含めた子育て支援（保育士）
- 親支援、地域の人との連携への支援、気になる子の支援（保育士）
- 保護者に寄り添い話を聞く、悩みについて一緒に考える（保育所・幼稚園教諭）
- 保護者への情報提供（アレルギー、離乳食育など）（保育士）
- 先の見通しを示しながら具体的なアドバイス（離乳食、体調管理等）（保育士）
- 具体的な子育ての指導（ex.保育体験（給食試食））（保育士）
- 親子でふれあえる時間の提供（保育士）
- 家庭で、どのように子どもとかかわっていいのか、遊べばいいのかわからない親も多くいるので、関わり方を具体的に知りたいのではないかと思います。一般的な話ではなく「うちの子にはどうしたらいいのか」が知りたいのだと感じる（幼稚園教諭）
- 保護者の就労支援だけでなく、家庭で子育てをしようとしている世帯にとっての家庭支援の必要性を強く感じる。子どものどのような能力を今伸ばすべきか、そのためにどのようにかかわっていくといいか、ということを伝え、保護者がネットなどの情報から得た知識に対する不安、あせりなどを緩和していく必要がある（幼稚園教諭）

■相談できる環境づくりについて

- 相談しやすい施設を増やす（保育士）
- 園庭開放など、ひとりで悩まないで相談できる場をたくさん作ること（保育士）
- 初めての子育てで戸惑いや不安のある保護者が気軽に相談できる場（保育士）
- 子育てに関して、不安感が強い方が多いので、気軽に相談できるようなカウンセラーの配置があるといいのではないかと感じる（幼稚園教諭）
- 子育ての中で、日々の細かなことでのノウハウ（離乳食のこと、あやし方、関わり方、病気の予後など）を伝える、聞ける場があるといいのではないかと。昔の2、3世代同居の時代であれば自然になされていた諸々のことを補える一助として（幼稚園教諭）
- 発達の・経済的などの様々な課題を抱えている保護者にとって、相談機関としての支援は必要だと思う。各園で相談場所として機能していくことで、保護者にとって子育てがよりよいものとなっていくのではないかと（幼稚園教諭）
- 子育ての悩みを抱え込んでいたり、また障がいや発達の遅れを気にしても、どこに相談したらいいか、誰にも話せずにいる保護者が、役所の前に相談の門を叩きやすい園、保育士が架け橋であるよう心がけるのも大切（保育士）
- 保護者の悩みや不安について気軽に話せる場所や人を充実させる（保育士）
- 母親の子育ての悩みを解消できる相談窓口（幼稚園教諭）
- 悩みを打ち明けられるような環境をつくり、今だけでなくその先を見すえた支援を考えていく（保育士）
- 未就園の子だけでなく、子育て中の保護者の困っていることについて情報交流できるような場を提供したり、周知したりする（幼稚園教諭）
- 保護者同士をつなげたり、交流したりする場（幼稚園教諭）
- 幼稚園では親子で一緒に通える1・2歳児クラスを作ったり、子どもだけで週2～3日通える2歳児クラスを作っている。親子で通い、子どもとふれあえる時間を設け、子育てで不安なこと、心配なことの情報交換ができています。子どもだけ通うクラスは子どもと離れる時間ができ、リフレッシュできていると思う（幼稚園教諭）

■保育環境の改善・向上について

- 特別支援教育の担当教諭が必要（幼稚園教諭）
- 2～3歳児保育の拡大。1年でも早く低年齢のうちからつながることで、育児不安を解消できるのではないかと（幼稚園教諭）
- 公立幼稚園が4、5歳児の2年保育しかない。3歳児保育が必要（幼稚園教諭）
- 子どもたちの基本的な生活習慣を身につけられるような環境を提供する（保育士）
- 地域で多くの人に守られながら、子どもの育ちを支援したい。保育園が交流の場になるよ

う取り組みが必要である（保育士）

- 子どもの最善の利益を考えた保護者支援・地域支援が必要。保育は園だけではできず、保育士・保護者・地域など、いろいろな機関の協力が必要。地域支援はどんなことがあるのか知っていただくことが必要。保護者に対応するため、桑名市の支援内容の研修会を園長・主任対象に行ってほしい（保育士）

■支援サービス等の整備について

- 緊急の子どもの怪我や病気に対応できる病院、安心してかけられる病院。また、保護者の病気・労働等で動けないときに預かれるような、迅速に対応できるサービス（保育士）
- 子育て支援センター（在園児も利用可能、かつ土日開所）の増設（保育士）
- 実家が遠い場合、人的な助けをしてもらえるような場所（保育士）
- 発達についての支援（保育士）
- 発達障がいへの気づきを促すこと（保育士）
- ファミリーサポートなどの充実（病気になったときにお迎えに来られない）（保育士）

■保育の人材確保について

- 気軽に保育士に気になることや疑問点があるときに聞けるようにする。それに伴って対応できるような職員体制が取れるようにする（保育士）

(5) 桑名市の子育て支援について感じること

■保護者や子どもへの支援について

- 外国籍の子、家庭に対する支援の充実（言葉・障がい）（保育士）
- 実際に一時保育を利用する親子は、周囲に預かってくれる親戚や知人がいないからこそ一時保育を利用するのであり、こちらが思う以上に母親一人で育児を抱え込んでいるのではないかと思う。利用できる状況にある家庭はまだいいと思う（保育士）
- 自分から調べたり、行ったりして支援を受けられる人はいいが、働いている、生活が厳しいなどで自分から助けを求めることのできない人の支援は誰がどう担っていくのか。心配なところがある（幼稚園教諭）
- 親をつなげたり、リフレッシュはいいことだとは思いますが、講座などの企画が多いように思う。本当に必要なことはセンターに来られない人のサポートだと思う。孤立している人もいるのではないか？（保育士）
- ぽかぽか等の子育て支援施設や、幼稚園・保育所で行う園庭開放やおおぞら保育など、子どもを遊ばせながら保護者同士が情報交換できる場所として、大変いいと思う。しかし、そのような場所になかなか参加できない人に対して、より参加しやすい方法を模索して

いく必要があると思う（保育士）

- 支援センターや一時保育、休日保育等その時代のニーズに合わせて対応してきたところはいいと思う。ただ、それぞれの家庭の形態に合わせて必要な支援が行き届いているのかは分からない（保育士）
- 家庭環境や状況によって通園できない子どもがいたので、すべての子ども、家庭が潤う環境づくりが必要（幼稚園教諭）
- 言葉が気になる、運動が気になるなど気になるころがあったときには専門の人から検診を受け、話を聞けることは不安な保護者からすると心強いと思う（保育士）
- 支援が必要な子を、定期的に専門の人に見てもらえて相談できるのがいい（保育士）
- 発達の気になる子どもには健診の時などに詳しくみていただき、園にも伝えてもらって情報を共有していきたい（保育士）
- 園庭開放時に遊戯室も開放するなど、保護者同士が話せる場があるのでいい（保育士）
- 相談したくてもいつもいっぱいなので、園と市役所の連携の充実（保育士）
- 子育て相談や講座、子どもたち同士での関わりの場を設けているため、保護者も相談しやすいと感じる（保育士）

■保育の体制について

- 公教育の充実がなされていくべきだと思う。私立・公立共に特徴を活かしながら、お互いが充実していくことで、保護者にとっての選択肢が広がるのが子育て支援につながる。就学前の公教育を充実させてほしいという声を保護者からよく聞く（幼稚園教諭）
- 支援の必要な子への保幼、小、中の連携を高める（保育士）
- 他市では保護者の仕事が休みの場合は保育所を休まなくてはならなくなっているところもある（勤務表の提出）。桑名市もそのような方向へ変えた方がいい（保育士）
- 子育てをしている側の保育士が休みにくく感じる環境。近くに実家がないと続けるのは困難（看護休暇など、年休以外の休みは取りづらい雰囲気）（保育士）
- 事業の多様化と職員配置のバランスがあまりよくない（保育士）
- 病児保育をする施設が増えるといい（保育士）
- 病児保育施設が少なすぎる。支援センターの利用、一時預かりの施設があまり認知されていない（保育士）
- 療育が必要な子どもが増えてきているが、しっかりされていて安心だと思う。子どもの遊び場をたくさん設けてあり、外に出て行きやすい（幼稚園教諭）
- 保育所巡回指導を利用し、多職種連携で子どもへの支援方法を考えることができた（保育士）
- 桑名市はきょうだい同じところに入園できない場合がある。保護者は毎日が大変なのに、その上別々の保育園に子どもの送迎をしないといけなくなり、実際にとても困っている。

(保育士)

- 実際の事例で、2歳の子を園に預け、下の子(双子)を出産したお母さんが、子育てが大変なため保育園での預かりを希望していたが、産後8週で退園と言われ困っていた。(保育士)

■サービスや事業について

- 病児保育制度がありながら利用できる人が少ない。そのしわ寄せが保育所にきている(保育士)
- 学童保育所の時間の延長(保育士)
- 発達相談の予約が取りにくい。もっと取りやすくするといい(保育士)
- すすくカードやゆめはま文庫等、いろいろな支援方法があり、いいと思う(保育士)
- 図書館・プラネタリウム・公園などがどの地区でも使いやすくなるといい(幼稚園教諭)
- 病気になった際に預けられる。相談窓口が充実している(保育士)
- 療育や発達相談などの機関でいろいろ知ることができる(保育士)
- ファミリーサポートや病児保育、一時預かりを使っていることはよく聞く(保育士)
- 子育て支援をしていますが、保護者がサービスを知らないので利用することができない。保育士もサービスの内容をもっとよく知り、伝えていく必要がある(保育士)
- 桑名市には様々な支援があるので、必要な人につなげられるようにしたい(保育士)

■支援センターについて

- 支援センターが充実している(保育士)
- ほかほかなど、保護者が子どもたちと一緒に交流できる場はとてもいい(保育士)
- 支援センターや園庭開放があり、保護者が知り合うきっかけになりやすい(保育士)
- 子育て応援センターがあることで親同士がつながることができる(保育士)
- 桑名市のなかでも、居住地域によって子育て支援センターを気軽に使えなかったり、入りたい保育園や幼稚園が遠かったりなど偏りがあるように感じる(幼稚園教諭)

■学習・講座・遊び場等について

- 母親になるためのプログラムの参加を募集し行っているの、子育ての悩みなどの解消につながっている(保育士)
- 出産直後からの子育て支援(生活面や遊びでの関わり方について)(保育士)
- なかなか体を動かして遊ぶことが難しい現在、体を動かして遊ぶことができる、親子で遊ぶ施設が増えるといいのではと思う(幼稚園教諭)
- 気軽に遊べるよう、戸外で遊べる地域の公園の充実(保育士)

■情報提供について

- 興味、関心のある保護者は自分から情報を入手していると思うが、関心がない保護者は桑名市が子育て支援で何をしているのかわからないのではないかと。また、関心がない保護者にこそ情報が届くようにしていくべきであると思う（幼稚園教諭）
- たくさんの人に知ってもらえる発信方法があるといいと思う（保育士）
- いろいろ工夫しているが、必要な人に必要な情報が届いているのか（幼稚園教諭）
- 子育て支援を公でできる部分は公で行っていく重要性。情報の周知がなされていないこと（保育士）
- 何を行っているのかが、取り組みが分かりづらいように思う（保育士）
- いろいろな支援を知らない保護者が多いので、もっとアピールしたり、情報を手に入れやすく考えてほしい（保育士）

■その他

- 他市に比べて丁寧できめ細かいと思う（保育士）
- 三重県内だけでなく、名古屋市など都市部の取組も入れてほしい（保育士）
- 保育や教育にもっと予算をつけるべき（幼稚園教諭）

(6) 子育て支援で桑名市のここがいい！ところ

■支援センターについて

- 子育て応援センターが充実している（保育所・幼稚園教諭）
- 利用しやすい場所に支援センターがある（保育士）
- 支援センターがほぼ毎日開いていて、受け入れをしているのがいい。休日でも一時保育もしている（保育士）
- 支援センターの遊びが充実している。講座があって、子育ての息抜きをしつつ楽しんで参加できる。また、支援センター（公民館）のサークル利用ができて便利（保育士）
- 支援センターや一時保育施設には子育ての悩みを気軽に相談できる経験豊かで頼れるベテランの保育士もおり、年齢層の厚さが対応力につながっていると思う（保育士）
- 支援センターがきれいで、そこに行けば友達もでき、楽しく遊べる（幼稚園教諭）
- 誰でも利用できる施設「ぽかぽか」がいい。ぽかぽかのような施設を地域ごとに増やし、気軽に利用できるようにしてほしい（保育士）

■保育・教育の内容について

- 桑名市のアレルギー児対応はすごくいいと思う（保育士）
- 人権を考えて保育しているところ（保育士）

- 専門職が配置されていて、適切な回答がもらえること。多様なニーズに保育園も応えていなくてはならないため、桑名市に後方支援してもらえることは心強い（保育士）

■保護者の交流の場について

- 母親同士が子育てについて話し合える講座やサークルが開催できるように支援していることはとてもいいことだと思う（保育士）
- 施設を整えて集える場を作っているところ（幼稚園教諭）
- 子育て講座の企画はいいと思う。子どもと離れて興味関心のある話を聞いたり、交流したりする機会があるのはいいと思う（幼稚園教諭）
- 幼稚園や保育園の園開放や園庭開放をしていて、園に通っていない親子の交流の場などになっていていい（保育士）

■サービス・事業について

- 病児保育は働いている親が助かる。療育センターもしっかりしているので、園でも助けてもらい、親たちも相談しやすいと思う（幼稚園教諭）
- 公立幼稚園を存続させてくれること（公教育は誰もが保育を受けられる環境として今後も子どもや保護者のために）（幼稚園教諭）
- コンシェルジュが配置されている（保育士）
- ファミリーサポート事業（保育士）
- 休日保育・一時保育の実施（保育士）
- あおぞら出前・一時預かりなど保育所に行っていない子も気軽に利用できる支援がある（保育士）
- わくわくコミュニケーション等、次世代育成に力をいれていること（保育士側への負担はあるが）（保育士）
- わくわくコミュニケーション、わく中、プレママ、プレパパ、休日保育、あおぞら出前保育など、桑名市独自の施策（ただ、保育士の負担もあり）（保育士）
- わく中、あおぞら出前保育、保育所に来ていない子どもも大切にしていること（療育）
- 子育て支援の一環で、様々な催しも頻繁に行われており、子育て支援への積極的な姿勢を感じる（保育士）
- 中学生の子育て体験など、素晴らしいと思う。子育てを楽しみにできるように、このような体験を大切にしてほしい（保育士）

4 幼稚園・保育園経営者へのヒアリング結果

【対象】幼稚園・保育園経営者

(1) 運営者からみて桑名市の子育てに必要な支援

- 療育に関して手厚く支援していただきたい（幼稚園）
- 障がいや発達上の課題のある子への支援は、専門の機関で専門の担当者が、必要とする助言や適切な対応を取りながら、子どもの育ちをよりよく伸ばすとともに、保護者の不安を軽減するという体制（保育園）
- 気になる様子の子どもが増えていると感じるため、市が行っている1歳半・3歳の健診の重要性が高まっていると思う。入園前の親子にこそ、市の保健機関等より支援を行い、入園後も園との連携を持てるような、組織や仕組みづくりをしてほしい（保育園）
- 本当に困っている家庭が自ら相談に足を運ぶことはないため、そのサポートを充実できるといい（保育園）
- 園における施策に対して、桑名市の子育てに関するビジョンが見えない。また予算がないために園の施策にも支障が出ている。住みよい桑名、子育てをしやすい桑名を目指すなら、独自のビジョンを掲げることが重要で、かつ人口減の歯止めになると思う（例えば高校くらいまでの医療費の無料化、低年齢児世帯への子育て支援補助など）（保育園）
- きょうだいが同じ保育園に入れるようなシステムをつくる（保育園）
- 窓口で対応する担当者の保護者への積極的な説明（保育園）
- 桑名市の子育て支援を広く広報・チラシ等で分かりやすくアピールすること（保育園）
- 必要な人が必要な情報に出合う方法が必要。それは一つではない。かつ、一度決めたらそれで終わりということはない。日々、進歩しているべき（幼稚園）
- 手書きの書類が多く、保育士の負担が未だに多い状況。補助金等も含めてICTシステムを導入しやすくしてほしい（保育園）
- AIは今後も活用してほしい。どのようなことができるのかも発信してほしい（保育園）

(2) 桑名市保育、子育て支援施策への意見

- 一時保育・病児保育の施設を増やすこと（保育園）
- 私立幼稚園における一時預かり保育幼稚園型を実施すること（幼稚園）
- 育児相談窓口を増やすこと（保育園）
- 自主的な子育てサークルの活動場所を提供すること（保育園）
- きょうだいが別々の保育園入所になることを極力なくしてほしい（保育園）
- 園児の大切な命を預かっているため、事故防止の予防策（睡眠チェックの機材の導入やレ

ンタルなど）に対する補助金などがあれば助かる（保育園）

- 保育士に対する補助金を考えてほしい。開所から閉園まで12時間の保育時間がある。シフトを組み対応しているが、保育士も母親・父親であることがあり、時間的に大変なことと感じる。余剰人員を配置できるくらいの予算を考えてほしい。結果、保育士の確保につながるとし、質の向上になる。公立と私立の賃金、環境に差がありすぎると感じる（保育園）
- 園に求められる質の向上に努力しても、共感する保護者が入園できないのでは、園の理念や特色を活かしながら園と保護者が一緒になって子どもの育ちを支えていく関係を築くという、大切なことが欠けてしまう（保育園）
- 大人になってから要求されても叶わないことが多くある。集中力や探索力など。そのためには、幼児期、学生期の生活を穏やかに送ることのできる環境づくりを行うべき。たとえば、登園を渋る子どもを持つ家庭があれば、市を挙げて勉強会を行う。あるいはそれができないなら、同じ思いの人が集まることのできる機会を作る。志を同じに活動をするNPOへのアクセスを簡単にする、仲介する、など。教員、保育士の養成は幼児期に始まっていることを忘れてはいけない。壁に当たった人への対応を「心ある有志の人」に頼ってばかりでは成立しない。かつ、それはそんなに難しいことではないかもしれない、たとえば、同じ思いを持つ人が情報の交換をするだけで済むことがあるかもしれない。また、教員や保育士になった人が学校に出向いて、職場紹介などする時、それなりのステイタスを与えるべき。車代などとケチなことを言わず、はっきりと日当を支払うのも必要。教員、保育士の価値は、一朝一夕にはできあがらない。生まれたときからのサポートが必要。同じようにしていくことで、ありとあらゆる労働力の確保にもつながる。（幼稚園）

(3) 園の運営上改善・改良が必要なこと

- 職員の意識等の向上（幼稚園）
- 他園との交流や情報交換（保育園）
- 防災対策・安全対策（保育園）
- キャリアパス研修の開催日が土日祝日で設定されているが、クラス担任はどうしても平日に休みを取れないことが多く、土日研修で出勤となると勤務調整が難しい。職員配置と休日の確保、研修への積極的な参加などを考えると、保育士の数をもう少し増やしたいが、収支的に人件費支出が大きくなり運営面に支障がある（保育園）
- 保育する機関ではなく、教育機関として生きていこうとする幼稚園に対して、相応の資金的援助を行うシステムが必要。現在の新制度では、従来型の幼稚園は「去ってくれ」とい

われているのと同義に思える（幼稚園）

- 職員の体制・人数（保育園）
- 職員（保育士）確保が一番の問題である。保育士が増えれば、運営上の問題はほぼクリアできると思う（保育園）
- 職員会議の時間が十分確保できない（保育園）
- 時間がなく職員会議、制作は残業にて処理している状況（保育園）

(4) 現場の保育士等が困難を感じていると思うこと

- 保育の仕事は休憩が取りにくいこと（保育園）
- 子どもの発達支援が難しい場合の対応（保育園）
- 子どもの発達について支援の難しさを感じたとしても、どのような支援が子どもにとってベストなのか、他児への配慮や影響など明確な答えや方針が出にくい（保育園）
- 発達支援が必要な子が年々増えてきている（保育園）
- 子どもだけでなく親への支援が必要となり、対応が困難になってきている（幼稚園）
- 人としてではなく保育料を支払っているという姿勢がみられ、信頼関係がとりにくい気がする（保育園）
- 保護者対応は仕事で忙しい保護者も多く、日ごろからどれだけお互いに理解し合える関係を築くかということにとっても気を遣っている。また、書類や日々の保育の準備等で時間を取られてしまい、そういう面では忙しさを感じている（保育園）
- 研修等の学びを職員間で共有して保育の質を高めること（保育園）
- 行事などの準備の負担（保育園）
- 書類の多さ（保育園）
- 保育士同士の考え方の違い（保育園）
- ネットの普及で水平展開がとても早いが、よいことは伝わりにくく、悪いことは伝わりやすいという傾向が増大中で、今後もその傾向があり、それは教育保育のシステムを圧迫する可能性が大いにある。行政から市民に対しての毅然とした態度が必要とされる時代。保護者が自分の子どもを心配するのは当たり前だが、教師や保育者の上げ足を取る、あるいは取らんとする態度や姿勢にたいしては、NOといえるように。それはすなわち、教員の資質向上が必要、ということ。（幼稚園）。

(5) 現場の保育士等に高めてほしいこと

- 個々への理解・配慮（幼稚園）
- 発達の理解と対応（保育園）
- 肯定的な子どもへの理解と言葉かけ（保育園）

- 各年齢の発達に合わせた遊びの工夫（自由遊び・集団遊び）（保育園）
- 子どもの人格を尊重する保育の方法（保育園）
- 子どもの権利など人権の部分をしっかり理解し、責任と役割が大きい仕事であることを意識しながら専門性を高めてほしい（保育園）
- 保育についての知識向上（保育園）
- けが防止（保育園）
- アレルギー対策（保育園）
- 園の理念の理解（保育園）
- 保育業務に対するやりがい（保育園）
- 保育士としての知識や技術を高めることはもちろんだが、それ以前に人としての生活力や知恵、コミュニケーションの力などが低い人が増加している気がする。園は生活する場であることも理解し、保育士こそが生きる力を養ってほしいと思う。こういうことにつながるような研修会があれば、していただきたい（保育園）
- 知識・技術・心情（保育園）

5 学童保育所支援員へのヒアリング結果

【対象】学童保育所支援員

(1) 現在の子どもたちの育ち・家庭環境などについて感じること

- 両親ともに忙しいため、子どもと一緒に過ごす時間が少なく、親に対して良い子であろうとする子どもや、親に気をつかう子どもが多い
- 保護者に時間的・精神的余裕がなく、子どもは親に気をつけているように思う
- 親が忙しいのか、子どもと会話することが減ってきている
- 核家族で共働き世帯が多く、兄弟の数も少なく、一人っ子も多くなってきた
- 共働き家庭が増え、子どもが学校から帰ってきてからの家族の時間が少なくなり、さみしさを感じる子どもが増えているように感じる
- 家庭でも生活が乱れている。食事は外食、中食、インスタント。ゲームなどでの睡眠不足。大人が子どもに関わるのが少なくなった
- のびのびと子どもたちが育つ安全な場所、遊べる場所が減少していると感じる。子どもも大人もとても忙しく、ゆったり余暇の時間も味わえなく余裕が感じられない
- 子ども同士でも本音を話さない、自分の気持ちを表現することが苦手な子どもが多い
- 物質的には満たされていて、何の不自由もない生活を感じるが、そのためか、考える力が乏しく、すぐにあきらめたり大人に頼ったりしてしまう
- コミュニケーション力が低下している子が増加している（自分の気持ちを言えない）

- 言葉を教えられていない（知らない）、読書しない傾向にある
- 平日、共働きが増え、祖父母と連携して子どもを育てている。土日や長期休みに家族で外泊や遊びに行く回数が多い
- 親子関係・家庭環境がしっかりしている家が多く感じる。親の期待が大きく、それに上手く応えられない子どもが不安定になることがある

(2) 現在の子どもについて以前と比べて変化を感じる点（経験年数5年以上の支援員）

- 以前に比べて「体を使ったけんか」が減っている。距離を置きながら言葉で攻撃する。それも言葉が暴力的になっている傾向が強い。
- 以前からの傾向だが、子ども同士本音で話さないことで、コミュニケーション能力がより低くなっているように感じる。ゲーム等が増えており、子ども同士の会話がなくても過ごしている。
- 言葉を上手に使いこなせていないように感じる
- 子どもを集合させて話をする際、落ち着きがない。集中して話が聞けない、根気がない。個人的に話をするときに目が合わない子どもが増えているように思う
- 低学年の生活にまつわる能力、判断力が乏しい。手がかかる
- 自発性や自主性が弱い
- 集団で遊ぶ機会が少ないためか、ルールのある遊びができない
- すぐにキレル。「死ね」「殺す」など言葉がひどい
- すぐキレて手足が出る（がまんできない）、成長が遅い（幼い）
- 自己中心的で相手を思いやる心が乏しい
- 大人も子どもも対等で、注意すると「なんで」「いつ」など理屈が多くなった
- 難しい子が多くなり、入所してから1年は関わりが難しい
- 発達障害、アレルギー対応、性への感化に早い子どもが増えている
- 下校時刻が遅くなり、自由時間が少なくなった
- 放課後が忙しくなり、余裕がなくなった（習いごと等）
- 習いごとや塾に通う子が増えてきた
- 1年生からの習いごとや塾が当然であり、自分さえ良ければいいなどの、互いに助け合う心がとても乏しくなっている
- 土曜日に毎週働く親が増えている

(3) 学童保育所の支援における課題

- 看護師・心理カウンセラー等の専門職の派遣
- 学童保育と作業療法士の連携

- 夏休みなどの長期休暇と通常時では、指導員の総勤務時間は極端に差がある。この差を埋める体制支援
- 子どもの増加、共働き世帯の増加の中で指導員が不足しており、求人を出してもなかなか見つからない
- 学童保育所の働き手の確保が難しい（応募者がいない）
- 支援員の福利厚生がきちんと確保されて、支援員不足を解決してほしい
- 自治体からの委託事業だが、保護者運営の内容が増加していて、書類提出や支援員募集など負担が増えている
- 支援員の人数確保。せっかく学校内に学童があるのに、支援員の不足によって見られる範囲が限られ、自由に遊ばせてあげられない
- 発達障がい児の支援
- 親の考え方の違いによる子育ての難しさ。通常児、障がい児、その中間にいる子の関わりの見守り
- 安心して生活ができ、心豊かな育成支援を実践するには、適正規模40人の子どもと、1人に対し1.65m²以上の面積が確保できる施設が必要である
- 学童保育所の施設の確保、運営が難しい
- 保護者と共に学習できる機会があるといい。行政でそんな機会を設けてくれたらいい
- どんなときも子どもに寄り添いながら支援をする

(4) 現場の職員から見た子育て中の親に対して必要な支援

- 日曜勤務の親に対応する体制支援
- インフルエンザ等の学級閉鎖に対応する体制支援
- 学童は人数が多すぎる。放課後クラブがあれば就労時間が短い世帯は学童に在籍する必要がなくなり、学童の人数を抑えることができるのではないか
- 最近、親は子育てを保育園などにゆだね、子育ての楽しさを知らないので、子育ての大切さを伝えられることができたらいと思う
- 子育てを学べる場
- 困っていることを相談できる日をもうける
- 発達において障害のある子について、支援員だけでなく専門職にも気軽に相談できる機会や機関が必要
- 育てにくさを感じている親の家庭状況を聞いたり、相談に乗り親への支援も大切にしていければいいと思う
- 子どもだけでなく、寄り添える範囲で親にも寄り添い、共に子どもを育てていけるような支援

- リフレッシュできる場
- 小学校にあった「心の相談室」を復活して欲しい
- 学童保育所の利用料金を下げて欲しい（補助金アップ）
- 星見ヶ丘小・大山田北西南東・藤ヶ丘小の近くに図書館を建ててほしい

(5) 桑名市の子育て支援について感じること

- 学童保育や子育てを応援しようという気持ちが伝わる
- 桑名市にはたくさんの学童保育所があり、今後も学童保育所がたくさん増えればいいなと思う
- 学童保育に対する支援をより充実していただくことを望みます
- 桑名市から何かをしたいというエネルギーなメッセージが感じられない。もっと行政から、子どもが飛びつきそうな企画や、かたい講演会ではなく子育て（幼～中学生）中の父母が気軽に参加できる形で提供してもらえないかと思う
- 20年以上前は、市の子育て支援などなく、親が子育てしていた。今はその頃と比べると、まだ支援ができていると思う。
- 以前は地域力や家庭力など周りの大人たちが子育てに協力していたが、現在はその力も低下してきているので、自治体の支援はもっと必要と思う
- 子育てをしながら働く親が増えてきている。親が子育てに関わりながら安心して働き続けられる、そのような専門機関を増やしてほしい
- 共働きの家庭が増え、保育所を卒園した後の子どもたちを支援する施設が充実していないので、お母さんたちが働き続けることが困難である
- 桑名市でも子育て支援についての勉強会のようなものがあるとうれしい

6 こども食堂学生ボランティアへのヒアリング結果

(1) こども食堂の学生ボランティアに参加するきっかけ

- もともと子ども関係の支援に興味があり、ネットで調べて見つけた
- 大学の情報センターで知った。地域まちづくりに興味があり、お金で解決できないものが存在し、見て見ぬふりをするより、支え合う側の立場を考える場をつくりたい
- 他に参加しているボランティアのところで、こども食堂のボランティアをしている大人の方がいて、その方に誘ってもらいました
- 代表からの誘い、子どもが好きだから
- 知り合いのつながりで

- ☐ 姉の誘い
- ☐ 友達の誘い
- ☐ 大学の授業

(2) こども食堂以外のボランティアへの参加

はい（している）	いいえ（していない）
2 人	6 人

(3) こども食堂の子どもたちを見て思うこと

- ☐ みんなで食事をするとおいしいし、楽しいということ
- ☐ 子どもはかわいらしいですね。子どもの笑顔を見れるのは幸せなことです
- ☐ 環境に関係なく、とにかく元気
- ☐ 子どもたちがにぎやかで楽しい
- ☐ 子どもの世話などの大変さ。子どもの目線にあわせて接することが新鮮
- ☐ 積極的に話しかけてくれる子も多いし、少し恥ずかしがっている子でも、話しかけたら話してくれる印象です。親や先生以外の大人と話す機会はなかなかないと思うので、すごくいい機会になっているのかと思います

(4) こども食堂のボランティアに参加する中での困りごとの有無

はい（ある）	いいえ（ない）
1 人	7 人

(5) 具体的な困りごとの内容

- ☐ なかなか、都合が合わず、ボランティアに参加できない

(6) こども食堂のボランティアに参加する中で、今後、子育て支援に必要なこと

- ☐ 朝ご飯こども食堂。朝ごはんは学力は深い関係にあることは、すでに研究論文で発表されている。朝ご飯を食べるよう促したい
- ☐ もっと身近に参加できるようなツールがあるといい。HP と f a c e b o o k 以外にもっと

7 医療的ケア児関係者へのヒアリング結果

(1) 現在の子どもの育ち・家庭環境などについて感じる事

- 低学年での骨折、捻挫が増えている
- 働いている母親が増えている
- 本質的には同じだと思うが、情報が多すぎて、不安の中で育児をしている母親が多い印象を受ける。母の不安は子どもに伝わってしまう
- 以前の親は、制度的な支援の少ない中で、自ら動いて道を拓いていくバイタリティーがあったと思うが、現在は受け身（待っている）的な親が多くなっている印象がある
- 医療的ケア児に必要なレスパイトなどのサービスが身近にない。先の見えない介護で体調管理ができず、子育てができない親が増えてきた
- 医療が進歩して、医療的ケア児が在宅で生活しているケースが増えた
- 孤立家庭（親が高齢で支援を受けられない）、メンタルの問題を抱えている家庭が多い
- 核家族世帯が多いように思われる。近隣や同じ敷地内に祖父母が同居していても協力が得られず、母親のみが障害児に関わっている傾向にある。父親の協力が得られていない
- 障害児対象のサービスが増えたので、リハビリにかかれる子が増えた
- 親子がふれあう時間が減り、どこかでケアを受けることに熱心になっている

(2) 現在の子どもについて以前と比べて変化を感じる点（経験年数5年以上の専門職・支援者）

- DCD（発達性協調運動障害）の症状にきわめて近い子どもが多く、不器用になってきたと思う
- 歩行可能な肢体不自由児が増えてきている
- きょうだいで発達障害の増加
- テレビ（ビデオ）やスマホの刺激が強く、他の感覚を経験する機会が少なくなっていると感じる（興味・関心も）
- 高度な医療的ケアを必要とする児が在宅で生活するようになってきた
- 核家族世帯が多く、家族の協力を得ることが難しい
- 経済的に不安定な親が多い（保育所など利用できない）
- 育てにくい児、発達についてもグレーである児が多い
- 我慢することができず、嫌なことがあると教室を飛び出す
- 命の大切さを知らない。テレビの影響も考えられる
- 専門家の関わりが多くなったことにより、装具や座位保持装具が使用されることが多くなり変形が減った。その代わりに母親が子どもに行う独特のケアが少なくなった

(3) 医療的ケア児への支援における課題

- 気管切開があっても、医療的ケアにより、一般の幼稚園に通うことができる事例があり素晴らしいと思う。
- 安心・安全な医療資源が不足している（施設、人）
- 児童発達支援、放課後等デイサービスなど障害児のサービスが増加しているが、重度心身障害児が行ける事業所は少ない
- スムーズな連携体制がとれると良い。福祉と医療の職種、役割の共有化が必要
- 普通学校への進学ハードルがまだ高いと感じる
- 他市町や他県では教育（幼、小、中）、保育所、福祉サービスを利用できる環境が整備されているが、桑名市ではまだまだと感じる
- 障害児のサービスは増えている中、呼吸器など医療的ケア児のレスパイトが必要
- 総合医療センターで、今後、レスパイト入院等の受け入れが可能になると聞いたが、保護者の多くは待ち望んでいると思う。受け入れの人数、受け入れできない医療的ケア児はどうすればいいのかなど課題がある

(4) 現場の職員から見た子ども・子育て中の親に対して必要な支援

- 一人で抱え込まないための当事者グループ（集まりを実現するために医療的ケア児を短時間見守るしくみ）
- 近隣でレスパイトできる場所があると良い
- 健診で発達の遅れを指摘されたときの支援体制が不十分であると感じる。母親の不安に寄り添えるようなフォロー、例えば、ペアレントトレーニングなどがあると良い
- 働きたい（働かないと家計が大変、家だけにこもりたくない…）親も多くなっていると思うので、医療的ケア児も受け入れる放課後等デイサービスの選択肢が増えると良い
- レスパイト施設が身近にあると良い
- プレミアム商品券の対象として、一時保育や家事援助、予防接種などで使えると良い
- ファミリーサポートセンターの充実
- 母親が気軽に相談できる場所があると良い（一人で悩んでいるのではないか）
- 福祉サービスなどさまざまな支援が利用できることを知らない親、知っていても一人で手続きできない親などへの支援が必要
- これまでサービスをいかに増やしていくかを考えてきたが、母親と子どもの関わる時間が減ってきているので、増やしてほしい

(5) 桑名市の子育て支援について感じること

- 医療的ケアと保育が必要な子どもが保育園に通えているのが素晴らしい
- 子育て支援センターの存在はとても大きく、親子の力になっていると感じる
- 子育て支援センターがたくさんあり、常時遊べる場所がある
- いろいろな講座を実施している
- いつも経過を追って、必要時にサポートしてもらっている
- eケアネットなどで医療的ケアについて考える場があること
- 健診で発達の違いなどを指摘された子どもをフォローしてほしい

桑名市
子ども・子育て支援に関するニーズ調査
結果報告書
(自由意見・ヒアリング編)

2019（平成31）年3月

発行：桑名市

編集：保健福祉部 子ども未来局 子ども未来課

〒511-8601

桑名市中央町二丁目37番地

TEL 0594-24-1172

FAX 0594-24-1393